





おめでとうございます！

Table listing names and titles of clergy members in the Fukuoka Diocese, including the Bishop and various priests.

Table listing names and titles of clergy members in the Kyushu Region, including the Bishop and various priests.

Table listing names and titles of clergy members in the Kyushu Region, including the Bishop and various priests.

Table listing names and titles of clergy members in the Kyushu Region, including the Bishop and various priests.



その後、あなたは？

の半分を貧しい人々に施します。また、だれから何かが...

し、約束しました。その後、どうしたかな？

の心を理解し、受け留め、父とともにいるありがたみに気づき、また、弟を受け入れ、仲良くできたのだろうか。

今年もホームレス支援越冬炊き出しをします。2月から3月の2週目まで毎週曜日...



一息

日記帳二重帳簿になっている。千両万両小さな庭に朱を入れる。坂牧春妙 深堀正平

2010年11月23日はまさに、「すべての道は長崎に通じた」と感じた一日でした。

今年度のテーマは「結婚、家族、子どもの育児と教育、神の祝福とそれに応える姿勢」でした。

今年もホームレス支援越冬炊き出しをします。2月から3月の2週目まで毎週曜日...



2010年度長崎教区管区セミナー長崎に400人

担当司祭川口清神父(大浦教会)と、地域から集まる人々の担当司祭川口敏神父(延岡教会)によると、参加者は日本人、フィリピン人、韓国人、ベトナム人、スリランカ人、インドネシア人、その他のアジア出身の人々や、南アメリカ出身の人々などで、子どもたちも合わせると400人以上に上ったそうです。

Advertisement for 'Ave Maria' prayer, including text about the revised prayer and contact information for the diocese.

Advertisement for 'Soup of the Faith' (スープの会) and 'Prayer Grove' (祈りの園) services, including dates and contact information.

Advertisement for 'Misa Wine' (ミサ用ワイン) by VINO DE MISA, including product details and contact information.

Advertisement for 'SOU-EN' (草苑) funeral services, including contact information for the company.



フォンダシオ講演会に参加して



飛び交う中、熱心な分かち合いが行われた。青年達が各々、素晴らしいタレントを神様から頂いており、生かしていることを実感する充実した時間となった。

また言語や文化の相違がある中にも神様に向かって信託・真に歩みたいと望んでいる人生のヴィジョンが共通していることを深く感じた。

講演会後、福岡の青年有志たちがささやかな夕食を準備し、分かち合いを含めた懇親会が行われた。その中でチャールズ氏が「福岡地区青年会にはフォンダシオの様な生きている共同体が既に在

エキユメニズム委員会から



皆様、あけましておめでとうございます。箱崎カトリック教会の主任司祭、ミシェル(Michel Girard)です。

昨年7月から、宮原司教様の指示によって、福岡教区のエキユメニズム担当司祭になりました。よろしくお願ひします。

私のこと、また「エキユメニズム」のことを、少しでも紹介させていただきます。私は、1994年にカナダ

から日本に来て、日本語を勉強した後、ほとんど福岡教区で勤めています。聖ドミニコ修道会に所属しており、出来る限り日本の教会の信者たちと共に、福音宣教のために働きたいと思っています。

「エキユメニズム」とは、ご存知と思いますが、わたしたちキリスト教の諸教会の一致を目指し、推進することです。それは、第二バチカン公会議の希望と喜びの中で、信徒使徒職の再評価と同じように、これからの教会の一つの大事な課題だと思えます。

尚、今、教皇庁による「エキユメニズム新指針」に従って、福岡地区ですで行われている活動に基づくカトリックエキユメニカル・チーム(カトリックキリスト教一致推進協議会)を集めはじめました。

今年中に、出来れば他の地区のためにも、このようなチームの役割や可能性について、それぞれの地区の司祭と信徒の方々と相談するつもりです。そこで勿論、皆さんのご経験やご意見を大切にしたいと思えます。関心ある人はおられますか? どうぞ、私の方までご連絡ください。(092-511-3867)。留守の時は、必ず留守番電話にメッセージをお願いします。住所 〓 812-0054 福岡市東区馬出4-1-8-21 カトリック箱崎教会

「求めざる」とすでに私達共同体の中にある芽を「育てていくこと」この両方を大切にしながら主の道を歩んでいきたいと決意を新たにしたい企業であった。(深堀由布子)

福岡市民クリスマスにハレルヤコーラスで参加。今年で63回目となる今年市民クリスマスに、市民クリスチャンの皆さんが参加し、ハレルヤコーラスを行いました。

練習場所の福岡中部教会に各教会から集まったメンバーと初顔合わせ。カトリックからは神学生も含まれて7人。わが家の練習で間に合うという不安も、熱心な指導のおかげで回を重ねるごとに形になっていき、家でも猛練習。

そして迎えた本番当日。イエス様のご降誕を待ち望み、感謝し、喜び集う人たちが一堂に会した会場で、プロテスタントもカトリックも、歌う方も聴く方も、みんなが心一つに「ハレルヤ、ハレルヤ」と声高らかに神を賛美したひととき。何ものにも代えがたい至福の時でした。

ハレルヤに続き、本田路津子さんのクリスマスソング。御子を私たちにくださった神さまの愛が心にしみ込んで来て、会場はあたたかくやわらかな光に包まれた感に包まれたかのような平和な安らぎと喜びに満たされました。

そして待ち待った晴佐久神父様の登場。神父様からのお話は、私たちのまことの親である神さまからのメッセージでした。「私はあなたを愛したくてあなたを生んだ。恐れるな。大丈夫だ。私はいつもあなたとともにいてあなたを守り、と大も苦しみを担い、あなたを生かし、導いている。私を信じなさい」と。その「大丈夫」が形になってこの世にお生まれになったのがイエスさま。今年はよりいっそう深い感謝と喜びをもってクリスマスを祝います。(鈴木直美)



目を今や募り心参加。今年で63回目となる今年市民クリスマスに、市民クリスチャンの皆さんが参加し、ハレルヤコーラスを行いました。

練習場所の福岡中部教会に各教会から集まったメンバーと初顔合わせ。カトリックからは神学生も含まれて7人。わが家の練習で間に合うという不安も、熱心な指導のおかげで回を重ねるごとに形になっていき、家でも猛練習。

そして迎えた本番当日。イエス様のご降誕を待ち望み、感謝し、喜び集う人たちが一堂に会した会場で、プロテスタントもカトリックも、歌う方も聴く方も、みんなが心一つに「ハレルヤ、ハレルヤ」と声高らかに神を賛美したひととき。何ものにも代えがたい至福の時でした。

ハレルヤに続き、本田路津子さんのクリスマスソング。御子を私たちにくださった神さまの愛が心にしみ込んで来て、会場はあたたかくやわらかな光に包まれた感に包まれたかのような平和な安らぎと喜びに満たされました。

おげんきですか!



2010年の秋から、教皇庁立サレジオ大学の「若者の司牧とカテケジス」学科の2

年目に入りました。毎日、住んでいるコレジオ(宿舍)から大学まで、徒歩・地下鉄とバスを乗り継ぎ、往復3時間の通学をこなしています。

通学で色んな体験をしています。特に大学に行く時、地下鉄からバスに乗り換えるのですが、バスは始発ではありませんが、このバスがいつ来るのか分かりません。時刻表がないんです。

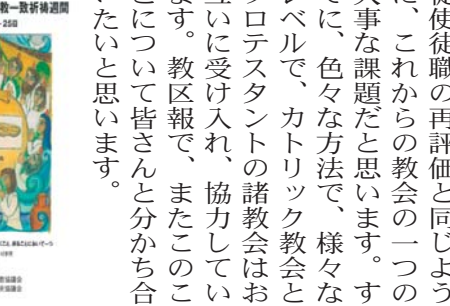
お目当てのバスがやってくると、辺りは騒然。われ先にバスに乗り込み、場所の確保が始まります。バスのドアが開くと、いつも人を押しつけてかけるように飛び乗って空いている席にまっしぐらの人

がいます。同じ大学に通うシスターです。バスの中では、突然大きな声で話し出す人がたくさん。携帯電話の通話です。

イタリアでは日本と違い、公共交通機関や公共の場でも通話ができるため、日本のように、バスに乗ったとたん脇目もふらずに携帯を見つめてかちかちメールやネットをするのとは光景が違います。

ともかく電話なのに大声でけんかしてみたり、必ず身振り手振りも入るし、いまだに慣れない部分もあります。バス停を発車して少し離れた所でバスが止まった間に、このバスに乗りたいた人が近づ

がね。イタリア・ローマから 田中重治神父



今回はただ、皆さんにぜひ、今年のキリスト教一致祈禱会に参加してくださいと声をかけたいのです。

「キリスト教一致祈禱週間」は、伝統的に1月18日から25日の「聖パウロの回心」の記念日までです。

今年1月23日(日) 17時から、日本基督教団福岡中部教会(福岡市中央区大名)で行われます。

著者は福音書を「幸いの書」として執筆し、「福音は神さまからのラブレター」幸いなる秘訣が書かれた書として紹介されています。キリストが話される福音を生活の中でどう生きればいいのかということは多くの人々にとって悩みの種ではないかと思われま

す。本書は生活の中で生きる福音への多くのヒントに満ち溢れています。すべての人にお勧めしたい本です。プレゼントにも最適です。女子パウロ会発行 税込定価 1470円

☆今、キリストを証しする 聖書講座シリーズ8 聖書に学ぶ現代人の生き方 税込定価 1575円

☆幸いの書 神さまからの50のラブレター 晴佐久昌英 著

税定価 1575円

脚ジャパン・スマイルか 代官前 丸の内線・丸の内線 丸の内線 丸の内線

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA 本と神との出会い



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

カトリック教会のカテキズム

日時：2011年1月23日(日) 15:00
場所：カテドラル大名町教会
講師：櫻井尚明神父(大名町教会主任)

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マタイによる福音書』

プログラム

①1月16日 マタイ福音書を読むために
森山信三神父(西新教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
会費：1回 500円/年間通し2000円

2010年度北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます～神のことばを食べる
日時：2月13日(日) 14:00～16:30
場所：カトリック小倉教会
講師：中村彰神父(カトリック戸畑教会)

世界の動きを知るセミナー

キリスト教、イスラム教、仏教、の3つの宗教の代表者によるシンポジウムが行なわれます。
日時：2月5日(土) 13:30～16:30
第1部：各宗教の主張
第2部：パネルディスカッション

福岡地区信徒協講演会

テーマ：私が望む教会と社会との関わり～教会を活性化するために～
講師：英隆一郎神父(イエズス会)
日時：2011年2月20日(日) 14時～16時
場所：カテドラル大名町教会 1階講堂

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：1月15日、2月5日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
\*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

2011年

案内板

会合と催し

1月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 1月

9日(日)～10日(月) 聖霊刷新
「神がいやす愛」指導：マッケイ神父(鳥栖教会)
11日(火)～20日(木) 長崎純心聖母会(修練院)黙想会
15日(土)～16日(日) ショファイユの幼きイエズス修道会

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とおもに祈る
・日時：1月13日(木) 10時～14時半
・内容：典礼暦年間の一年の周期

1日(土) 神の母聖マリア・世界平和の日 元旦
新年ミサ聖祭(カテドラル10時)
↑C. バスチ [2002年黒崎教会]
2日(日) 主の公現
6日(木) 慈恵病院増築祝福
7日(金) 初金ミサ聖祭(浄水通教会10時)

福岡

先 ☎092・843・58
31岩崎

深堀

■グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 1月18日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区)

吉武

■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 1月27日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825

熊本

■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 1月27日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825

お二人で参加
スコア集
(日時) 1月16日
(場所) 高宮フランシスコ会修道院

佐賀地区信徒研修会
「パウロが教会造りの土台にすえたもの」
日時/ 2011年1月23日(日) 午後1時～4時
会場/ 佐賀カトリック幼稚園ホール
講師/ 鈴木信一神父

柴田須磨子
福岡結婚準備講座
(日時) 1月15日(土) から2月12日(土) 18時半～21時

■第70回福岡ホスピスの会勉強会
(日時) 1月16日(日) 14時から16時(場所) カトリック大名町教会4階(内容) 子宮頸がんワクチンについて(講師) 小林裕明准教授(九州大学病院産婦人科)

北九州

■小倉祈りの集い
(日時) 1月28日(金) 13時半から15時(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会)

佐賀

■佐賀祈りの集い
(日時) 1月8日(土) 10時半～12時(場所) 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) 93・963・2359

編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。今年も教会の年間テーマも打ち出され、教区民がともに信仰を深めたい、学びたい、祈りたいことを願っています。各地から学び合いのお便りを待っています。さて、昨年は教区のホームページを開設しましたが、先日の会合で、このサイトを訪れている人は、日に数千回に及ぶと伺いました。ネットの力を改めて知らされた。教区内30000人ほどの信徒中、主日のミサに定期的に来られている方は、10000人程度でしょう。か。そう考えると、コンピュータという道具は福音を伝えるために大切なツールだということに再認識いたしました。ネットの教区報も一度のぞいてみてください。田中神父のローマ留学記は3回程続くと予定ですが、皆様にとられまして、よき1年でありますように。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

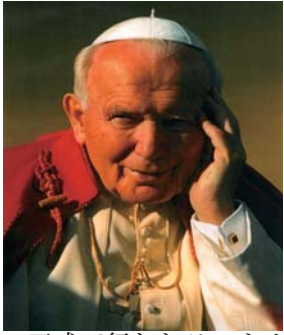
社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 公吉

Ave Maria, Mater Dei!
神の母聖マリア、世界の平和のために今もいつまでもお祈りください
1月5日より営業いたします。
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 \*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



### ヨハネ・パウロ二世教皇福者に 式典は5月1日



教皇ヨハネ・パウロ二世の福者式典は、2011年5月1日（日）にカテドラル大聖堂で行われます。式典は、ヨハネ・パウロ二世の福者式典として、2009年12月19日に教皇ヨハネ・パウロ二世が福者に任命されたことを記念して行われます。

### 教皇、2011年10月世界平和 祈禱集会開催を発表

教皇ベネディクト十六世は、1月1日（土）にサンピエトロ大聖堂で「世界平和の日」のミサの終わりに、「お告げの祈り」を唱え、2011年10月にアッシジで世界平和祈禱集会を開催することを発表しました。ヨハネ・パウロ二世は1986年10月27日にアッシジで世界平和祈禱集会を開催しました。

2011年1月1日（土）、カテドラル大聖堂では10時から宮原良治司教主式で、新年と神の母聖マリアの祭日



2011年1月1日（土）、カテドラル大聖堂では10時から宮原良治司教主式で、新年と神の母聖マリアの祭日

2011年1月1日（土）、カテドラル大聖堂では10時から宮原良治司教主式で、新年と神の母聖マリアの祭日

2011年

## 聖母マリアに倣って、神のみ旨を思いめぐらす 地域社会、家庭の聖化の実現のために

元旦ミサ



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

### 2月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう  
【一般】家庭の尊重  
【宣教】病者への奉仕  
【日本の教会】日本社会におけるいのちの保護

1月12日、宮原司教は、新年のミサをカテドラルにて40人の司祭とともに捧げた。説教の中で、司教は日頃の司祭たちの労をねぎらい、当日朗読された福音「カテドラルの一日」に触れて感謝の意を述べた。また、2年間、教区として取り組んできた「召命」は、確実に実を結んでいる。4月から、1人の神学生が日本カト



1月12日、宮原司教は、新年のミサをカテドラルにて40人の司祭とともに捧げた。説教の中で、司教は日頃の司祭たちの労をねぎらい、当日朗読された福音「カテドラルの一日」に触れて感謝の意を述べた。また、2年間、教区として取り組んできた「召命」は、確実に実を結んでいる。4月から、1人の神学生が日本カト

### 新年司祭の集いカテドラルで祝う

司祭叙階式  
3月21日(月)  
時間: 11時  
場所: カテドラル  
受階者  
大塚了平助祭  
谷口尚志助祭

1月12日、宮原司教は、新年のミサをカテドラルにて40人の司祭とともに捧げた。説教の中で、司教は日頃の司祭たちの労をねぎらい、当日朗読された福音「カテドラルの一日」に触れて感謝の意を述べた。また、2年間、教区として取り組んできた「召命」は、確実に実を結んでいる。4月から、1人の神学生が日本カト



1月12日、宮原司教は、新年のミサをカテドラルにて40人の司祭とともに捧げた。説教の中で、司教は日頃の司祭たちの労をねぎらい、当日朗読された福音「カテドラルの一日」に触れて感謝の意を述べた。また、2年間、教区として取り組んできた「召命」は、確実に実を結んでいる。4月から、1人の神学生が日本カト

### クリスマス一致祈禱集会を開催

厳しい寒さも緩んだ1月23日、夕方5時、日本基督教団福岡中部教会において2011年クリスマス一致祈禱集会が開かれた。司教は筒井信行伝道師（日本基督教団春日東教会）、説教は牧山強美神父（日本カトリック神学院院長）。大石朋子信徒（日本基督教団福岡中部教会）の奏楽で始まり、クリスマス教団全体の諸団体から約140人あまりが集った。今年のテーマ「使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることにあつて」(使徒2:42)に、牧山強美

### 時評

#### 平尾千衣子

「今日、イエスさまはどのようにあなたを訪れていますか？」  
アジアの青年の集まりで、このような質問が投げかけられた。「何だか不思議で、こわい感じがするけど、神さまが私を必要としている」と答えた。私は必

厳しい寒さも緩んだ1月23日、夕方5時、日本基督教団福岡中部教会において2011年クリスマス一致祈禱集会が開かれた。司教は筒井信行伝道師（日本基督教団春日東教会）、説教は牧山強美神父（日本カトリック神学院院長）。大石朋子信徒（日本基督教団福岡中部教会）の奏楽で始まり、クリスマス教団全体の諸団体から約140人あまりが集った。今年のテーマ「使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることにあつて」(使徒2:42)に、牧山強美

厳しい寒さも緩んだ1月23日、夕方5時、日本基督教団福岡中部教会において2011年クリスマス一致祈禱集会が開かれた。司教は筒井信行伝道師（日本基督教団春日東教会）、説教は牧山強美神父（日本カトリック神学院院長）。大石朋子信徒（日本基督教団福岡中部教会）の奏楽で始まり、クリスマス教団全体の諸団体から約140人あまりが集った。今年のテーマ「使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることにあつて」(使徒2:42)に、牧山強美

厳しい寒さも緩んだ1月23日、夕方5時、日本基督教団福岡中部教会において2011年クリスマス一致祈禱集会が開かれた。司教は筒井信行伝道師（日本基督教団春日東教会）、説教は牧山強美神父（日本カトリック神学院院長）。大石朋子信徒（日本基督教団福岡中部教会）の奏楽で始まり、クリスマス教団全体の諸団体から約140人あまりが集った。今年のテーマ「使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることにあつて」(使徒2:42)に、牧山強美

昨年未だから数回にわたって某新聞が「孤族」というテーマで連載をしました。記者は、「社会のわたちが変わっている。恐るべき勢いで。家族という時、思い浮かべるのは、どんな姿だろうか。父親母親に子ども2人の標準世帯か、それとも夫婦だけの世帯だろうか。今それに迫るほど急増しているのが、たった一人の世帯だ。普通の家族という表現が成り立たない時代を私たちは今生きています」と。こうして「孤族」ということについて論じています▼高度成長を遂げてきた私たちの国はいま、貧困、格差、孤独死、無縁社会など、かつては聞かれなかつた状況が常態化しています。「個」を追い求めてきた結果、「孤」がしのび寄ってきています。このような時代の中にあつて、私たちは家族というもののあり方、そしてその絆の大切さについて深く考える必要があるのでしょうか▼教会はどうでしょう。神の家族に属している人々には、今日の社会に起こっていることとは無関係でしょうか。信徒は互いに深く関わり合い、互いの重荷を担い合う共同体となつていないでしょうか。世帯数が多ければ多いほど、あるいは街中の教会であればあるほど「無縁社会」的な共同体がむしろ多いのではないのでしょうか。このような社会状況の中で、教会こそ信仰によって結ばれ、愛によって助け合う家族であることを社会に向けて発信すべきではないのでしょうか。そのためには、教会に属する私たち一人ひとりが、細やかな配慮、気遣い、やさしい言葉かけから始めてみませんか。(M)







熊本 慈恵病院新病棟を増設



1月6日、熊本の慈恵病院は宮原良治司教を迎え、新病棟増築の祝別式を行った。

「このよりのゆりかご」で知られるようになった産科病棟も新装になり、夫や子どもたちも宿泊できるようにと個室化された部屋には、新しく生まれる「いのち」を手厚く迎えようとするスタッフの思いが感じられた。

理事長の蓮田大二医師は、「新病棟は個室化し、お子さんやご主人も一緒に泊まれるくつろぎのある空間にしました。また『このよりのゆりかご』にやむなくお子さんを

お元気ですか？



ローマの住宅街の中にできた馬小屋

イタリアで勉強を始めて1年半が経ちましたが、相変わらずイタリア語に泣かされています。住んでいるコレジオ(宿舎)には200人近くの司祭が宣教国である60近くの国から留学してきています。

預けに来る人が、心を開いて相談できるよう相談室を広くし、雰囲気にも配慮しました」と語った。

福岡地区婦人会が新年に司教を訪問



1月18日(火)、福岡地区地区婦人会の例会及び新年会が司教館で行われた。

宮原司教・指導司祭の中村信哉神父を交えて、2年間の委員任期を終えるにあたり、活動の総括と新たな活動への方向性について、また総会へ

1月24日に新装のマリア館に移転します。『まずは、相談してください』と相談室を暖かく、やわらかい雰囲気にしていきます。一人でも多くの命が相談で救われるよう祈る想いで』と語っている。

向けた話し合いが行われた。席上、宮原司教は地区婦人会の日ごろの活動を評価し感謝を述べた。更に今年度の教区目標「信仰生涯学習」を進める事、また活動の中で学んだ事を、自分の生活の場(家庭・職場・地域)で伝える事が勧められた。

クルシリヨ参加者からのご案内

1年間お休みしていましたクルシリヨが、今年5月3日(火)から5日(木)までの日程で宗像黙想の家にて開催される予定です。

福岡地区婦人会は、福岡地区15の小教区から派遣された女性の担当者の集まりで、平田三郎司教の「日本のカトリック女性と連帯してほしい」という希望での認可で活動をはじめ40年になるという団体である。

「自分としっかり向き合いたい」そのような思いで通い始めたキリスト教講座の第1期。終了したいま、「自分との出会い」というテーマに沿った学びの大きさを改めて深く感じています。

キリスト教講座と私

このような場を与えられたのか「それだけを考えて過ごしておりました。皆様の足を引っぱっているのではないかと心配し続けながら・・・」

国際色豊かな生活ですが、それゆえストレスもあります。専攻している学科は「若者の司牧とカテジス」で、今住んでいる宿舎から一番遠い教皇庁立サレジオ大学(母体がサレジオ修道会)に通っています。

家に戻って食べる習慣がまだあり、一日の食事のメインは昼食。宿舎も同じで、多くの司祭は午前の授業が終わって一旦大学から戻ってお昼を食べて、午後の授業へと出かけていきます。

サレジオ大学の特徴は宿題の多さ。学生は皆それをこなすのに必死です。言葉のハンディのある私は更に時間がかかるわけで、正直、泣きたくなる時もあり。ともかく、机に向き合う日々です。

参加者の声を紹介します。「クルシリヨを永年支え続けていらっしやる方々のご苦労に感謝し、頭が下がります。それなのに、人前になるのが苦手な私には、シンドイ、シンドイ時間でもありました。」

お知らせ
学校法人泰星学園の設置する「泰星中等学校」(福岡市中央区)が、『上智学校』とします。

第49回クルシリヨ開催案内
日時=5月3日(火)10時~5日(木)16時
場所=福岡黙想の家
参加費=12000円

女子パウロ会制作
税込定価 4200円

監督:千葉茂樹 DVD
マザー・テレサ生誕100年を記念した千葉茂樹監督の作品です。

☆がんをかかえて生きるセラピー
ジョエル・シエーン R・W・アリー 目黒摩天雄 訳 著

不動産全般/売買・賃貸・管理
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
森山工務店
ヨゼフ 森山 森山 新太郎

木との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書局・信心用具・ビデオ・DVD・CD



# 司祭召命の育成!

## 2011年福岡地区聖書講座

テーマ: 福音 ~イエスとの出会い  
『マタイによる福音書』

### プログラム

②3月13日 山上の説教 森山信三神父 (西新教会)  
場所: カトリック大名町教会1階講堂  
会費: 1回 5000円/年間通し2000円  
用意するもの: 新約聖書 (またはマタイ福音書)  
主催: 福岡地区信徒使徒職協議会 聖書部  
森山信三神父 (西新教会) ☎ 092-851-8032  
島山部長 (笹丘教会) ☎ 080-5246-1816

## 2010年度北九州地区聖書講座

メインテーマ: いただきます~神のこぼるるを食べる

日時: 2月13日 (日) 14:00~16:30  
場所: カトリック小倉教会  
テーマ: 食べているものの味を、もっと楽しむために  
講師: 中村彰神父 (カトリック戸畑教会)  
主催: 北九州地区信徒協 聖書部

## カルメル会荘厳誓願宣立式ご案内

誓願宣立者: Sr. 十字架のテレジア長谷川朋映  
日時: 2月19日 (土) 13時30分  
場所: カルメル会修道院聖堂 (福岡市西区今宿)  
司式: ドミニコ宮原良治司教  
\*どなた様もご参加いただいて、共に祈りいただきますと幸いです。

## 福岡地区信徒協講演会

テーマ: 私が望む教会と社会との関わり  
~教会を活性化するために~  
講師: 英 隆一郎神父 (イエズス会)  
日時: 2011年2月20日 (日) 14時~16時  
場所: カテドラル大名町教会 1階講堂  
主催: 福岡地区信徒使徒職協議会 宣教社会部  
問合せ先: 目良 豊 090-6468-6844  
佐田一平 090-7164-9114

## 中高生合同ミサ&キャンプのお知らせ

日時: 3月19日 (土) 13時開始  
20日 (日) 16時解散予定  
場所: 小倉カトリック教会・小倉カトリック幼稚園  
対象者: 福岡県の中高校生  
参加費: 3000円 (宿泊、食費等含む)  
内容: レクリエーション、分かち合い (合同ミサのテーマに沿って)、合同ミサ、その他 今回、高校生・中学生同士のつながりができればと思っています。  
スタッフの募集: 高校生 (可能ならば会議への参加をお願いします) / 青年=高校生では対応できないことに対しての最低限のサポート。当日だけ参加も可。  
参加方法: 各教会に配布している参加申込み用紙に記入して、郵送またはFAXで小倉教会に連絡してください。  
連絡先: カトリック小倉教会 ☎ 093-921-0139 (北川健悟)

福岡教区広報室アドレス  
<http://fukuoka.catholic.jp>  
E-mail: [cdf-kouhou@nifty.com](mailto:cdf-kouhou@nifty.com)

2011年

案内板

会合と催し

2月のこよみ

## 福岡黙想の家ご案内 2月

10日(木) ~ 11日(金) 聖マリア在俗会黙想会  
12日(土) ~ 18日(金) カトリック大神学院 黙想会  
19日(土) ~ 20日(日) 山口・島根信者養成研修会  
25日(金) ~ 27日(日) 相即人間学会セミナー  
28日(月) ~ 3月3日(木) 九州説教者セミナー  
3月  
12日(土) ~ 13日(日) 神の前で生と死を考える集い  
参加費 ①全日程(宿泊) 10000円  
②全日程(宿泊なし) 6000円  
③1日目のみ(夕食付) 4000円  
④2日目のみ(昼食付) 4000円  
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056  
☎0940・32・3222 0940・32・3385  
Email: [fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp](mailto:fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp)  
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

## 真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い  
年間テーマ: 典礼暦年間で教会とともに祈る  
・日時: 2月10日(木) 10時~14時半  
・内容: 聖人の記念日 -1  
指導者: フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)  
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父  
Sr.マリア・デ・ジョウルジ  
問合せ先: 真命山諸宗教対話・靈性交流センター  
・次回: 3月10日(木)  
☎0968・85・3100 0968・85・3186 玉名郡和水町蜻浦  
1391-7・E-mail [shinmeizan@chive.ocn.ne.jp](mailto:shinmeizan@chive.ocn.ne.jp)

## スープの会にご協力ください

●日程: 2月4日(金) ~ 3月11日(金) まで毎金曜日  
●内容: ホームレス支援 越冬炊き出し  
●協力①: 調理ボランティア 13時集合  
●協力②: 配布ボランティア 20時集合  
●場所: カトリック大名町教会 1階  
●主催: カトリック大名町教会スープの会  
●後援: 福岡地区信徒協・宣教社会部  
\*献品・献金もお願いします。  
●連絡先: ☎ 090-5476-2806/080-1793-0481



6日(日) 年間第5主日/糸島教会聖信式  
8日(火) (宗法) 幼稚園園長会合  
10日(木) 伊万里トラピスト修道会誓願式  
召命祈願ミサ(神学院19:30)  
11日(金) ルルドの聖母/世界病者の日 建国記念日  
12日(土) †岩永義人 [2009年今村教会]  
13日(日) 年間第6主日/カトリック医師会福岡支部会合  
14日(月) 臨時司教総会 (~18日)  
19日(土) 女子カルメル会誓願式  
20日(日) 年間第7主日/老司教会35周年  
22日(火) 聖ペトロの使徒座  
26日(土) 今村信徒発見記念日 (1867年)  
幼子イエスの集い/サマリアの集い  
年間第8主日  
3月  
2日(水) 諸宗教部門会議 (東京)  
3日(木) 常任司教委員会  
4日(金) 初金ミサ聖祭 (浄水通教会10:00)  
6日(日) 年間第9主日/二日市教会聖信式  
7日(月) †平田寛 [2002年門司教会]  
9日(水) 灰の水曜日 (大斎・小斎)  
12日(土) 聖母園新築祝式  
13日(日) 四旬節第1主日/四旬節愛の献金 (四旬節中)  
15日(火) 日本カトリック女性団体連盟理事会 (福岡~18日)

## カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 2月19日、3月5日 10時~12時  
場所: カトリック大名町教会小聖堂  
\*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

## 福岡

◆ 聖霊による刷新福岡祈りの集い (日時) 毎週月曜11時から12時30分 (場所) 大名町教会1階 (内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い (代表) Br 床嶋 (問合せ先) ☎ 092・521・2503 3連尾  
◆ 在世フランシスコ会集會 (日時) 2月20日(日) 14時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集會所 (指導) 戸村悦夫神父 (問合せ先) ☎ 092・843・5831 岩崎  
◆ グレゴリオ聖歌を歌う会 (日時) 2月15日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区)  
◆ 心の健康セミナー(紫苑) (日時) 2月13日(日) 14時から(場所) カトリック福岡黙想の家 ログハウス (内容) 「家族」の光と影 (指導者) 小宮豊氏(精神科医師) (参加費) 原則無料(自由献金) (主催) 「心の健康セミナー」を支える会(問合せ先) ☎ 0940・32・1173 矢田  
◆ こひつじ会紫苑 (やさしい家庭科教室) (日時) 2月26日(土) 14時から16時 (内容) ボタン付け、運針他、日常生活でお困りのこと (対象) 心にハンデのある方、一人暮らしの方 (指導者) 家族(場所) カトリック案内所(福岡黙想の家入り口) (参加費) 無料(家族相談) (毎月第4木曜日11時から16時) (対象) 精神障害者と暮らしている家族(世話係) ☎ 0940・333・2731

## 北九州

◆ 小倉祈りの集い (日時) 2月25日(金) 13時半から15時 (場所) カトリック小倉教会信徒会館2階 (指導) ガブリエル神父(御受難修道会) (内容) 「みことばを味わう」 賛美と感謝の祈り (連絡先) ☎ 090・3985・5209 松田裕子  
◆ 北九州召命を共に祈る会 (日時) 2月10日(木) 14時から(場所) カトリック小倉教会 (内容) ミサ・ミーティング (指導) 井手公平神父(門司教会主任) (問合せ先) ☎ 093・963・2359 江口

## 熊本

◆ 熊本地区召命を共に祈る会 (日時) 2月28日(月) 11時(場所) カトリック健康教会 (内容) ロザリオと話し合い (問合せ先) 健康教会 ☎ 096・368・2825 青木悟神父  
◆ カトリック看護協会福岡支部の集まり (日時) 2月27日(日) 14時30分(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎ 096・352・7181 Sr竹内

## 佐賀

◆ 佐賀祈りの集い (日時) 3月5日(土) 10時半から12時 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック教会館 (内容) ミサと祈り (問合せ先) ☎ 0952・30・8347 吉武

## 編集後記

今年の冬は殊の外、寒い日が続いています。近年暖冬傾向が強かっただけに体にこたえます。地球温暖化が叫ばれるようになって久しいですが、この寒さも異常気象の一環?と聞くと、喜ばない気がいたします。さて、新しい年を迎えて前教皇様の列福は、うれしいニュースとなりました。ワイルドユースデイ、諸宗教のサミットなど思いつくだけでも教会に多くの宝を遺されました。凶弾に倒れながらも再起を果たされ「空飛ぶ教皇」と呼ばれたくらい、パチカンを離れて世界中のあらゆる人々と対話をされたその姿は、今でも多くの人の心に残っていると思います。現教皇様は、ご高齢ながらも活動的だった前教皇の遺志を継がれ、見事にその重責を果たしておられます。このような牧者のもと、私たち(教区報)も信仰の喜びを、そして何よりも福音を伝える道具となれるよう励みたいと思っております。そのために読者である皆様のご協力は欠かせません。ホームページと共に信徒協広報部会のご協力を感謝申し上げます。

## 痛みの相談室 いくま整骨院

受付時間 平日: 9:30~12:00  
14:30~20:00  
土曜: 9:30~15:00  
休診: 日曜・祝祭日  
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F  
TEL 092-884-0134  
ペトロ 生熊公吉

義のために 迫害される人は幸い 天の国は その人のもの  
卒業・入学のお祝いまごころをこめて...  
メディアによる福音宣教のために...  
サンパウロ福岡宣教センター  
10:00~18:00(月~土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 \*駐車場完備  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax:739-3930

COSMOS  
スポーツ用品・OA・文具 コスモス  
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3  
TEL 0942-77-3199  
代表者 ペトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院  
総合産産期医療センター  
がん診療連携拠点病院  
地域災害拠点病院  
\*入院基本料(一般病棟7:1)  
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422  
TEL0942-35-3322(代表)  
FAX0942-34-3115  
<http://www.st-mary-med.or.jp>







### 叙階を前にして

3月21日の司祭叙階式を前に大塚了平・谷口尚志の2人の助祭に心境をよせてもらいました。



先日、日本カトリック神学院を無事卒業して、後は叙階の日を待つばかりとなりました。長い間たくさんのお祈りとご支援に支えられて、これまで歩んでくることができたことに、心から感謝しております。

決して平坦ではなかった神学校での養成の間には、本当に投げ出したくなるような時がたびたびありました。しかし、そんな時を乗り越えてくることができたのは、新司祭の誕生を心待ちにしておられる教区の皆様のお祈りのおかげです。

まだ洗礼から三年あまりしか経っていない私を、松

### みことばの広場!

「初めに言があった。…」  
ヨハネ1-1

私にとって日本語は外国語です。それを通して人間の言葉で神のみことばを語り、福音をのべ伝えていきます。他国語で福音宣教をする宣教師と

永久次郎司教様はころよく神学生として迎えてくださいました。

それ以来このような頼りない私を、いつも教区の皆様はあたたく見守り、励ましてくださいました。「こんな私でも司祭になって何かできるだろうか」、そう思っ歩き出した司祭召命の道でしたが、実際にはたくさん恵みを皆様からいただいていたばかりだったように思います。

これから始まる司祭生活も、まだまだ力不足でさらに皆様に支えられての歩みになると思いますが、いただいた恵みを少しずつ育てながら、皆様に、またより多くの人にお返ししていければと思っております。どうぞこれからもよろしく願います。

### 神は私をどう使われるのか



「人々が神を知らなくなる」と、人生は空虚になります。これはベネディクト16世教皇が司祭年終りに当たって発表した、全世界の神学生へあてた手紙の中の言葉です。司祭叙階を目前に控えている今の心境を語るとき、この言葉が私の中で響き渡ります。

今から16年前、司祭召命の道に通じる最初の門を私は叩きました。ある司祭に憧れを抱き、その人のようにいたいという思いがあったからです。今、その当時12歳だった自分の姿を思い出すと、同時に生き生きとしていたことをも思い出します。

自分の将来の姿を想像している時の子どもほど自分の人生を生きていないでしょう。将来何になりたいのかという純粋な問いかけは、具体的な憧れの対象をその子どもなりに明確に意識することから生じてくるものだと思います。そして、将来はその人のようになりたいと自然に考えるようになり、直接、自分の将来の姿と憧れの人の姿とが結びついていきます。まさに「憧れの人を意識すること」は、子どもにとって「将来の自分を

### 福者小笠原玄也一家の命日に祈り

厳寒の中、熊本市内各地より、修道者・信徒約60人がここに集まった。司式した島崎教会のダニロ・マルケット神父が、会衆を前に招きの祈りを唱え、続いて聖書が朗読された。



「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒のままであるが、死ねば多くの実を結ぶ。自分の命を愛するものはそれを失うが、この世で自分の命を選んだ聖なる殉教者たち、」

### ヨゼフ竹森道神父

ヨゼフ竹森道(むさし)神父様(大分教区)が1月12日(水)肺炎のため帰天。享年81歳。1958年3月25日福岡教区司祭として司祭叙階。大楠教会と久留米教会で助任司祭を務められ、1962年大分教区設立に伴い転籍。大分教区では日向教会、宮崎教会、大分教会、鶴崎教会などで主任司祭として司牧された。

「連祷の中で、三女つちへの取次ぎの祈りの時でした。「つち」という名前が「土」だと知った驚きでした。貧しい中に生まれ、天の国の宝を選んだ聖なる殉教者つち、」

粒の麦の種を育む土、私はこの方の名が畑の土にちなんだものだと、この祈りの中で知り、命名した両親の信仰の深さを感じ、この聖女がとても好きになりました。」と感動して語った。

### 2011年四旬節中の各小教区の黙想会日程

教会	日程	教会	日程	教会	日程
福岡地区			北九州地区		
糸島	3月12・13日	飯塚	4月10日	鳥栖	4月9~10日
今村	3月14~16日	黒崎		呼子	3月19・20日
大楠	3月27日	小倉	3月5・6日	松島	3月13日
大牟田	3月26・27日	新田原	3月5~7日	熊本地区	
小郡	4月9・10日	田川	4月3日	荒尾	大牟田合同
久留米	3月22~24日	天神町		大江	3月23・24日
古賀	4月3日	戸畑	3月23・24日	帯山	
笹丘	4月17日	直方	4月10日	菊池	3月13日
浄水通	4月3日	水巻	4月2・3日	山鹿	3月13日
大名町	4月1~3日	門司	3月26・27日	健軍	3月26・27日
能古島	4月9日	湯川	4月10~12日	崎津	3月30・31日
高宮		行橋	3月20日	島崎	4月3日
茶山	4月2・3日	豊津	3月19日	玉名	4月10日
西新	3月26・27日	若松	3月26・27日	手取	3月22~24日
箱崎	3月26日	佐賀地区			人吉
光丘	4月5~7日	伊万里	4月10日	本渡	3月26・27日
二日市	3月28~30日	鹿島	4月17日	水俣	4月10日
本郷	4月14日	唐津	3月20日	武蔵丘	4月10日
吉塚	3月20日	佐賀	3月13日	八代	3月13日
南粕屋	3月27日	多久	4月3日		
老司	4月1~3日	武雄	3月27日		

ちよっと一息 **長寿国なら分別がありそうな** **バイブルを読んで悪魔の事を知り** 坂牧春妙 深堀正平

### 神の前で生と死を考える集い

①3月12日(土)16時~13日(日)15時 指導: 来住英俊神父(御受難会)  
 ②6月25日(土)17時~26日(日)15時 指導: シスター高木慶子(援助修道会)  
 ③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導: 来住英俊神父(御受難会)  
 \*信徒を対象に『生と死』を『経験』と『カトリックの教え』の両方から考える研修会です。(一日だけの参加もできます) \*4面も参照してください。

### カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 **福岡黙想の家** 検索  
 811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

### ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ **VINO DE MISA**  
 スイートタイプ(赤)(白)  
 ご用命 お問い合わせは 有限会社 **大楠酒店** ヨハネ 青木 彰  
 〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

### 草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。  
**木下株式会社**  
 TEL 092-526-5656  
 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5



宣教師J・M・コール神父の帰天100年を記念



2月9日、熊本地区の社会福祉の草分けとなつた偉大な宣教師ジャン・マリー・コール神父(パリ外国宣教会)の帰天100年を記念してマリアの宣教師フランシスコ修道会の聖堂で島崎教会のマルケツト神父の司式による感謝のミ

厳しい寒さが緩み

穏やかな天候に恵まれた2月5日、天神のガーデンパレスにて宮原司教をはじめ各方面からの幼稚園関係者がおよそ90人出席して、笹丘カトリック幼稚園の創立50周年記念式典が行われた。

笹丘カトリック幼稚園創立50周年「感謝の集い」

「ひかりの子」の斉唱で幕を開けた式典は、園長、理事長の挨拶などに続いて、司教より直接園児たちに向けてお祝い言葉が述べられ、会場の雰囲気は大

お元気ですか!



通学路の乗換えバス停

教皇ベネディクト16世は昨年10月、中東特別シノドス(世界代表司教会議)の閉会にあたり、次の通常シノドスのテーマを「新しい福音宣教」と発表されました。「福音化」というと、とかく日本では、教皇パウロ6世の使徒的書簡『福音宣教』に

サが捧げられた。パリ外国宣教会の宣教師として1889年、39歳で熊本に赴任したコール神父は、本妙寺周辺のハンセン病者の悲惨な状況を憂慮し、母国のフランスに支援を要請。熊本地区に3つの教会を建て、貧困者、孤児、老人、病人のための施設を開いた。とりわけハンセン病者を世話するため、すでにフランスから来日していたシヨファイユの幼きイエズス修道会のシスターたちの

協力を得て、収容施設を作り献身的な奉仕が行われた。さらにコール神父は、すでにハンセン病の看護に実績があるマリアの宣教師フランシスコ修道会の創立者に会員の派遣を要請、1898年5人のシスターがローマから来日。1901年、海外からの寄付によって熊本に待望のハンセン病院が落成し「待労院」と名づけられた。

赴任当時から念願を果たしたコール神父は1911年(明治44年)2月9日手取教会の一室で教会関係者と、協

いに和いだ。続いて行われた共同祈願では、園児と職員によって感謝の祈りがささげられ、本場の優しさたくましさを感じ持った「ひかりの子」が育つていくために自分たちに委ねられた使命に心を込めて励んでいきたいという決意を新たにしました。また、引き続き行われた祝賀会では、終始和やかな雰囲気の中で出席者は食卓を囲み、卒園児と在園児の保護者による歌やバイオリン及びピアノの重奏などが歓談に花を添えた。当園は、開園以来13年間聖母の騎士をはじめとして、幼きイエズス会、三位

に基づき、社会の福音化を強調しています。しかし、教皇は決してこのことだけを言ったのではありません。福音化・福音宣教とは、現代という新しい状況に生きる全信者とすべての人に向けられた教会と全信者のすべての活動のことです。「新しい福音宣教」と

内にも外にも福音化が必要で、この福音化の大切な手段がカテジスであり、福音化の活動が司牧、その中心で不可欠なのがミサです。私の勉強している学科は「若者の司牧とカテジス」。まさにこの問題です。勉強は単に教会の教え(神学)だけにとどまらず、心理学、教育学、社会学などに及びます。なぜなら、現代のカテジスは、各世代、各人が抱える人生目標と問題に光を当て、日常生活の各瞬間において愛と自由のわざを選択実行して、共同体の一員、キリストの弟子として成熟していけるよう

力者であったシヨファイユの幼きイエズス修道会、シャルトルの聖パウロ修道会、マリアの宣教師フランシスコ修道会のシスターたちの祈りに包まれながら帰天した。尚、コール神父の威徳を人々の心に永く留めるため、神父自ら看取ったハンセン

病の患者を埋葬した荒尾山の墓地跡に「ジャン・マリー・コール記念公園」が建設され、5月29日12時より祝別と野外ミサが行われる。主催のマリアの宣教師フランシスコ修道会では「多くの方々の参加をお待ちしています」と呼びかけている。

次に、この日の第2朗読でコリントの教会が分裂状態にあったことを紹介し、「人が集まる場所にトラブルはあるし、なくなることはないが、忘れてはならない点は、組織は奉仕をするためのものである」ということである。そのことを忘れて、互いに自己主張をするだけであれば、共同体は意味のないものとなってしまふ。私たちが教会共同体のみならず、家庭や職場の中でのように生きていくか、どのような姿勢で関わっているのか、絆を大切にしているか、などの問いかけがあり、日常

佐賀信徒協が勉強会



1月23日(日)佐賀教会幼稚園ホールで鈴木信一神父(聖パウロ修道会)を講師として信徒研修会が開催された。まず、鈴木神父は、「教会とは何か」という問いかけから始めた。「教会は建物ではなく、私たち一人ひとりのことである。その中で、何を大切に生きていくかが問われている」と語った。

生活や教会共同体の中で見落としがちなのが指摘された。また、パウロは、「愛は律法を全うするもの」と語り、共同体造りの基礎に隣人愛を据えたが、「それも頭で考えるのではなく、生きざまとしてである。本当に愛を生きて、深めていけば、愛という言葉は要らなくなる、教会共同体こそがその愛を生きていく場であり、私たちの愛が鍛えられていくところです。一生を貫く何か、持って歩んでみよう」という言葉は印象的であった。私たちがいたいた霊の賜物は、自分のためのみならず「教会を造り上げるために」(1コリント14・12)受けていることを忘れてはならない。

最後に聖ベルナルドが、10人のおとめのたとえ話し(マタイ25章)について説教した中で、5人の愚かなおとめ達もこの共同体に必要と述べていることを紹介し、共同体の中で「弱く見える部分」こそ、必要であることを強調した。

厳寒の街に温かい豚汁を携えて



豚汁とゆでたまごを作っている。配布班は福岡地区の各カトリック教会、キリスト教諸派、仏教寺院などの信徒、高校生、大学生、ホームページで知った一般の人など、多くの人が参加している。夜回りで出会うホームレスの数は各コースの合計で約250人。ピーク時に比べれば半減しているが、このところ微増状態である。ニアホームレスと呼ばれる若年層の増加も懸念される。社会の底辺に追いやられた彼らのもとに身を屈め、豚汁やおにぎりを手渡す、それは本当に小さな働きだが、それでも少しずつ実を結んでいる感がある。「世は無情力イロのぬくもりマリアさま(ホームレス川柳) この炊き出しは9月の2週目で終了。通年の活動を模索中。

大名町教会では、25年前から続く「熱いスープの会」を、通年存続するホームレス支援グループ「スーパの会」に改変し、今年も越冬炊き出しを展開している。主に調理班と配布班に分かれて活動し、調理班は福岡地区婦人会が中心となり、受け取る方々の気持ちになつて、心のこもった



☆「無償の愛に生きて」シスター 村田初子 (シヨファイユの幼きイエズス修道会) 著 この書は、1865年12月に大浦天主堂を落成させるまでの建築にまつわる苦労話や信徒発見をすいきさつ、浦上の信徒たち3460人の総流刑いわゆる「旅」のこと、禁教令が解かれたことなどが、簡潔に描かれている。幼きイエズス修道会のシスターたちが1877年にプチジャン司教に招かれ、神戸に上陸したこと、その当時の日本の貧しい人々のこと、ただ死を待つだけの子どもをあずかり、必死に育て、無償の愛を生きた「明治期のマザーテレサ」と言っても過言でない4人の修道女の実話でもある。

不動産全般・売買・賃貸・管理
存んでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マタイによる福音書』

プログラム

②3月13日 山上の説教 森山信三神父 (西新教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
会費：1回 5000円/年間通し2000円
用意するもの：新約聖書(またはマタイ福音書)
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会
森山信三神父(西新教会) ☎092-851-8032
島山部会長(笹丘教会) ☎080-5246-1816

青年黙想会

テーマ：十字架のイエス
日時：3月19日(土)20時～20日(日)13時
場所：カノッサ修道女会大牟田修道院
同伴：Sr.大田暁子 fdcc 参加費：1500円
申込先：Sr.大田 ☎0944-82-4723
mail: sis.ak@hotmail.co.jp

中高生合同ミサ&キャンプのお知らせ

日時：3月19日(土)13時開始 20日(日)16時解散予定
場所：カトリック小倉教会・小倉カトリック幼稚園
対象者：福岡県の中高校生
参加費：3000円(宿泊、食費等含む)
内容：レクリエーション、分かち合い(合同ミサのテーマに沿って)、合同ミサ、その他
参加方法：各教会に配布している参加申込み用紙に記入して、郵送またはFAXで小倉教会に連絡してください。
連絡先：カトリック小倉教会 ☎093-921-0139 (北川健悟)

各地区のキリスト教講座

信徒の生涯養成として、キリスト教入門にも奨励される講座です。下記の教会で行われています。
カトリック大名町教会 092-741-3687
カトリック大牟田教会 090-8221-5293
カトリック小郡教会 0942-72-3256
カトリック手取教会 096-352-3030
カトリック武蔵丘教会 096-339-1910
\*お問合せを待っています。

2011年度 聖霊による信仰生活刷新セミナー

【日時】 毎週月曜日：午前10:30～12:30
【会場】 カトリック大名町教会 1階講堂
①週 5月2日 「神の愛」 F・マッケイ神父(鳥栖教会)
②週 5月9日 「救いのみわざ」 遠山 満神父(笹丘教会)
③週 5月16日 「新しい命」 H・オカロール神父(小郡教会)
④週 5月23日 「回心」(聖霊の満たしを受けるために) V.アレックス神父(広島教区宇部教会)
⑤週 5月30日 「満たし」 F・マッケイ神父(鳥栖教会) B・ガブリエル神父(御受難会)
⑥週 6月6日 「聖霊のうちの成長」 C・スメット神父(トラピスチン付)
⑦週 6月13日 「キリストへの変容」 G・ミシェル神父(箱崎教会)
⑧週 6月20日 「派遣のミサ」 司式：宮原良治司教・司祭方
テキスト：「新生の門出」(小林有方司教訳)
参加費：自由献金/連絡先：☎☎(092)821-6349 森

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2011年

案内板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3月

4日(金)～6日(日) オランテの集い
12日(土)～13日(日) 神の前で生と死を考える集い
参加費
①全日程(宿泊) 10000円/②全日程(宿泊なし) 6000円
③1日のみ参加(食事付) 4000円
17日(木) 四旬節日帰り黙想会①
19日(土) 福岡テナクム
19日(土)～21日(月) 芸術セミナー
28日(月)～4月1日(金) オプレート会黙想会
4月2日(土)～3日(日) 四旬節一泊黙想会
\*2面の黙想の家の広告も参照してください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

\*祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とともに祈る
・日時：3月10日(木)10時～14時半
・内容：四旬節
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次回：4月14日(木) 過越しの三日間
☎0968・85・3100 0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

6日(日) 年間第9主日/二日市教会堅信式
7日(月) †平田寛〔2002年門司教会〕
8日(火) 司教顧問会
9日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)
12日(土) 聖母園新築祝式
13日(日) 四旬節第1主日/四旬節愛の献金(四旬節中)
15日(火) 日本カトリック女性団体連盟理事会(福岡～18日)
17日(木) 長崎の信徒発見記念日(1866年)
19日(土) 聖ヨゼフ
20日(日) 四旬節第2主日
21日(月) 司教叙階式(カテドラル11時) 春分の日
25日(金) 神のお告げ
27日(日) 四旬節第3主日
31日(木) †V.チェリッツァ〔2005年唐津教会〕
(宗)幼稚園新任職員辞令交付・研修
4月
3日(日) 四旬節第4主日
†A.アレグリーニ〔2005年ロザリオの園〕
4日(月) †黒川博〔2002年八代教会〕
5日(火) 福岡地区司教集會
10日(日) 四旬節第5主日
福岡教区司教座教会献堂記念特別献金日
17日(日) 枝の主日/世界青年の日
24日(日) 復活の主日

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：3月19日、4月2日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
\*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡

聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(代表) Br床嶋(問合せ先) ☎092・5221・2503 蓮尾
虹の会(日時) 3月12日(土) 13時30分から(場所) カトリック大名町教会3階(内容) 子どもを喪くした悲嘆の分かち合い(参加費) 6000円/終了後懇親会あり(問合せ) ☎090・1162・6395 柴田須磨子
福岡ホスピスの会勉強会(日時) 3月13日(日) 14時から(場所) カトリック大名町教会(内容) 「人間として」生まれた意味をどう考えるか(講師) 田畑正久医師(宇佐市佐藤第2病院院長)(参加費) 会員5000円/一般1000円(問合せ先) ☎092・874・6321
福岡地区召命を共に祈る会(日時) 3月17日(木) 14時半から(場所) カトリック大名町教会3階会議室(指導) 浦川務神父(教区召命担当)
在世フランシスコ会集會(日時) 3月20日(日) 14時(場所) 高宮フランシスコ会修道院

院在世会集會所(指導) 戸村悦夫神父(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎
グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 3月22日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区)(内容) 聖体賛歌、アヴェ・ヴェルム・コルプス・他(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
スピリチュアルケア勉強会(日時) 3月26日(土) 13時から16時(場所) サン・パウロ福岡センター(対象) 臨床パスツールケアに関心のある方(主催) 臨床パストラルケア教育研究センター北九州ブロック(参加費) 5000円(申込先) ☎☎092・861・4802 海江田紀子
心の健康セミナー(日時) 6月19日(日) 14時から(場所) カトリック福岡黙想の家ログハウス(テーマ) 心の健康セミナー/家族3(父と子)(指導) 小宮豊師精神科医師(参加費) 原則無料(自由献金)(主催) 心の健康セミナーを支える会紫苑COM(問合せ先) ☎0940・32・1173 矢田

美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます！●ホームレスの方に手作りのお昼ごはんを毎週火曜日10時30分●越冬期ホームレス支援夜回り(3月11日)までスリーブの会と合同・金曜日20時から/大名町教会に集合した方を訪問(第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・4331・1419 M・コース神父)
熊本地区召命を共に祈る会(日時) 3月17日(月) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
カトリック看護協会福岡支部(日時) 3月13日(日) 14時30分(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr竹内

佐賀

佐賀祈りの集い(日時) 4月2日(土) 10時半～12時 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武
お知らせ
学校法人泰星学園の高校区中央か等設置する「泰星中学高等学校」(福岡市中央区)が、4月1日学高を『上智福岡高等学校』と校名を変更いたします。

編集後記

司祭生涯養成研修会に参加しました。講師の一人を務められた濱口神父様は倫理神学の専門家です。数年前に脳梗塞でお倒れになり、不自由な体にもかかわらず、お話しされるそのお姿に心を打たれました。末期医療など生命の問題を追求して来られたわけですが、自ら不安と苦悩を抱えている患者の立場となられて、ご自分が積み上げてこられた学問を理論とともに、体験としても語られたことに感銘いたしました。信仰は、生きなれば意味がありません。福音は、言葉で伝えるだけではなく、生き方で伝えるものでしょう。しかし弱さを抱えている私たちにあって、ここが難しいところでもあります。M恵みよ

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

今や、恵みのとき、今こそ、救いの日
3月13日、20日、27日の日曜日は、11:00～15:00で営業いたします。
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



### 東北・関東地方大震災に対する 福岡教区の支援について

福岡教区の皆様

上記大震災に関して、福岡教区民はカリタスジャパンや仙台教区サポートセンターなどの緊急支援の呼びかけに応じて、様々な協力を提供して下さっています。被災者への心からの見舞いと今後の復興への支えと希望の助となることを念じています。既にご存知の通り、ベネディクト16世教皇様や福音宣教省長官からもお見舞いのメッセージと共に義援金が届いています。

さて、去る3月21日に、司教顧問団、各地区の信徒の代表者、修道女連盟の役員、青年代表、関係部門の教区担当者などに集まって頂き、不安と困難の中で過ごしている被災者に対して、福岡教区としての支援対応の可能性を話し合いました。その結果、具体的な受け皿を確立した上で、被災者をホームステイの形で受け入れる方向で検討していくことが合意されました。福岡教区としては、その支援体制を構築して行く予定ですので、その教区民のご理解とご協力をお願い致します。ホームステイ受け入れの募集やそのための必要とされる事項や条件などを後日配布しますので、寛大なご協力をお願い致します。

2011年3月22日

福岡教区司教 ドミニコ宮原良治

カリタスジャパン募金のお願い

郵便振替番号：00170-5-95979

加入者名：カリタスジャパン

通信欄：「東北地方太平洋沖地震」と明記

### 大きな喜びに包まれた福岡教区 二人の新司祭誕生

この日、ルカ大塚了平司祭（武蔵丘教区）と、カテドラルの鐘が喜びを告げ、入祭の歌が高らかに響く



この日、ルカ大塚了平司祭（武蔵丘教区）と、カテドラルの鐘が喜びを告げ、入祭の歌が高らかに響く

3月21日、小雨まじりの天候の中、大塚了平、谷口尚志両司祭の叙階式が、カテドラルにおいて宮原良治司教の手によって荘厳に執り行われた。80人を超える司祭団、神学生時代に新司祭が関った小教区や出身教会など教区全域から千数百人にも及ぶ信徒が集い、会場は立錐の余地なく、2人の司祭の誕生を喜ぶ人びとの拍手がこだました。

ルカ大塚了平・フランシスコアシジ谷口尚志  
新しい社会を築く世の光・地の塩に

3月21日、小雨まじりの天候の中、大塚了平、谷口尚志両司祭の叙階式が、カテドラルにおいて宮原良治司教の手によって荘厳に執り行われた。80人を超える司祭団、神学生時代に新司祭が関った小教区や出身教会など教区全域から千数百人にも及ぶ信徒が集い、会場は立錐の余地なく、2人の司祭の誕生を喜ぶ人びとの拍手がこだました。



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
カトリック福岡司教区本部  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

#### 4月の意向

【一般】若者に人生の意味と希望を示す  
【宣教】キリストに出会っていない人々の救い  
【日本の教会】日本の教会と聖地の教会のきずな

#### 時評

### 渡邊隆義神父

東北関東地方を襲った大地震とそれに伴って発生した大津波による惨状をテレビでみながら胸の詰まる思いでした。電力不足の被災地のためにと節電を呼びかけるメールが届きました。九州の電気は東北や関東と周波数が違うので節電してもこれ以上被災地には供給できないと電力会社をおして知りませんが、では私が自分の日常生活の中で被災者

に直接的にできる具体的な支援はなんだろうと考えるこまに「神は天の創造の時に自分の業に満足されたようすが（創世記1章31節）の中にこのような惨禍も想定されていたのだろうか。今、神の耳に人々の嘆きの声が届いているのだろうか。「あなたがたはその日その時を知らないのです。だから用意していなさい」(マタイ24章36-44節)とはこのことだったのだろうか。

3月11日に起こった東北関東大地震は、私たちに大きな悲しみと苦しみを、そして絶望や不安をもたらしました。数千の方々が命を落とされました。ある方は瓦礫の下で、ある方は海の中へ。本当にこんなことがあるのだろうか、誰もが目を疑ったと思います。私たちはただただ、祈りと犠牲でそして、何らかの具体的な行動で被災者に心を寄せるばかりです。この出来事を通して、神は私たちに何を語ろうとしておられるのか、問わなければならないと思います。もし、問われないなら、神さまのもとに帰って行かれた数万人の命は、無駄になっってしまうと思うからです。▼この無辜の尊い命は、生かされている私たちに問うています。この大きな災害を通して、神は私たちに何を伝えたのか、私たちに何が求められているのか、何を改めるべきなのか、今後どう生きていくべきなのかと。一個人あるいは日本という国の社会人としてのみならず、教会のメンバーとしてもこの出来事とらえてみる時ではないでしょうか▼私たちの教会は内向きで、この日本の社会の人々に福音をもたらしようという宣教の精神は非常に薄いと嘆かざるを得ないでしょう。今後の私たちの対応如何によって、教会が主の望まれる姿に変えられる大きな契機となることもできるでしょう。この未曾有の災難を通じて、教会が発信出来ることは何か、苦難と悲嘆の中におられるキリストにどのように仕えていくかなど、私たちは信仰者の眼でこの出来事を冷静に見つめ、出来る行動から起こして行きましょう。(M)

谷口尚志司祭は「嬉しくて泣いてしまいました。司祭としてのあり方を一生かけて究めて行きたいと思っています。一ヶ月間黙想していつも考えていたことは全く足りない自分でした」と途中声を詰まらせて述べ、その姿に励ましの拍手が沸いた。

また、立食パーティーで2人を見守っていた山元眞神司祭（小倉教区）は「奉仕のプロを目指して一緒に頑張ろう。疲れきったとき、力尽きたとき、神父はさらにもう一歩求められる。自分の弱さの中で神様は使って下さる」とエールを送った。2人の叙階記念カードには、期せずして「わたしはあなたとともにいる」「力は弱さの中で」の言葉が選ばれていた。未曾有の自然災害という困難にあつて、キリスト者として一人ひとりが問われた叙階式でもあった。

また、異動が決っていたF・レナト神父（武蔵丘教会主任）は、「主任司祭としての任務を果たしたと思います」と感慨深げに述べた。

式後「この叙階式は神様の方に向けるよい機会になった。教会が一つになって、皆で新しい日本、神のみ国を作りたい」「嬉しかった。神様の恵みを頂きました」「正直で生き生きとしたお二人にこちらが元氣になりました」などという声が聞かれた。

#### 新司祭紹介

### ルカ 大塚了平 神父

▽1976年8月11日熊本県合志市生まれ▽2000年10月8日韓国ソウル明洞大聖堂で受洗▽2009年2月11日福岡教区カテドラルで助祭叙階。

### フランシスコ・アシジ 谷口尚志 神父

▽1982年5月14日（聖マチア使徒の祝日）福岡市西区生れ▽1984年1月29日カトリック大名町教会で受洗▽2010年3月22日福岡教区カテドラルで助祭叙階。

#### 司祭人事異動

◆大名町教会協働Ⅱ大塚了平神父（新司祭）◆新田原教会協働Ⅱ谷口尚志神父（新司祭）

祭）◆高宮教会主任Ⅱモリス・エドウィン神父（カプチン・フランシスコ修道会）◆橋谷安憲修道士（カプチン会）◆吉塚・南粕屋教会主任Ⅱドミニコ古川健一神父（古賀教会協働）◆古賀教会主任代行Ⅱウィリアム・エドワード神父（豊橋教会）◆武蔵丘教会主任ⅡF・ザビエルノ瀬輝幸神父（長崎教区）◆光丘教会協働Ⅱゼフト神治神父（大名町教会）◆手取教会協働Ⅱデンニ・ヴァユ神父（島崎教会）◆島崎・玉名教会協働Ⅱアンソニアネロ・ヴァレリオ神父（聖ザベリオ宣教会管区本部）◆御受難会Ⅱ笹田六合豊修道士◆ジュード神父Ⅱ6月からサバティアカル◆硫黄隆二神父（吉塚教会）◆教区外◆戸村悦夫神父・片岡哲夫神父（高宮教会）◆教区外◆F・レナト神父（武蔵丘教会）◆教区外◆染野治雄神父（御受難会）◆教区外◆小川孝志修道士（聖パウロ会）◆教区外◆高宮教会はカプチン・フランシスコ修道会司牧に変わります。



### 司祭叙階おめでと〜ございます！

#### 谷口新司祭の思い出



私が谷口新司祭と知り合ったのは中学時代の事です。聖パウロ会と一緒に学び・遊び・お祈りをしました。彼はスポーツと音楽(BN)が好きで、他の修道院に夕食に誘われた時も、お札に聖歌ではなくBZを熱唱していました。スポーツにも熱く、大学時代には挨拶代わりにキャッチボールをし、グローブをはさずと手が真っ赤に腫れていたのを覚えてます。

た姿が見えていました。そして去年の助祭叙階式での姿は、私自身の召命についても考えさせられる式でした。私にとっての谷口神父は人生の道しるべと言って過言ではありません。谷口神学生の成長する姿を福岡教区報やカトリック新聞で見るたびに、私自身も頑張ろうという気持ちが出ていました。

#### 大塚新司祭の思い出



司祭叙階の秘跡を受けられた大塚了平神父様、おめでと

うございます。本当にすばらしく喜ばしいことです。さて、私が神父様と初めてお会いしたのは青年会でのことでした。当時熊本では中村彰神父様(現・戸畑教会)の御指導の下毎週祈りの集いを行っていました。誰に対して敬意をもって接するそのお人柄は当時から印象深いものでした。



2月19日、福岡のカルメル山の聖母修道院(女子跣足カメル修道会 福岡市西区今宿上ノ原)は、大きな喜びに包まれていた。

### カルメル会荘厳誓願宣立式

宮原良治司教主司式、糸島教会竹内英次神父・男子跣足カメル修道会宇治修道院新井神父の共同司式により、Sr.十字架のテレジア長谷川朋映の荘厳誓願宣立ミサがカメル会聖堂において執り行われた。

この日、聖堂は、Sr.長谷川の出身教会(東京 高幡教会)からの参列者を始め、福岡教区報を見た信徒たちや糸島教会・北九州カメル在世会・

#### 福岡教区司祭生涯養成講座開催



2月に入って何となく胸の高鳴りを覚えていました。そして迎えた14日、そうです。ご婦人方からいたたくちヨコレット・・・ではなく、福岡教区初、否、日本初の司祭生涯養成講座開催の日。

配慮が含まれるべきものである」と指摘され、これには「なるほど」と思いました。英隆一郎神父(イエズス会)は、これから予測される社会の混乱、混乱に対してどう教会を整備すべきかといった話しをはじめ、教会や司祭職に関する興味深い話しを展開されました。

残念ながら、急用が入り、百瀬文晃神父(イエズス会)の講義には与ることが出来ませんでした。それでも収穫の多い養成講座でした。参加費は高かったのですが、それだけの価値があったと思えます。実行委員会のスタッフの皆様のご尽力に感謝します。カトリック門司教会主任 井手公平神父

#### カテキズム講座終りの日に

10年の永きに亘りカテドラル大名町教会で行われてきた『カテキズムの勉強会』が1月で終了した。月に1度の講座だが小教区の行事や私用と重なり2/3くらいの参加。われわれには難しいカテキズムを解り易く説明してくださるので「参加することに意義あり」のときもあった。しかし、この最終日は「神の計らひは、なんとすばらしいことか」と気づかされた。

櫻井神父は「今日でこの講座は終わります」と言ったあと、最後は「主のいのり」についてだった。神の業はここまで深いのだと感動した。「全福音を要約する祈りである主のいのり」あるいは「福音を思い起こすための祈り」で、イエスは新しい生き方を教えてくれた。そしてそれを助けるために、どのように祈るべきかを示してくださいました。



万物は 神から 神によって 神へ  
ローマ書 11-36

あらゆるものは、神のいつくしみに支えられて生まれ、活かされ、最終的に神のもとへと向かいます。ちよとど、

ではありません。むしろ、死は、はじまりです。神とともに生きる、ほんとうに家族的な生活がつづいていきます。

頃、夕闇の影が迫る時刻になると、決まって鬱々とした恐怖が心のなかを占領します。真つ暗な勉強部屋の片隅にたずみながら、来る日も来る日も、ただ一人で自問自答して生きてみれば、何か答えが見つかるとも思えない、と

洗礼を受けてキリスト者として生きてみれば、何か答えが見つかるとも思えない、と

阿部仲麻呂神父(サレジオ会)の、「人を活かす司牧活動自身がすでに神学の営みです。神学は、学者の個人的研究にとどまるものではない」という言葉が印象的でした。

櫻井神父は「今日でこの講座は終わります」と言ったあと、最後は「主のいのり」についてだった。神の業はここまで深いのだと感動した。

10年間のカテキズムの勉強は少しの無駄もなかった。故松永久次郎司教様、そして櫻井尚明神父様に深く感謝したい。

大牟田教会信徒

里帰りするかのよう。帰れる場所があるというの、何とうれいことではないでしょうか。キリスト者にとって、死は、決して終わりのな

さて、その昔、筆者は死を恐れていました。中学一年の

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

**神の前で生と死を考える集い**

②6月25日(土)17時~26日(日)15時 指導:シスター高木慶子(援助修道会)  
内容:現場体験と聖書から語る

③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導:来住英俊神父(御受難会)  
内容:自死の問題、教会の秘跡(特に、病者の塗油)

**カトリック福岡黙想の家**

カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

**ミサ用ワイン**

ワイン デ ミサ  
**VINO DE MISA**  
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

**草苑** (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。

**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5



福岡地区信徒協宣教社会部

『教会を活性化するために』英神父が講演



2月20日(日)午後2時よりカテドラル大名町教会にて福岡地区信徒協宣教社会部・宣教社会部主催による講演会が開かれた。テーマは「私が望む教会と社会との関わり、教会を活性化するために」。

講師に英隆一朗神父(イエズス会)を招き行われ、多くの修道女も含めて170人ほどの参加者が英神父の問題意識に聞き入った。

講演は、「このままでは教会として修道会が高齢化問題や家庭での信仰継承が出来ていない現状を背景として潰れていく」という衝撃的な話から始まった。

近頃の若いモンは

一青年による青年事情通信 若者の取り組み

3月13日(日) 東日本大震災被災者のための教会の祈り(晩の祈り)がカトリック大名町教会で行なわれました。

この春福岡を離れる青年たちの「送別会」が予定されている。英神父は、今の教会の現状における危機的状況に反してミサに与るだけで満足して

近づいている将来には、キリスト教が間違いなく広く信じられ、そして福音の「からし種」を発芽させるべく、キリ

紫苑COMから「こひつじ会」誕生によせて



紫苑COMは、精神障がい者と暮らす家族の会です。最新の精神医学の情報収集に努め、家族が「おしゃべり場」を開きます。今回「こひつじ会」を立ち上げました。本人のQOLを高めるために「やさしい料理家庭科教室」は実践済み。精神の病いを、ま

スト教徒として神をよりどころとする生き様を輝かせる時代が到来するであろうと強調した。

水巻教会の野田君文部科学大臣賞に



水巻教会の野田宏人君(小学4年生)は教会の侍者のひとり。去年の夏休みの自由作品『ピンのパイプオルガン』が、福岡県の県知事賞を受賞して、昨春秋に県庁で表彰された。このことは早速、水巻教会の主日のミサで全信徒に紹介された。

この大震災という出来事を受け、日本でそして教会であらゆることが新たに始まるのだと思います。復興に向けてそれぞれの立場で長い試練が待ち受けていること、そして「祈り」「行動」すること、原点に、離れた人々を思い、近くにいる仲間と共に向き合っていけたらと願います。

地整備の奉仕活動をされるアルコール依存症の方々へ月2・3回程度の昼食づくりも「おいしい!」の声に励まされて継続できています。食器洗い、お茶の用意など陰で支えてくださるボランティアが大きな力になっていて、ことを知らされています。来る5月14日(土)は「こひつじ会」が紫苑COMから誕生する記念講演会です。応援してください。参加されること、その一歩です。紫苑COM代表 吉永昌子

ザビエル旧聖堂 中期祝福式

日時 4月10日(日) 14時 場所 福岡黙想の家宗像作業所 司式 宮原良治司教

ザビエル合唱団前日練習 日時 4月9日(土) 13時 半から

野田君の作品は、8種類のピンで作った鍵盤で、それぞれの音を奏でる『ピンで作ったパイプオルガン』で、なかなかのアイデアに満ちた作品である。あいに、その作品は、東

3月4日世界祈禱日 今年の唐津はルーテル教会で



毎年、3月の第1金曜日は世界中のキリスト者がひとつのテーマのもと、共に祈り、行動する世界祈禱日である。佐賀県の唐津でも、数十年前から市内の4つの教会(カトリック、ルーテル、日本基督教団、聖書教会)が、その年の当番教会に集まり、祈禱会を行なっている。

60周年記念行事 津和野乙女峠まつり

日時 5月2日(月) 19時 前夜祭(津和野幼稚園) パネルディスプレイ

津和野教会(乙女峠) 12時 野外ミサ (司女峠) 司式者 池長潤大司教 ◎お問合せ 0856-72-0251



☆聖母とともにする 十字架の道行き ファン ナンヨン 文 キム オクソン 絵 田島 久子 訳編



☆現存のあかし モーリス・ズンデル 著 福岡カルメル会 訳

1897年スイスに生れる。司祭叙階後ユニークな思想のため教区から追われ、フランス、イギリス、エジプトなどを転々とする。1946年スイスに帰りローザンヌの小教区の助任司祭となる。1972年教皇パウロ6世よりヴァチカンの思想指導に招かれる。1975年帰天。彼の教えが当時受け入れられなかった事を思いながら本書を

Advertisement for 'Japan Smile' (ジャパン・スマイル) featuring a logo and contact information for a service.

Advertisement for 'FPC' (福岡プライマリケア訪問看護ステーション) providing home care services.

Advertisement for 'Moriyama Construction' (森山工務店) listing various construction services.

Advertisement for 'セント・ポール FUKUOKA' (St. Paul Fukuoka) with contact details for a church or community center.



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マタイによる福音書』

プログラム

③5月15日「たとえ話」 古川健一神父 (吉塚教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
会費：1回 5000円/年間通し20000円
用意するもの：新約聖書 (またはマタイ福音書)
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典部会
島山部会長 (笹丘教会) ☎080-5246-1816

2011年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう
第一回：5月15日(日) 14:00～16:30
講師：寺浜亮司神父 (直方・田川教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
参加費：無料
主催：北九州信徒協
問合せ先：☎093-293-4981 松尾隆

青年の旅～平戸・生月に行こう!

日時：5月3日(火) 10時～5日(木) 17時半
費用：27000円 (旅費・宿泊費含む)
対象：青年キリスト者 (35歳まで)
申込先：カノッサ修道女会 Sr. 大田 ☎0944-58-5793
mail: sis.ak@hotmail.co.jp
\*集合・解散地：JR 佐世保駅/定員：8人

各地区のキリスト教講座

信徒の生涯養成として、キリスト教入門にも奨励される講座です。下記の教会で行われています。
カトリック大名町教会 092-741-3687
カトリック大牟田教会 090-8221-5293
カトリック小郡教会 0942-72-3256
カトリック手取教会 096-352-3030
カトリック武蔵丘教会 096-339-1910
\*お問合せを待っています。

2011年度 聖霊による信仰生活刷新セミナー

【日時】 毎週月曜日：午前 10:30～12:30
【会場】 カトリック大名町教会 1階講堂
① 5月2日「神の愛」 / F・マッケイ神父 (鳥栖教会)
② 5月9日「救いのみわざ」 / 遠山 満神父 (笹丘教会)
③ 5月16日「新しい命」 / H・オカロール神父 (小郡教会)
④ 5月23日「回心」(聖霊の満たしを受けるために)
V. アレックス神父 (広島教区宇部教会)
⑤ 5月30日「満たし」 / F・マッケイ神父 (鳥栖教会)
/B・ガブリエル神父 (御受難会)
テキスト：「新生の門出」(小林有方司教訳)
参加費：自由献金/連絡先：☎☎ (092) 821-6349 森

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2011年

案内板

会合と催し

4月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 4月

3月28日(月)～1日(金) オプレート会 会議
2日(土)～3日(日) 四旬節黙想会(指導：来住英俊神父)
14日(木) 四旬節黙想会(指導：来住英俊神父)
16日(土) 福岡チェナクルム
16日(土)～17日(日) 四旬節黙想会(指導：来住英俊神父)
21日(木)～24日(日) 聖週間黙想会(指導：来住英俊神父)
26日(火)～29日(金) フランシスコ会 研修
29日(金)～5月2日(月) 日本心身医学協会 研修
5月
5月3日(火)～5日(木) クルシリオ
\*2面の黙想の家の広告も参照してください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

\*祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とともに祈る
・日時：4月14日(木) 10時～14時半
・内容：過越しの三日間
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次回：5月12日(木) 復活節
☎0968・85・3100 0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

3日(日) 四旬節第4主日
吉塚・南粕屋教会主任司祭就任式
†A. アレグリーニ [2005年ロザリオの園]
†黒川博 [2002年八代教会]
4日(月) 福岡地区司祭集会
5日(火) 常任司教委員会
7日(木) 四旬節第5主日
10日(日) 福岡教区司教座教会献堂記念特別献金日
宗像旧ザビエル聖堂祝福/信徒使徒職協力者の集い
福岡教区司教座聖堂献堂記念日
13日(水) 召命祈願ミサ (神学院19時半)
14日(木) 受難の主日/枝の主日/世界青年の日
17日(日) 聖火曜日/聖香油ミサ (カテドラル15時)
19日(火) 聖木曜日/主の晩さんタベのミサ (カテドラル19時)
21日(木) 聖金曜日/大斎・小斎
22日(金) 主の受難 (カテドラル19時)
23日(土) 聖土曜日/復活徹夜祭 (カテドラル19時)
24日(日) 復活の主日/門司教会堅信式
25日(月) 教区司祭集会(～26日)
†J・L・カズレ [2008年サンスルピス司祭会]
29日(金) 教区修道女連盟総会 昭和の日
5月
1日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
カテドラル献堂25周年ミサ (14時)

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月16日、5月7日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
\*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜日11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(代表) Br.床嶋(問合せ先) ☎092・521・2503 3連尾
◆宗像旧ザビエル聖堂祝福式(日時) 4月10日(日) 14時から(場所) 宗像黙想の家(内容) 祝福式(司式) 宮原良治司教(問合せ先) ☎0940・33・9001 NPO法人文化財保存工学研究室 土田
◆召命祈願ミサ(日時) 4月14日(木) 19時半から(場所) 神学院福岡キャンパス
◆在世フランシスコ会集会(日時) 4月17日(日) 14時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集会所(指導) 戸村悦夫神父(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 4月26日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区)(内容) 復活祭 続唱・他(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
◆福岡ホスピスの会勉強会(日時) 5月8日(日) 14時から(場所) カトリック大名町教会4階(テーマ) がんの告知とこころの痛み(講師) 三木浩司医師(小倉記念病院精神科部長)(参加費) 会員5000円/一般10000円(問合せ先) ☎092・874・6321
◆「こひつじ会」設立記念講演会(日時) 5月14日(土) 10時半から(場所) カトリック福岡黙想の家2階会議室(テーマ) 精神科疾患とその治療(講師) 三木浩司医師(小倉記念病院精神科医師)(参加費) 4500円(弁当代)(主催) 紫苑COM(問合せ先) ☎0940・33・2731 吉永
◆福岡結婚準備講座(日時) 5月14日(土) から6月11日(土) 19時半/21時の毎週土曜日の全5回(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎092・741・3687 ★原則お二人で参加
◆虹の会(日時) 5月21日(土) (場所) 能古島(内容) 年間一度の戸外での集いです。雨天決行(問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田須磨子
◆「世界広報の日」研修会(日時) 5月29日(日) 14時から(場所) カテドラル大名町教会1階講堂(テーマ) 共同体の「わ」と広がり求めて(講師) 下智英知神父(長崎教区司祭)(対象) 各教会の広報担当者と感心がある方(主催) 福岡教区広報委員会・福岡地区信徒協報部会
◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます! ●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん! 毎週火曜日10時30分●路上からアパートに入居した方を訪問!! 第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父 ◆スリーブの会の越冬炊き出しご協力有難うございました。ここを拠点にこれからも続きます。

北九州

◆九州地区召命を共に祈る会(日時) 4月14日(木) 14時(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサ・ミーティング(指導) 井手公平神父(問合せ先) ☎093・963・2359 江口スズ子
◆カルメル在世会集会(日時) 4月18日(月) 9時半(場所) パリ外国宣教会聖堂・集会室(5月より福岡女子カレッジ) (内容) ミサ・講話完徳の道(大テレジア著)(指導) カルメル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360 中林
◆小倉祈りの集い(日時) 4月22日(金) 13時半から15時(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会)(内容) 「みことばを味わう」 賛美と感謝の祈り(連絡先) ☎097・551・1360 中林
◆佐賀祈りの集い(日時) 5月7日(土) 10時半～12時 毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武
◆熊本地区召命を共に祈る会(日時) 4月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
◆カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 4月17日(日) 14時30分(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr.竹内
◆熊本結婚準備講座(日時) 5月7日(土) から6月4日(土) 19時/21時半(場所) 毎週土曜日の全5回(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030 F 096・352・1515

佐賀

熊本

編集後記

大災害の中での叙階式という事で、お二人の心境は、複雑なものがあったのではないのでしょうか。大勢の信徒の祈りに支えられ、祈られていきます。どうぞ、大きな希望を携えて第一歩を踏み出されませう。阿部神父様(サレジオ会)に「みことばの広場」に寄稿いただきました。次号に後編が続きそうです。また、毎日、気持ちが続いてしまいうななニュースが続く中で野田君の快挙のニュースは、まさに「福音」でした。国難とも言える状況の中で、神が確かに救いの手を差し伸べて下さることを信じ、希望をもって歩んでいきましょう。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

ダビッドの子
イスラエルの王に
ホザンナ!
4月3日、10日、17日の日曜日は、
11:00～15:00で営業いたします。
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax:739-3930





宮原良治司教認可  
 発行所 福岡教区本部  
 福岡市中央区浄水通6-28  
 発行 人  
 カトリック福岡教区三  
 編 森山信三  
 TEL 092-522-4059  
 FAX 092-523-2152  
 振替口座 01760-6-20729  
 カトリック福岡教区  
 定価 一部60円

**5月の意向**  
 教皇様の意向のために祈りましょう  
 【一般】報道における真実、連帯、人間の尊厳  
 【宣教】中国の教会  
 【日本の教会】日本における司祭召命の推進

**聖香油ミサと司祭職制定を祝う**



祭には預言者としての使命が与えられている。すなわちそれぞれの時代及び世の中の動きを識別してそこに福音の光を当て、神のみ旨を見出していこうとするのである。今、日本で起こっていることは何か、神は私たちに何を呼びかけているのだろうか。大震災は、四旬節の開始直後に起こった。私たちに与えられた40日間は、イスラエルの民の40年の荒野の体験の、いわば追体験である。旧約の民にとって40年は、物質的には恵まれない、裸にされてしまうような体験だった。しかし、それは同時に真の神との出会いの時、解放の時でもあった。私たちは何から解放されるべきだろうか。私たちは豊かさを求め、快適さ、便利さを求めて来た。

たのではないか。人と人とのつながり、支え合い、分かち合いなど、本当の豊かさにつながることは何か物質的なものではない。砂漠ではマンナがなかった。しかし、確かに神が彼らの歩みを導いておられた。今日、私たちも主の祭壇を囲み、互いの交わりを深め、日本を、日本の教会をそして教区を変えていくという決意を新たにしよう」と語った。

また、ミサ後に行われた祝賀会では、ダイヤモンド祝、金銀祝を迎えた司祭たちに教皇から祝福のメッセージが手渡された。叙階60周年を迎えたテンペリー二神父は「司祭になったとき一人のシスターが刺繍の入ったハンカチをくださった。それ

には『Tu es sacerdos in aeternum. (あなたは永遠の祭司)』と書いてあった。これからボツボツ永遠の司祭に近づいていきますので、お祈りください」とユーモアを交えて語った。また櫻井神父は「他の司祭たちは健康のことを心配していたけれど、自分は病院には行かないので、病気がなく一番健康。一年に体重が一キロずつ増え、25年たつて25キロ増えた。これからは一キロずつ減らしていくつもりだ」と語った。

司祭叙階25年を振り返って見て、短い言葉でそれを言い表せば、「出会いと感謝」。そして、もう一つ付け加えると、「驚き」という言葉になります。様々の出会いが

がでなかつた出会いばかりでした。老若男女はもちろん様々の境遇や立場の方々の出会いがありました。いまはその一つ一つが自分にとって大切な宝物です。そして、これからの自分を支え、励まし、照らしてくれるものともなりました。そんな出会いの中で、信仰の恵みを体験させて頂きました。信仰は神との出会いであるとも言われます。そうであれば、沢山の人の出会いの中で、その方々を通して神様とも出会わせて頂いたのではないかと思います。それを思うとき、神様の計らいの優しさやあわれみを感じます。それは、また私にとって神様の働きへの驚きと感謝でもあります。神に感謝。そして、これまで、また、これから出会うすべての人に感謝いたします。カトリック健康教会主任

「わたしは裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。主の御名はほめたえられよ」(ヨブ1・21)。戦後、私たち日本人は焦土と化した国土を復興させ、高度な経済成長を遂げた。モノが溢れ、お金さえあれば何でも手に入り、宗教や信仰が私たちの生活を占める場所は、とても薄くなってしまった。しかし、今回の大災害を通して、私たちは計り知れないモノを失ってしまった。ヨブも同じように物質的な財産、家族そして健康をも失う。「どこになお、わたしの希望があるのか。誰がわたしに希望を見せてくれるのか。それはことごとく陰府に落ちた。すべては塵の上に横たわっている」(17・15)▼今この国を覆っている混沌、虚無、苦悶、死は、神の不在や罰の証明か。そうであるまい。一般にユダヤ人は、因果応報的な考え方を持っていた。すなわち、苦悶や死は人間の罪の結果である、と。しかし、ヨブは、こう宣言する。「わたしは知っている。わたしを贖う方は生きておられ、ついに塵の上に立たれるであろう」(19・25)▼死は、多くの親しい人々との別れを意味する。神との交わりも同じように絶たれるのか。ヨブが、「神は生きておられ、ついに塵の上に立たれるであろう」という時、闇から光へ、死から生命へ、混沌から秩序へ、苦悶から喜びへと変えて下さる方の存在を信じて疑わない。神は死や苦悶を超えて人を生かす者である限り、塵の上に立たれたこの方に信頼し、そこで真の神と出会い、生きるこの意味を教えらるるのである。



**キリストは復活し私たちと共におられる アレルヤ!**

**東日本大震災関連「福岡教区・被災者支援室」**

4月18日(月)午後、司教館で「福岡教区・被災者支援室」の会議が行われた。4月7日付けで、被災者にたいするホームステイ・住宅提供等のお願いを4月12日締切りで行っていた件につき、福岡地区、北九州地区、佐賀地区、熊本地区それぞれから提供の申し出があり、内容の集計と確認を行った。

- ①支援室担当者で各々の提供者に詳細確認の上、自治体の窓口へ登録することになる。
  - ②被災者から利用の申し出があった場合、各自治体を通して支援室へ連絡を受ける。
  - ③支援室の地区担当者を通して提供者へ連絡があり、条件等が確認できた段階で、受け入れることになる。
- \*住宅提供等の情報は各小教区を通して行なわれたが、受入れ決定後も主任司祭と連絡をみつにしながら小教区共同での関わりが必要となる旨が話し合われた。  
 \*被災地ボランティアについても検討が行われた。仙台サポートセンターと連携を取りながら、第1陣として連休明けの週を視野に、男性7人を募集することになった。  
 \*2人の司祭が同行し、往復の行程を入れて4日間を予定するなど話し合われた。

**60年のダイヤモンド祝**  
 ◇アルド・テンペリー二師 1951年7月1日ミラノ外国宣教会司祭として叙階。1956年に来日、1962年に福岡教区の鹿島教会や鳥栖教会を歴任後、管区長として

**3司祭が50年の金祝**  
 ◇ヨアキム平田 敬師 1954年福岡サン・スルピウス大神学院入学。1961年3月19日今村教会にて司祭叙階。大楠教会、呼子教会、戸畑教会、久留米教会、西新教会を経て2001年から小倉教会及び付属幼稚園園長を務める。2010年より佐賀教会主任。

**同級生4人が銀祝**  
 ◇ペトロ青木 悟師 1978年福岡サン・スルピウス大神学院入学。1986年3月21日カテドラルにて司祭叙階。カテドラルにて司祭叙階。大山教会、光丘教会主任を務めた後、ローマにて教会法を学ぶ。1996年帰国後、教区事務局長を務め、2001年大名町教会、2008年から健康教会主任及びさゆり幼稚園園長を兼務。

**同級生4人が銀祝**  
 ◇ヨハネ 櫻井 尚明師 1978年福岡サン・スルピウス大神学院入学。1986年3月21日カテドラルにて司祭叙階。ローマにて教義神学を修める。2000年糸島教会主任を務める傍ら、大神学院にて教義神学を教える。2008年からカテドラル大名町教会主任。

者として勤務。



2010年の福岡教区現勢

2010.1.1 ~ 12.31

Table with columns for church names, membership numbers (in籍信徒数), deaths (死亡者数), transfers (転入/転出), baptisms (幼児洗礼/成人洗礼), and other statistics. Includes a summary row for the entire region.

信者総数30,393人・司祭96人・助祭2人・修道士4人・小神学生4人・修道女389人が入ります。

みことばの広場

万物は神から神によって神へ
ローマ書 11-36

パウロと同様に、死をとおして人のいのちは新たな段階に入っていくと考えたほうが筋

私のおまじないが虚無に帰すわけではないと、信頼をこめて言いたいのです。むしろ、

が通ると言えましょう。たしかに、主イエスは十字架の死の苦しみを乗り越える道を示しています。さらには、少しさかのぼりますが、ちょうど今から30年前に教皇ヨハネ・パウロ二世が訪日し(1981年)、その印象があまりにも鮮烈で、中学受験を控えて小学6年生の身でそれ相応の苦勞をしてきた自分にとってキリスト教信仰の世界的指導者の臨在は、人生の何らかの転機にもつながりました。幼いころに母親からアグネス・チャンのレコードを毎日聴かされて

育ったことも手伝って、訪日した教皇ヨハネ・パウロ二世を迎えたヤング&ポープの集いの際にアグネスが司会をしていた模様もテレビで観て心に残りました。要するに「教皇の印象」と「死への恐怖」が筆者のキリスト教信仰の目覚めの基礎となっていたと言えるのです。その後、1987年に上智大学文学部哲学科でラテン教父思想(アウグスティヌス、トマスやドイツ神秘思想(エックハルト)の研究を深めるうちに、両者の根底に据えられていたギリシア教父思想の重

要性にも気づくようになり、神学部に入籍してからは、世紀の三位一体論を専門的に学び、神学博士の学位を取得しました。今に至るまで、そのうでが「教皇の滋味豊かな思想」に魅せられています。迫害の最中であって、死の恐怖にさらされたとしても、神に信頼して感謝のうちに祈りを捧げて讃美の人生を送った教父たちの姿勢を真似ていきたいと常々思います。

「万物は神から神によって神へ」(ローマ11・36)。その昔、1994年に神

ちょっと一息



\* 喧嘩したあとのカレーが辛すぎる \* 脇役が目立つちゃいかん紅しようが 坂牧春妙 深堀正平



スリランカ巡礼の旅
9日間の旅行の中では心の痛む事、心癒される事、神様のご家族のおもてなしの心、私達かともすると忘れかけそうな事をたくさん体験しました。今回の巡礼は寺院も世界遺産も盛りだくさん。そこには神父様のスリランカを体験して欲しい、知って欲しいとおもてなしの心が溢れんばかりでした。神様に感謝 古賀教会信徒 天村朋子



イタリアからも応援のメッセージ
ローマ市街を走るバスの背に日の丸と『CORAGGIO GIAPPONE! 日本がんばれ』の文字が書かれている。グレゴリアン大学を会場

神の前で生と死を考える集い
②6月25日(土)17時~26日(日)15時 指導:シスター高木慶子(援助修道会)
③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導:来住英俊神父(御受難会)
カトリック福岡黙想の家
カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 福岡黙想の家 検索
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5



### 被災地ボランティアに参加して

4月6日と7日、宮城県塩釜市でボランティア活動に参加した。

塩釜教会にカリタスジャパンのボランティアベースがおかれている。市の社会福祉協議会のボランティアセンターに登録し、そこから依頼先に行き活動した。

初日は地元の男女学生6人と共に、1階部分が浸水した住宅・店舗の泥かきと使えなくなった家具の運び出しをした。屋内には水と油を含んだ泥が20センチ近く堆積していた。濡れた畳を運ぶのにかなり苦労した。

昼食時は乾いた所を見つけて腰を下ろし、持参したパンをほおばった。皆泥まみれだった。学生たちは連日ボランティアセンターに来て、片付けを手伝っているという。

彼らのうちに、塩釜を必ず復興させるという強い思いを感じた。活動を終えてベースに戻ると、当番の方が準備してくれた夕食を共にいただく。夕食後にはミーティングが行われた。今日の活動の感想を述べたり、課題などを出し合った。

塩釜教会には入れ替わりながら20人前後のボランティア

### こんにちは、始めまして！ カプチン・フランシスコ修道会



Fr. MONIS, Edwin



Br. 橋谷保憲

聖フランシスコの第一会は3つの家族に分かれています。フランシスコの小さき兄弟会、コンヴェンツァールの小さき兄弟会、そしてカプチンの小さき兄弟会です。それぞれの兄弟会は聖フランシスコ

の会則に従っていますが、そのカリスマや特性という点では異なったものがあります。私たちは「カプチンの小さき兄弟会」として知られる、3番目の家族のメンバーです。

基本的には聖フランシスコの生活の規則に従って生きていくわけですから、同じようなカリスマを持っています。

それはまず、祈りと兄弟的生活様式を土台とし、私たちが宣教活動を展開する地域にあつて、キリストの愛の福音の良き知らせを、貧しい人々、助けを必要としている人々、

底辺に生きる人々に優先的にもたらしたいと強く望んでいます。もちろん、3つの家族はそれぞれが他とはこのように違っているといたように、明白な違いを取り出して見せることはできません。聖フランシスコの生活の規則をどのように生きるかということに、様々な要素が絡み合い、それぞれの家族は独特の「香

かと思えます。福岡教区に受け入れていただいたカプチン会士として、橋谷保憲修道士と共に、共同体と小教区での活動を通して神に仕えようと、一生懸命努力し、いつもみな様と共にありたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。

カトリック高宮教会主任  
エドウィン モニス神父  
橋谷保憲修道士

さんには作業している私たちに何度も頭を下げて、「ほんとうに助かります」と礼をおっしゃる。その姿を見るのがつかつかた。失ったものの大きさ、今後直面することになる生活再建の険しい道のりを思う。作業を終えて、空っぽになった自宅の前に立っておられる家主さんに、「お体に気をつけてください」と言うのがやっとだった。

二日目の夜、宮城県沖でM7.1の地震が発生し、震度6弱の揺れが塩釜を襲った。津波警報のサイレンが鳴り響

いた。私たちは高台まで走って避難した。塩釜の人たちには、あの日の恐ろしい記憶が呼びさまされたことだろう。被災地の人々が物心両面に負った傷は大きく、深い。彼らはいま、悲しみをこらえ、懸命に前に進むようとしている。また被災した人々を支え、共に歩もうとしている人たちがいる。彼らのことを思い、これからも祈り続けたい。そして自分にできることを行っていく。

崎津・大江教会主任  
牧山美好神父

### 福岡教区新任教職員辞令交付



3月31日、今年、福岡教区のカトリック幼稚園に就職する14人の教師と職員への辞令交付式がカテドラルで行なわれた。

午後には大石淑子氏(高宮カトリック幼稚園)が「新任教師に望むこと」というテーマで講演。「幼児期に獲得されたものはその後の成長のすべての基礎になる」、「子ども

### 旧ザビエル聖堂再建途中の祝福式



4月10日(日) 14時から宗像黙想の家の一角に建設中の「ザビエル旧聖堂中期祝福式」が行われた。

鹿兒島大学フロイデコーロOBの皆さんによるお祝いの合唱で開式。宮原良治司教の司式に、郡山司教と大型バスに乗り合わせて参加した鹿兒島教区の信徒など400人が集い建設の途中経過を確認した。式の中

で、この日に向けて新垣王敏氏が指揮をとるザビエル合唱団によるザビエル賛歌が花を添えた。

建設の指揮を執っているNPO法人文化財保存工芸研究室理事長の土田充義氏が所属する茶山教会の信徒も巡礼をかねて参加していた。茶山教会信徒の萩原繁樹さんは「自分ができるところを探し、何でもいから捧げなさい」と土田さんが話していました。一生懸命奉仕している皆さんの姿に誰かがこの世を変えてくれるのでなく私たちが、私

が、何かをしななければいけない、と神様に教えられた巡礼でしたと語っていた。

一人ひとりとは全く異なる人格なので、毎年同じことは通用しない。「教師の言葉遣いや振舞い、あるいは価値観までも子どもに移されていくので、教師の人格的成熟が求められる」と、長い幼児教育の体験から語った。

新任教師の愛野まみさんは、「まずは自分の生活習慣を改めていき、毎日子どもたちを笑顔で迎えていきたいと思えます。そして、楽しい雰囲気や保育が出来るように日々の準備をしつかり行っていくたいと思えます。子どもたちが、幼稚園を楽しいと思ってくれるように、毎日真剣に取り組んでいきます」と話した。

女子パウロ会発行  
税込定価 2415円

### シンポジウムのお知らせ

テーマ：信教の自由と政教分離  
サブテーマ：9条とともに大切な憲法20条  
日時：5月21日(土) 13時半～16時半  
場所：カトリック小倉教会聖堂  
講師：溝部脩司教(前高松教区長) = 国是と信教の自由  
谷大二司教(さいたま教区長) = 憲法20条入門  
森上洋介牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会) = 神様を無視するこの世の権威  
資料代：300円/主 催：シンポジウム実行委員会  
共 催：小倉カトリック教会・北九州信徒協・キリスト者九条の会・Mの会・ACO・カトリック20条の会  
問合せ先：FAX (093) 622-1290  
【山元神父より】  
「政教分離」ということを正しく理解しましょう。なぜか政治と宗教は関係がないと思ったり、宗教は政治に関わるべきではないと誤解されています。これは死活問題なのです。シンポジウムに是非ご参加下さい。

☆教えるところ  
新しい時代の教育への提言  
今道友信 著  
「人には得手不得手というものはある。それは当然のことだが、子どものころから、それぞれの分野において『選り抜いて』エリートとして教育していく必要がある、そうしなければその分野ではなくそれ以外の子どもが駄目になってしまう。中略 その子どもの優れたところを見ず、ただ学力だけを見ていては勉強の苦手な子どもも未来への扉を狭いものとしてしまう。」と、あ

とがきより：目からウロコの具体的な体験を交えて教育に対する篤い思いを語る貴重な提言集。  
日本カトリック学校  
教育委員会・編  
本書は「キリスト教の根幹について、カトリック学校に勤務する教職員が学ぶためのテキスト」となり得る冊子がほしい」との声にこたえるために編まれました。補足説明や意見交換をしながら活用されることを願っています。また、一般の信徒や求道者、キリスト教に関心のあるすべての方にとっても、意義ある内容となっております。

なんでもお問合わせください  
株式会社 ジャパン・スマイルか  
〒810-0044 福岡市中央区大濠4丁目9番4号  
TEL 092-781-8800  
http://www.info-japan.com

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション  
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。  
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業  
・一般住宅(新築・改築工事)  
・鉄骨工事  
・RC工事  
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください  
株式会社 森山工務店  
ヨゼフ 森山 新太郎  
福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い  
セント・ポール  
FUKUOKA  
キリスト教書局・信心用具・ビデオ・DVD・CD  
福岡市中央区大濠2丁目大名町カトリック教会1F  
平日/AM10時～PM5時40分  
日・祝日/AM11時～PM4時(球団E定休日)  
TEL 092-741-8888 FAX 092-741-8861  
URL http://www.pax-inc.jp



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マタイによる福音書』

プログラム

③5月15日「たとえ話」 古川健一神父(吉塚教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
会費：1回500円/年間通し2000円
用意するもの：新約聖書(またはマタイ福音書)
主催：福岡地区信徒協働協議会 聖書部

2011年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう
第一回：5月15日(日)14:00～16:30
講師：寺浜亮司神父(直方・田川教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
参加費：無料
主催：北九州信徒協 問合せ先：093-293-4981 松尾隆

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう～希望 喜びをもたらすミサ～
期間：2011年5月15日～11月20日(第3日曜日)
会場：カトリック手取教会
受講料：5,000円(全6回)部分参加は各回1,000円
申込み：手取教会(096-352-3030) 岸
主催：熊本地区神学講座実行委員会
5月15日：福音書に見られる聖体の制定とその前表 湯浅俊治(日本カトリック神学院養成者)
6月19日：食と救いー風土食(ふーど)の祈り 伊藤幸史(日本カトリック神学院養成者)
7月24日：ミサの中で自分をささげる 来住英俊(御受難会宗像修道院長)
9月18日：死と永遠のいのち 岩島忠彦(イエスス会上智大学教授)
10月16日：イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう 大山 悟(日本カトリック神学院養成者)
11月20日：《マザー・テレサと生きる》映画とトーク 千葉茂樹(映画監督 日本映画学校副校長)

世界広報の日/教区広報研修会

日時：2011年5月29日(日)14時
場所：カトリック大名町教会1階講堂
テーマ：共同体の『わ』と広がり求めて
講師：下塚英知神父(長崎教区司祭)
対象：各教会広報担当者と関心がある方
主催：福岡教区広報委員会・福岡地区信徒協広報部会
「広報」という意味、そしてそのあり方を学ぶことにより、広報の「ちから」と「重要性」を再認識し、共同体の「和」あるいは「輪」を強め、ひいては宣教へと向かう一助になるようにテーマを設定しました。

福岡地区「第二回教会学校担当者の集い」のご案内

日時：2011年6月19日(日)14:00～17:00
場所：カテドラル大名町教会・4階会議室
\*各教会の教会学校が抱えている問題点に焦点をあて、3教会のプレゼンテーション、小グループの分ち合い、全体での分ち合いという方法で進めてきます。
主催：福岡地区信徒協 召命・信仰育成部

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：5月21日、6月4日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
\*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2011年

案内板

会合と催し

5月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 5月

4月29日(金)～5月2日(月) 日本心身医学協会 研修
3日(火)～5日(木) クルシリヨ
7日(土)～8日(日) 一泊黙想会
14日(土) 紫苑com
15日(日) 黙想の家で折り語り合う集い(水巻教会)
19日(木) 日帰り黙想会
21日(土)～22日(日) 山口・島根地区信者養成研修会
28日(土)～29日(日) 後援会総会・黙想会
29日(日)～6月4日(土) CCR司祭黙想会
\*2面の黙想の家の広告も参照してください。

F811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 渥940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

\*祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とともに祈る
・日時：5月12日(木)10時～14時半
・内容：復活節
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：6月9日(木) 聖霊降臨の祭日
☎0968・85・3100 渥0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

福岡
◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時から12時30分(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(代表)Br床嶋(問合せ先)☎092・5221・2503 蓮尾
◆召命祈願ミサ(日時)5月12日(木)19時半から(場所)日本カトリック神学院福岡キャンパス
◆「こひつじ会」設立記念講演会(日時)5月14日(土)10時半から(場所)カトリック福岡黙想の家2階会議室(テーマ)精神科疾患とその治療(講師)三木浩司師小倉記念病院精神科医師(参加費)4500円(弁当代)(主催)紫苑COM(問合せ先)☎0940・333・2731 吉永
◆福岡結婚準備講座(日時)5月14日(土)から6月11日(土)18時半～21時の毎週土曜日の全5回(場所)カトリック大名町教会(参加費)カプルで1万円(問合せ先)☎092・741・3687 ★原則11名で参加
◆カルメル在会集会(日時)5月16日(月)9時半(場所)福岡女子カルメル会(福岡市西区今宿(内容)ミサ・講話「完徳の道」(大テレ

ジア著(指導)カルメル会司祭(問合せ先)☎097・551・1360 中林
◆虹の会(日時)5月21日(土)(場所)能古島(内容)年間一度の戸外での集いです。雨天決行(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田須磨子
◆ザビエル合唱団練習日(日時)5月21日(土)13時半(場所)カトリック西新教会(問合せ先)☎080・5246・8395 橋本
◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)5月24日(火)11時場所 聖クララ寮(福岡市南区)(内容)グレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先)☎096・380・5686 堺敬子
◆召命を共に祈る会(日時)5月26日(木)14時から(場所)カトリック久留米教会
◆第53回福岡典礼聖歌研修会(日時)6月5日(日)13時半(場所)カトリック光丘教会(テーマ)復活節後の大祝日の聖歌(講師)深堀純氏(参加費)感謝献金(事務局)092・541・3730 松山
◆美野島司牧センターホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎週火曜日10時30分～ホームレス支援夜回り(第一金曜日)路上からア

パートに入居した方を訪問第三土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419「アス神父
◆北九州(日時)5月19日(木)14時から(場所)カトリック小倉教会(内容)ミサ・ミーティング(指導)井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先)093・963・2359 江口
◆小倉祈りの集い(日時)5月27日(金)13時半から15時(場所)カトリック小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難修道会)(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(連絡先)☎090・3985・5209 松田裕子
◆佐賀(日時)5月14日(土)10時半～12時 毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武(次回)6月4日(土)

CLC信徒の使徒的養成コース
(日時)6月10日(金)14時～12日(日)13時
(場所)行橋いやしの家(内容)養成コース
(テーマ)共同体の使命と識別～固有の召命を支え使命に寄り添う
(指導)萱場基神父(イエスス会)
(参加費)8,000円(資料代、宿泊費、食事代等)
(主催)九州合同CLC (問合せ先)090・2586・2883 追立季治 / 携帯:080-1714-6652 追立真由美
編集後記
これを書いている4月18日、夜満月が本当に美しく輝いていました。あまりの美しさにしばし見とれておりました。電気などなかった時代の人々にとって月の美しさは格別だったことなのでしょう。しかし、今は人工の光で自然の光はかき消されているといった感があります。いまこそ、この電気の使い方を考え直すときかもしれませんね。また、満月を見て「復活祭は春分の日が来て満月の次の日曜日」ということを思い出しました。すべての闇を照らす光よ、被災地に届け!

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベト田 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救急救急センター
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
Tel 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

HAPPY EASTER
主のご復活
おめでとうございます
サンパウロ福岡宣教センター
TEL 092-721-2032 fax 735-9890



### 東日本大震災関連「福岡教区・被災者支援室」

「福岡教区・被災者支援室」への募金をお願い  
 \* 福岡教区に避難された方々への支援・緊急に援助の要請を受けた時のための募金  
 \* こちらへの募金は教会会計で使用している郵便振込みの用紙でお願い致します。  
 ■口座番号：01760-6-20729  
 加入者名：カトリック福岡司教区  
 ■ご送金くださる時は必ず、通信欄に『支援金』と明記してください。

### 仙台教区事務局からのお願い

◎ボランティアを募集しています！  
 ■連休明けからボランティアが減っている  
 ■仕事は、被災した家の片付け、泥だしが主ですが、各家庭の大切なもの（写真・位牌・仏壇など）の洗い出しのような50・60代の方々でもできるような軽作業も出てきています。  
 ◆福岡教区からすでに10人の司祭と7人の男女信徒がボランティアに参加しました。

### 仙台教区二本松教会信徒会長からお願い

◎福島野菜を買ってください！  
 ■福島県に野菜を提出し放射能検査を受け、安全が確認された物だけを販売しています。  
 ■ネットで注文できます。  
<http://www.nihonmatsu-farm.com/>  
 ■教会でまとめて購入いただき、分配していただくこともできます。  
 ■畑で収穫した翌日には発送できます。  
 ◆みなさんで「風評被害」を打破していただきたい

復活節第2主日（神のいつくしみの主日）である5月1日（日）、カテドラル現聖堂



ミサの初めに宮原司教は、このミサの中で3つのお祝い

の献堂25周年を記念するミサが宮原良治司教の司式で執り行われた。午前中、天空が覆っていた雨雲が取り払われ、爽やかな晴れ間が広がったこの日、教区内の各地から司祭をはじめ、信徒や修道者600人余りがカテドラルに参集した。午後2時、アンゼラスの鐘が荘厳に響き渡る中、カテドラル現聖堂の献堂25周年記念ミ

1986

## カテドラル現聖堂の献堂25周年を祝う

2011



宮原良治司教認可  
 発行所 福岡司教区本部  
 福岡市中央区浄水通 6-28  
 発行 人  
 カトリック福岡司教区 三  
 編集人 森山信三  
 TEL 092-522-4059  
 FAX 092-523-2152  
 振替口座 01760-6-20729  
 カトリック福岡司教区  
 定価 一部60円

### 6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう  
 【一般】司祭の証し  
 【宣教】宣教師の召命  
 【日本の教会】日本における福音宣教の推進

1986年4月13日、この

サが始まった。ミサの初めに宮原司教は、このミサの中で3つのお祝い

を記念することを明確にし、①主のご復活 ②カテドラル献堂25周年 ③同日、バチカンにて挙行されるヨハネ・パウロ2世前教皇の列福式に合わせて祈ることを促した。説教の中では、司教は日本の思想家たちが、キリスト教イسلام教などに對して、「一神教の弊害」を指摘していることにふれた。「自分たちの神様を絶対化するあまり、他を排斥する。こういうふうな思想家たちは捉えませぬ。しかし、わたしたちの神様は三位一体の神様であり、愛の神様、交わりの神様です。わたしたちは神様との神秘的な交わりの中で育まれ、かつ、目に見えない交わりをも大切にします。献堂記念とは、この交わりを記念することに他なり

ません。かつて、ヨハネ・パウロ2世教皇が来日されたとき、教皇は、聖職者、カトリック信徒、エキメニカル、諸宗教代表者、大使・外交官、青年の大集会等、様々な人と次々に集会を持たれました。そして、殉教者記念ミサの結びにおいて、『みなさん、よくがんばりました』と語られました。これは、歴史上の殉教者たちに向けられた言葉であるとともに、現在、また未来の日本の信徒に向けて語られた言葉でもあります。ここにわたしたちの信仰が交わりの宗教、愛の宗教であることが明確に表わされています。交わりを大切に、愛を大切に、このように決意を神様にお捧げするようにいたしましょう』語った。

ミサの結びにおいて、司教は献堂25周年に際し、教区の信徒へ感謝の言葉を述べた。とりわけ、大名町教会の信徒に対して、日頃、清掃や管理等で頻繁にお世話になつていると、深く感謝するともに、今後ともよろしくお願ひしたいとの言葉があった。

これを受けて、大名町教会主任の櫻井尚明神父から、司教に向けて、「今後とも、より寛大なご理解を」と、会衆に向けて、「今日は記念の品を準備するのすっきり忘れてしまいました。ヨハネ・パウロ2世のカードを配りま

カテドラルは当時の福岡教区長故平田三郎司教と、駐日ローマ教皇庁大使ウイリアム・アクウイン・カルー大司教の司式で祝別された。カルー大司教はこの式の中で「全世界は神の神殿ですが、特別に主への奉献の場所として、このカテドラルは聖なるものとされ、ここが洗礼とミサ聖祭の場所となり、ここを訪れる人々が恵みと平和に満たされるように」と述べている。また、祝辞で「教区の信者も神の教会の建物の部分たれ」と励ましの言葉を残した。

### 時の話題

#### 森山信三 神父

#### 聖心の信心

「心」という語の聖書的な理解によれば、イエスの聖心は、イエスの心臓を意味すると同時に、特にイエスの愛を意味している。十字架の象徴である「心」という理念に結びつけることによつて、中世においてイエスの聖心への信心が芽生えた。この信心は、17世紀にマルグリット・マリー・ア

### 2011年度第1回目の司祭評議会開催

### 聖座が2教区に新司教を任命

5月10日、11人の司祭が集い、2011年度第1回目の司祭評議会が開催された。最初に報告事項として、生涯養成委員会より2月に雲仙で開催された司祭生涯養成研修について今後のため、場所の選定、研修期間など今後に向けて、いくつかの検討事項が挙げられたものの第1回目として、全体的には有意義な研修となったことが報告された。

また、大震災の教区の対応として避難者の受入れ、また今後ボランティアの派遣予定などが報告された。

次に議題として、懸案となっていた教区組織の見直しについて、提出されていた見直し案が承認された。それによると、教区の決議機関を明

改めてこの初金曜日（の信心を大切に発展した（新カトリック大辞典より）。

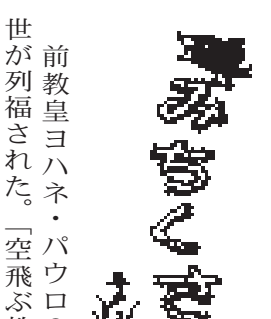
ラコックへのイエスの出現を機に大いに発展した（新カトリック大辞典より）。

イエスはまさに十字架の上で、心臓を貫かれたが、それは、人間に永遠の命を与えたという神の愛の現れだと言われる。ところで初金曜日の信心もここから生まれた。すなわち、イエスが、マルグリットに出現された時、9ヶ月間続けて、月の最初の金曜日に償いの意図で聖体を拝領する者に、特別の恵みを与えたと約束されたという。

大震災及び原発事故という大きな災害があったこの年、信心もここから生まれた。すなわち、イエスが、マルグリットに出現された時、9ヶ月間続けて、月の最初の金曜日に償いの意図で聖体を拝領する者に、特別の恵みを与えたと約束されたという。

大震災及び原発事故という大きな災害があったこの年、信心もここから生まれた。すなわち、イエスが、マルグリットに出現された時、9ヶ月間続けて、月の最初の金曜日に償いの意図で聖体を拝領する者に、特別の恵みを与えたと約束されたという。

前教皇ヨハネ・パウロ2世が列福された。「空飛ぶ教皇」と言われたようにバチカンにとどまることなく、世界中を訪問された。日本には、1981年に来られ、小生は東京で教皇ミサに与り、この年神学校に入った。忘れられない年である▼同年5月教皇はサンピエトロ広場にて、あるトルコ人に銃撃された。銃弾は2発命中し、ヨハネ・パウロ2世は重傷を負ったが、奇跡的に内臓の損傷を免れ、一命を取り留めた。事件当日はフアテイマの聖母マリア出現の記念日であったため、教皇は「聖母が弾をそらして下さった」と語っていたという▼前教皇の聖母に対する信心の深さは多くの人が知るところであるが、この後の教皇の聖母は、聖母が導いてくださり、まさに聖母とともに歩まれたのだと思う。TORUS TUDUS（すべてはあなたのものをモットーとされたように絶えず聖母に呼びかけられていたのである▼今年はずいぶん来日30年、この間、司教団はナイスを開催し、福音宣教に向かつて日本の教会も大きく変貌を遂げるであろうと期待された。しかし、その成果は目に見えるものとなつていないと言えないが、福者ヨハネ・パウロ2世と共に聖母が日本の教会を導いて下さることを願う▼聖母は生涯、「剣で刺し貫かれる」経験された。それは「多くの人の心にある思いが露わにされるため」（ルカ2・35）だとルカは言う。大震災を経験し、まさに剣で刺し貫かれた私たちも、私たちの真の思いが露わにされ、父なる神のみ旨を捜し求めながら、聖母に委ねて歩んでいこう。（M）









被災地ボランティアに参加して II

5月11日から14日まで3人の司祭を含む8人が、16日から20日まで7人がボランティアとして被災地に向かった。今回ボランティアに行った方の中から3人にその感想を述べていただいた。



「この中に入れたら…」屋根にたたずむ

という事情もある。

電気やガス、水道といったいわゆるライフ・ラインはなお復旧しておらず、被災者は学校等の避難所で、身を寄せ合って暮らしておられた。避難所を回って、今後は、被災者の心のケアが急務であると感じられた。

家や車など物質的なものもさることながら、大切な肉親を失い、葬ることさえできない人々の悲しみや絶望感は計り知れない。

第1陣は石巻と南三陸の2つのペースに分かれ、第2陣は石巻でそれぞれ作業に当たった。参加者は皆、これまで映像でのみ、その悲惨な状況を見ていたわけだが、現実を目の当たりにして、その惨状の大きさに言葉を失った。

2ヶ月が経って、被災地は少しずつ復興しているだろうと考えていた者も、何もほとんど変わっていないことに驚きを覚えた。今回は地震の被害というより津波の被害が大きく、南三陸では家屋がすべて流されておられ、まだ私物や貴重品あるいはご遺体が発見されるかもしれない。なかなか大型の重機が一気に入れない

大村入局管理センターを訪ねて

去年から毎月変わらず大村入局管理センターを訪ねています。今は長崎インターナショナル教会の柚之原牧師と面会を共にしています。今まで20人以上の外国人との面会をしています。

バングラディッシュ、トルコ、パキスタン、中国、フィリピン、イラン、ベトナム、ナイジェリア、カメルーンなどの人達が收容されています。1年間の間に様々な出来事がありましたが、その中でクリスマスと復活祭のミサを捧げることが出来て大きな喜びを感じています。

それぞれの教会からのご協力があり、例えば長崎の高見大司教様は大村入局管理センターへ足を運び、ベトナム人の身元保証人になって下さり仮放免が成立し、また彼に仕事を紹介して長崎カトリック

石巻ボランティア報告

仙台カテドラルにあるカリタスボランティアセンターで、私達福岡からの8人は米川ベース4人、石巻ベース4



自分の家は津波で流れて土台しか無い話を話して下さる方、かつて海外まで行ったマグロ漁船の画像を見せてくれた。それから、カメルーンの方の医療のための献金を皆様にお願ひし85000円集まり、その中で彼が希望していた、頭のMRIの検査を受ける事が出来ました。これも献金をして下さった皆様のおかげです。

一日の作業が終わった夕方、津波で犠牲になった方々の墓前で祈りを捧げました。墓碑は、お名前が分からないため、板に数字で書かれたものでした。石巻に出る朝のミサで二つの命、生命と永遠の命の説教を聞いた事を思い出されました。

大村入局管理センターの中で、東北大地震の知らせを聞いた收容者の外国人達が、自分達が苦しい立場にあるにもかかわらず、自発的に東北大

コース・マルセル神父

可能性を広げるお手伝いがある



東日本大震災の被災地ボランティアとして5月中旬の5日間、カリタスジャパンが運営する支援拠点の一つである石巻教会(宮城県石巻市)にお世話になりました。

カテドラルからお知らせ  
カテドラルセンターで全面禁煙を試行  
大名町教会では、今年7月1日から12月31日までの間、敷地内全面禁煙を試行することになりました。

聖マリア学院大学と明光学園中学校・高等学校が系属校協定締結  
学校法人聖マリア学院(理事長:井手三郎)が設置する聖マリア学院大学(学長:矢野正子)と、系属校法人明光学園(理事長:宮脇光子)が設置する明光学園中学校・高等学校(校長:菅木勝)が協定を締結しました。

BOOK 読書専科  
☆これからの教会のありようを考える 森一弘 著  
著者はまず、「教会とはなにか」を考え、キリストが委ねられた12使徒の使命は福音を宣教することであり現代世界に福音を述べ伝えるとはどういうことかをのべます。今の日本では、政治とかかわるヒント、社会における宗教の役割などについて、常日頃キリスト者がとまどい、思い悩む問題に豊かな示唆を与えます。キリスト者がしっかりと生きた確信をもつて教会の中で生きてゆきたいものに1冊です。

お知らせ・お願い  
◆震災のための祈りのリレー日時 6月11日(土) 7時30分から19時夕の祈り場所 Ⅱカトリック箱崎教会聖堂 & Ⅲカトリック箱崎教会聖堂 & Ⅳカトリック箱崎教会聖堂  
祈りの内容について Ⅱ \*ミサと夕の祈りはみんなで祈ります。それ以外の時間は聖堂での祈りも自由です。  
\*30分を1単位とし、お一人何単位でも可能です。祈りの形式は特に定めません。  
\*聖堂にこれられない方は「聖堂外」でその時間を決めていただき、自由な場所でお祈りください。  
\*聖堂外で参加の方は、時間をBr.阿部までメールでお知らせください。(r0sabeta19ke@yahoo.co.jp)  
\*皆様の参加をお待ちします。絶え間なく祈りをつないでいけたらと願っています。

なんでもお問合わせください  
株式会社 ジャパン・スマイルか  
代理店 福岡市 大村区 大村4丁目9番4号  
TEL 092-781-8800  
http://www.info-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション  
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。  
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業  
・一般住宅(新築・改築工事)  
・鉄骨工事  
・RC工事  
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください  
有限会社 森山工務店  
ヨゼフ 森山 森山 新太郎  
福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い  
セント・ポール FUKUOKA  
キリスト教書籍・信心道具・ビデオ・DVD・CD  
福岡市中央区大宮2丁目 大名町カトリック教会1F  
平日 AM 10時～PM 5時40分  
日・祝日 AM 11時～PM 4時(休館日を除く)  
TEL 092-741-6888 FAX 092-741-6861  
URL http://www.pax-inc.co.jp



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マタイによる福音書』

プログラム

④7月17日「奇跡物語」 中村倫明神父(植松教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
会費：1回 5000円/年間通し20000円
用意するもの：新約聖書(またはマタイ福音書)
主催：福岡地区信徒使徒協議会 聖書典部会

2011年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう
第二回：7月10日(日)14:00～16:30
講師：杉原寛信神父(新田原教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
参加費：無料
主催：北九州信徒協
問合せ先：☎093-293-4981 松尾隆

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう～希望 喜びをもたらすミサ～
第2回：6月19日 食と救いー風土食(ふーど)の祈り
伊藤幸史(日本カトリック神学院養成所)
期間：毎月第3日曜日 全6回 13時半～16時半
会場：カトリック手取教会
受講料：5,000円(全6回) 部分参加は各回1,000円
申込み：手取教会(096-352-3030) 岸
主催：熊本地区神学講座実行委員会

福岡地区「第2回教会学校担当者の集い」

日時：2011年6月19日(日)14:00～17:00
場所：カテドラル大名町教会・4階会議室
\*各教会の教会学校が抱えている問題点に焦点をあて、3教会のプレゼンテーション、小グループの分ち合い、全体での分ち合いという方法で進めてきます。
\*参考テーマ：
①子どもたちへの教え方(信仰に対する疑問など)
②教会学校へ来ていない子どもたちへの取り組み
③家庭での信仰教育 など
主催：福岡地区信徒協 召命・信仰育成部

九州合同CLC イグナチオ 夏の霊操のご案内

期日：2011年7月10日(日)14時～7月16日(土)13時(7日間)
場所：いやしの家(行橋市下柳田291番地)
連絡先：携帯090-2586-2883 迫立季治
持参品：聖書・霊操書・ノート・筆記具・生活用品
参加費：通勤霊操10,000円 宿泊霊操28,000円
申込み：予約6月20日(参加人数掌握のため)
FAX:0930-33-2822(迫立まで)

青年黙想会

テーマ：生かす いのち
日時：6月25日(土)20時～26日(日)16時
場所：カノッサ修道女会大牟田修道院
同伴：Sr大田暁子 fdcc 参加費：1500円
申込先：Tel 0944-58-5793, Mail sis.ak@hotmail.co.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：6月18日、7月2日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

聖心の月

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 6月

5日(日)～7日(火) 御受難会共同体的日
9日(木) 日帰り黙想会(指導：来住英俊神父)
11日(土)～12日(日) レジオ・マリエ福岡クリオ黙想会
12日(日)～13日(月) 聖マリア在俗会黙想会
14日(火)～20日(月) 個室空調設備工事のため、宿泊できません。ご了承ください。
18日(土) 福岡チエナクルム
25日(土)～26日(日) 神の前で生と死を考える集い(指導：来住神父/内容：現場体験と聖書から語る)
全日程(宿泊)1万円。全日程(通い)6千円。1日のみ参加(食事付)4千円。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とともに祈る
・日時：6月9日(木)10時～14時半
・内容：聖霊降臨の祭日
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次回：7月14日(木) 聖人の記念日-2
☎0968・85・3100 0968・85・3186 玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

福岡
第53回福岡典礼聖歌研修会
(日時)6月5日(日)13時半
(場所)カトリック光丘教会
(テーマ)復活節後の大祝日の聖歌(講師)深堀純氏(参加費)感謝献金(事務局)092・541・3730 松山
召命祈願ミサ
(日時)6月9日(木)19時半
(場所)日本カトリック神学院福岡キャンパス
子羊会
(日時)6月16日(木)12時半
からロザリオ/13時からミサ
(場所)礼拝会修道院(福岡市中央区地行)
ザビエル合唱団練習日
(日時)6月18日(土)13時半
(場所)カトリック西新教会
(問合せ先)0800・5246・8395 橋本
在世フランシスコ会集會
(日時)6月19日(日)14時から16時(場所)高宮フランシスコ会修道院在世会集會所
(内容)アシジのフランシスコに倣って 福音に生きるために。ミサと学習(指導)モニス・エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先)☎092・843・5831 岩崎
心の健康セミナー
(日時)6月19日(日)14時から(場所)カトリック福岡黙想

想の家 ログハウス(テーマ)家族3「父と子」(指導者)小宮豊氏(精神科医師)(参加費)原則無料(自由献金)(主催)支える会(後援)紫苑COM(問合せ先)☎0940・32・1173 矢田
テレジア友の会(読書会)
(日時)6月19日(日)13時半
(場所)カルメル修道院(今宿青木)(内容)「幼いイエスの聖テレジア自叙伝」(問合せ先)☎092・807・7361
カルメル会
カルメル在世会集會
(日時)6月20日(月)11時半
(場所)福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容)ミサ・講話「完徳の道」(大聖テレジア著)(指導)カルメル会司祭問合せ先☎097・551・1360(中林)
グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時)6月21日(火)11時場所 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容)講習会(講師)Sr.平戸京(シヨファイユの幼きイエズス修道会)(問合せ先)☎096・380・5686 塚敏子
召命祈願徹夜祈禱会
(日時)6月25日(土)19時ミサから26日(日)7時ミサまで(場所)カトリック大名町教会(主催)教区召命委員会(委員長 浦川務神父)

美野島司牧センター
ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎週火曜日10時30分
ホームレス支援夜回り
第一金曜日20時●路上からアパートに入居した方を訪問第三土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419 コーシ神父
北九州
北九州召命を共に祈る会
(日時)6月9日(木)14時から(場所)カトリック小倉教会(内容)大塚新司祭の初ミサ(指導)井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先)093・963・2359 江口
小倉祈りの集い
(日時)6月24日(金)13時半から15時(場所)カトリック小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難修道会)(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(連絡先)☎090・3985・5209 松田裕子
佐賀
佐賀祈りの集い
(日時)6月4日(土)10時半～12時 毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武(次回)7月2日(土)

2011年聖霊による信仰生活刷新セミナー

(日時)毎週月曜日 10時30分～12時30分
(テキスト)「新生の門出」 (場所)大名町教会1階
プログラム
⑥ 6月6日 「聖霊のうちの成長」 スメット師(トラピスチン付)
⑦ 6月13日 「キリストの変容」 ミシエル師(箱崎教会)
⑧ 6月20日 「派遣のミサ」 司式：宮原司教と司祭方
(会費)自由献金 (問合せ先)☎092-821-6349 森邦蔵

編集後記

先日、ケセン語に聖書を翻訳された山浦医師のことが放映されました。3月11日、津波が襲い山浦さんの病院も被災しました。廃墟と化したご自分の街を眺めて山浦さんは、何と「闘志が湧いてきた」と述べられました。彼は次の日から診察室の泥をかき出し、診察を再開したと言います。彼の姿と言葉の中に真のキリスト者のあり方を見たように思いました。私たちの仕事は、人々に悲しみや嘆きを運ぶことではなく、喜びと希望を運ぶことです。6月号は、被災地にボランティアが行かれた方々の体験に多くの紙面を割きました。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救急救急センター
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

Veni! Sancte Spiritus
あなたの光の輝きて
わたしたちを
照らしてください
6月の休業日 5・12・19・26・30
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



### 日本カトリック司教団がメッセージ

兄弟姉妹の皆様

東日本大震災からの復興にむけて

3月11日の東日本大震災からはや3カ月が過ぎました。

今回の東日本大震災によって、2万人近い方々が亡くなられ、いまだ、多くの人々が行方不明のままです。私たちは祈ります。

いつくしみ深い神よ、家族や友人たちとの別れを語ることにできず亡くなられた方々をあなたのみ手のなかに受け入れてください。また、遺された家族や友人たちにこの悲しみを乗り越えて生きていく希望をお与えください。

また、住宅、工場、田畑、港湾などでも大きな被害がでました。さらに、原発事故による被害も甚大です。多くの人が避難所、仮設住宅などでの不自由な生活を余儀なくされています。私たちは祈ります。救いの源である神よ、苦しみの淵からあなたに叫ぶ人々を顧み、その重荷を一日も早く取り除いてください。家族や地域の絆を回復し、希望のうちに共に歩むことができますように。

いまだ、原発事故収束の見通しもついていません。東日本大震災からの復興は長い道のりになるでしょう。6月13日から17日に開催された司教総会において、私たち司教団は「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです」(コリントの信徒への手紙一 12:26)と切実に語るパウロの言葉を実感し、復興支援により一層力を入れて取り組むことを決意しました。

これまでカトリック教会ではカリタスジャパンを中心に支援活動を行ってきましたが、被害の大きさ、復興の長期化に鑑み、日本の全教区が直接に、そして具体的に、復興にむけての支援にあたることを決定しました。司教団の意図を汲んでいただき、司祭・修道者をはじめ、兄弟姉妹の皆様に継続的な協力を共にするよう呼びかけます。

最後になりましたが、国内外の皆様への祈りとあたたかい支援に心から感謝いたします。今後とも共に歩めるように祈ります。

2011年6月17日  
定例司教総会最終日 日本カトリック司教団一同

5月29日(日)カトリック大名町教会において、下智英



知神父(長崎教区司祭)を講師に迎え、世界広報の日福岡教区研修会が開催された。あいにくの雨にもかかわらず福岡・熊本・佐賀の各小教区から広報担当者や関心のある方々が集い、「広報」の意味とそのあり方について、研修と分ち合いの時を持った。

下智神父は「広報の使命は世の福音化にある。広報は鏡であり、その団体の有様を映し出す。広報は対話へと開かれていく」「『広報』を考へることは、『小教区』を考へること、『小教区』を考へることは、『教会の再構築』を考へること、『教会の再構築』を考へることは、『広

2011年世界広報の日

## 「共同体の『わ』と広がりを求めて」

福岡教区広報委員会研修会を開催



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

### 7月の意向

- 【一般】エイズで苦しんでいる人
- 【宣教】宣教に派遣されている者の証し
- 【日本の教会】日本の殉教者のために

教皇様の意向のために祈りましょう

### アヴェ・マリアの祈り

アヴェ・マリア、恵みに満ちた方、主はあなたとともにおられます。あなたは女のうちに祝福され、ご胎内の御子イエスも祝福されています。神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、今も、死を迎える時も、お祈りください。アーメン。

(2011年6月14日 定例司教総会にて承認)  
口語訳「聖母マリアへの祈り」と文語訳「天使祝詞」は、今後公式には使用しない。



司祭研修会開催 韓国インチョンの教区司祭を招いて

ノルベルト シャ神父と通訳の Sr.ベルナデッタ

福岡教区で働く50人の司祭が集い、6月21日から23日ま

### 時の話題

#### 安積道也

ドイツの教会音楽監督の現場を離れ、帰国して早4年、今は西南学院(フロンテスタント・バプテスト派)で音楽主事として大学聖歌隊の指導などをしてい

### 賛美の本質

生懸命バイトしてます」「あたしは、死んだら二次元の世界に生まれ変わりたい(IIマンガのキャラになりたい)」「メッセージ性のある歌は歌いたくありません。勘違いされますから。でも讚美歌は好

ちの歌を聞いて泣くんですか?」「なんか降りてきた」などなど感想も様々。作品の意味を説明し礼拝の中で歌うとき、彼らは時に涙し声がかすれる。歌詞の持つ内容が音楽の力をもつて強烈に作用し、力強い賛美として魂が共鳴するかのようだ。音楽賛美を生業とした者ではあるが、まだ日本のカトリック教会の現実でその可能性が見えてこない。もがく中、教育の現場で神様が痛烈に問うてくる。「賛美とは何か。賛美の本質をもとめよ」と。

西新教会信徒

### 聖座が広島教区に新司教を任命

教皇ベネディクト16世は、6月13日、カトリック広島教区の三末篤實司教の定年による退任願いを受理し、新しい司教に長崎教区司祭のトマス・アクイナス前田万葉師を任命することを発表した。

☆前田万葉被選司教は、1949年3月3日長崎県生まれ(62歳)。1975年3月19日司祭叙階。2006年4月から宗教学者「カトリック中央協議会」事務局長。



今、この国では多くの人々が故郷を失った。地震や津波で家屋が破壊され、帰るべき家を失った人々、また家はあ



九州で  
シンウム

# 「信教の自由と政教分離」



問題提起をし、2000人を超える参加者がともに分かちあひ学びあう時間となった。

一番目の発題者として溝部脩司牧師は憲法20条をキリシタン史から考察するとして「国是と信教の自由」をテーマに、豊臣秀吉のキリシタン追放令から天皇を頂点とした神国として国家をまとめようとした明治維新、太平洋戦争敗戦にいたるまでの歴史を取り上げて語った。

二番目の発題者である森上洋介牧師は「神さまを無視するこの世の権威」と題して自らの生い立ちをも振り返りながら体験に基づいて語った。

日本に昔からある身分社会（制度）の中で、人々は心ならずも権威に服した。世間の秩序を乱さないというのが基本的な生活の態度であり、それが地域社会で生き抜くべきであったと言える。この日本に真の神さまを畏れる政府が出来、神さまを畏れて誰もが愛し合い戦争をしない世界が実現することを、み国が来ますことを祈り微力ながら、

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

みなさんと一緒に語り合い働いていきたいと思います、と投げかけた。

三番目の発題者、谷大二司教は司教団メッセージとして出された「信教の自由と政教分離」をもとに「靖国神社参拝問題」などに触れながら次のように述べた。

「私たちは子どもたちに正しい判断ができる資料を提供しておく必要がある。『政教分離』とは国家と特定の宗教団体が特別な関係にならないように規定されている。私たちの人権、人間としての尊厳は国家から与えられたものではなく神さまから与えられたものであり、それを国家や団体、個人が権力によって奪い取るうとするならば奪ってはならない、はつきりと伝えなければならぬ。『信教の自由』というのは基本的人権であって、誰も侵してはならない。子どもたちが訓練の場に立たされなければならない。私たちが子どもたちが自分で判断できるように適切な材料を準備しておくなければならない

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

## 16年目の大きな喜び

私が入信を決意したのは3歳、カトリックの幼稚園に入園して少したったところだと記憶しています。おぼろげな記憶ですが母に確認しても「そうだ」と言うので間違いのないと思います。

私の家は父は仏教、母は神教(実家が神社)の家系なので「20歳になったときに意志が変わっていなければ自分はいきなさい」と言われてしまひ、その時信者になることは叶いませんでした。

そこで私は子どもでも解るような簡単な聖書(絵本や漫画など)を繰り返し読んでいました。ある時、父の机から、父が高校生の頃に学校で使っていた聖書がでてきたのです。読み始めましたが、難しく読み進めることはできませんでした。母はいつもバザーの時にカトリック幼稚園へ連れて行ってくださっていました。

子ども達の助け合っているニューズや、海外からも支援されていること等も分かち合われた。私もボランティアに参加を希望しましたが、制限等があり神のみ旨ではなかったと思ひ、今は他の方法で自分に可能なことを尽くし、マリア様のように、全体を見つめ全国の方々と共感により、一つの心となり、今日本にふさわしいかたちで求めらることにしました。日本のこの状態がイエス様の奇跡により、良いかたちで変えられましますように願ひつづ。シスター石山拓子

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

「信教の自由と政教分離」シンポジウム

5月21日(土)カトリック小倉教会において「信教の自由と政教分離」をテーマにしたシンポジウムが開催された。主催は、宗派を超えたところで活動する有志の集い「信教の自由と政教分離シンポジウム実行委員会」である。

発題者として溝部脩司牧師(日本イエス・キリスト教団小倉教会)、谷大二さいたま教区司教の3人が登壇し、それぞれ20分、30分の持ち時間で

別れ・出逢い・旅立ち

# 草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。

## 木下株式会社

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ  
**VINO DE MISA**  
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

神の前で生と死を考える集い

③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導: 来住英俊神父(御受難会)

内容: 自死の問題、教会の秘跡(特に、病者の塗油)

全日程(宿泊)1万円。全日程(通い)6千円。  
1日のみ参加(食事付)4千円。

## カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

カトリック医療関連学生  
セミナー 参加者募集

メインテーマ  
まんなかにいのち  
~いのちへのまなざし~

サブテーマ:「未来の医療を作ろう!」

日程: 8月27日(土)~28日(日)

会場: 日本カトリック神学院  
福岡キャンパス

対象: カトリックと医療に興味のある方  
ならどなたでも可

主催: 日本カトリック医師会(福岡支部)

参加費: 学生 3,000円  
一般 10,000円

※26日観光費用、朝食2食、昼食2食、懇親会費含む

申込・問合せ先(セミナー受付):  
○インターネットによる申込・問合せ  
http://jcma2011.ebb.jp/index.php  
Email:  
jcma27seminar@st-mary-med.or.jp

\*世界中の天気調べて家に居る  
\*広辞苑ずしり少年老い易し

坂牧春妙  
深堀正平



### 被災地ボランティアに参加して III

## 釜石ボランティアに参加して

震災・津波から2ヶ月が過ぎた5月14日、19日岩手県釜石市にある釜石ベースでボランティアをしてきました。

前日まで西新教会メンバーと宮城県石巻ベースで活動していたので、おおよその被災地状況は把握していたつもりでしたが、予想以上の復興の遅れに愕然としました。

地理的距離と交通アクセスの不便さで、3日以上滞在可能なボランティアに限られるのが原因だそうです。

しかし、少ない中でもカリタスジャパンを中心に様々な団体や地元自治体が早期復興を目標とし懸命に注力する姿



## 臨床パストラルケア研修会

6月5日(日)大名町教会で、「困難における心のケア」をテーマに、NPO法人臨床パストラル教育研究センター・北九州ブロック主催の講演会が開催されました。講師はヴァルデマル・キップス神父(ヘレデンブートル会)、福岡、北九州、鹿児島から50余人の参加があった。

人間の尊重の基礎は身体健康ではなく、心の健康である。身体が病気のときでも、心は健康な生き方が出来る。心を生かすのは聖なる霊(スピリット)である。同時に心を滅ぼそうとする悪霊も活躍する。困難のときに生き続けさせてくれるのは聖なる霊であり、失望させるのは悪霊である。従って、人が困難特に命に関わる疾病に出会ったとき、心とその育成を中心課題にすることを忘れてはな

望みのことを精一杯お手伝いしようと思えるようになり、また、普段の生活でも心がけたいと思った体験でした。西新教会信徒 深堀由布子

回りも普通に日常生活が営まれていました。でも、町の家々には地震被害の検査の貼り紙があり、中には赤字で危険の文字もありました。報道では伝えきれない被害があることを認識させられました。

南三陸町は被災した地域の建物は泥出しできる余地もない程、根こそぎ津波にさらわれており、やるべき作業自体も少なく、別の場所に行けば良かったと思いました。

ボランティアから帰り冷静になって考えると、それはただの自己満足だと気付きました。自分の気持ちを満たすだけではない、本当に被災者の心を考えてこそボランティアだと思えます。

今回現地に行き、一面瓦礫(がれき)と化した町を見たり、避難所で不自由な暮らしをしている被災者の方々を見たりしたことは大きな精神的ショックでした。僕が今まで生まれ育ってきた当たり前の日常が崩れ去っている。これは本当に信じられないことでした。もしこのボランティアに行っていなければ、今までに起きた地震や災害と同様に、東日本大震災のことも他人事で終わっていたらどうなっていたか、今更に見聞きしたことを、事あるごとに思い起こしながら今後の人生を送りたいと思えます。

西新教会信徒 村山 徹

「与えるものが何もなければ、神にその「無そのもの」を差し出しましょう。できる限り、自分が空っぽでいられるように。」

そうすれば神がわたしたちを満たしてくださいませ。」

何か出来れば被災地にきました、実際には少しづつしか進まない作業に歯痒さを感じ、思うようにいったとしても自分で出来ることの小ささ、無力さを痛感する場面ばかりでした。しかしこの言葉に触れ、私も「自分」が何かするのではなく「神様」が

## 当たり前前の日常が崩れ去っていた



「一緒に祈っているという連帯感が心強い」「震災のことをいつまでも忘れないために是非続けて欲しい」「次回も予定もお知らせください」などとのメッセージも寄せられています。祈りの輪がどんどん広がっていくのが感じられました。

次回、7月11日(月)は聖パウロ会福岡修道院聖堂(サンパウロ宣教センター二階)にてミサと夕の祈りが捧げられます。

Br.阿部光一



## 東日本大震災を忘れない 11日の祈り

「天国へ行ってしまったあの子は、私のいのちだった。幼いわが子を亡くした母が、人生の歩みとともに流す涙の色は、冷たく、暗く、やがて優しく、そして切ない想いを映す。生きるいのち、逝くいのちに、長年寄り添い続けた小児科医である著者がつづる、いのちのなみだ。」

ドン・ボスコ社 発行  
税込価格 1260円



☆なみだ 細谷亮太 文 永井泰子 絵  
カトリック中央協議会発行  
税込定価 1050円

この夏スペイン・マドリッドで開催されるワールドユースデー(WYD)に向けた準備として、福岡地区青年会によるプレ徒歩巡礼が6月12日(日)に開催された。

西新教会を出発後、大名町教会で参加者が合流、箱崎教会を経て最終目的地である古賀教会まで全行程27キロを超える徒歩巡礼となった。

WYD参加予定者を含む10人は、時折強くなる雨の中、スペインの地を歩く姿を思い



## WYDに向けプレ徒歩巡礼27キロ 福岡地区青年会

描きながら歩を進め約6時間後、古賀教会に無事到着した。途中立ち寄った箱崎教会には、主任のミシェル神父と信徒の有志が、雨に濡れた身体を拭くためのタオルまで用意した心あたたまるもてなしが待ち受けていた。

終着の古賀教会では、サバティカルのためまもなく福岡を離れるという主任のジュロ神父を始め、オブレイト会の神父たちと、徒歩巡礼には参加しなかった青年達が巡礼団の到着を待っていた。

今回の巡礼は、実際に長距離を歩き、本番に向けた体力・装備面に関する課題を発見することを目標としていた。

しかし、一緒に歩く仲間と自分で出来る形で応援して下さる人々に支えられていることを改めて感じる体験になった。今回WYDへ向けた準備を通じてお互いの歩みに神様の導きと祝福を祈りながら新たな旅を始められたことに感謝する歩みであった。

なんでもお問合わせください

株式会社 ジャパン・スマイルか

代理店 福岡市 丸の内ビルディング 4F  
〒810-0044 福岡市中央区大濠4丁目9番4号  
TEL 092-781-8800  
http://www.info-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎(092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

〒812-0001 福岡市早良区大濠2丁目7番1号  
平日 AM 10時～PM 5時40分  
日・祝日 AM 11時～PM 4時 (球団E定休日)  
TEL 092-741-6888 FAX 092-741-6861  
URL http://www.pax-inc.jp







### 東日本大震災「福岡教区・被災者支援室」

東日本大震災支援ボランティアへ参加を希望、または予定されている方へ

被災地ボランティアを個人でお考えの方は支援室へ予定できる日をお届けください。できるだけ複数人で参加できるように調整を行いたいと思います。

すでに希望者のお届けが来ていますので、人数や持ち物などの確認も必要ですから早めに支援室へのご相談をお待ちしています。

また団体、グループで予定されている方も支援室へのお届けを必ずお願い致します。

#### ■ボランティア募集の条件

- \*男女を問いませんが、20歳以上。
- \*心身ともに健康であり、健康管理が出来る方。
- \*基本的マナーを守り、集団生活を行える方。

#### ■支援室連絡用

電話：092・522・5138  
Mail：f-sien@mopera.net



なつかしい人びとが集まって100年を祝った。6月12日(日) 聖霊降臨の主日に呼子教会(堤好治主任司祭)では宮原良治司教を迎えて、教会創立100周年と聖信式を祝った。午前11時からの記念ミサは主任の堤神父を始め、ミラノ会のマネルバ神父(武雄・鹿島教会)、神言会のスタン神父(唐津教会)の共同司式で捧げられた。

佐賀県内9教会の信徒たちと佐賀地区で社会福祉活動を通して宣教する聖母の騎士修道

1911  
2011

## 呼子教会創立100周年を祝う

呼子教会は今年、1911(明治44)年に、故J・ブルトン師によって聖堂兼司祭館が建てられて100年を迎える。聖堂は馬渡島教会の旧聖堂を移築したと記録がある。また長崎教区だった頃である。1927年福岡教区創立後の1930年に初代の主任司祭としてヴェイヨン師が赴任。戦時下では司教館から平田勇師が巡回していた。山田成章師(現茶山教会主任)時代の創立50周年記念に、教会入り口に白い聖母像が信徒によって寄贈されている。

6月12日(日) 聖霊降臨の主日に呼子教会(堤好治主任司祭)では宮原良治司教を迎えて、教会創立100周年と聖信式を祝った。午前11時からの記念ミサは主任の堤神父を始め、ミラノ会のマネルバ神父(武雄・鹿島教会)、神言会のスタン神父(唐津教会)の共同司式で捧げられた。

### 韓国インチョン教区の司祭を招いて 司祭研修②

6月21日から23日まで行われた福岡教区全司祭の研修会の2日目は、初日に続いて、車(チャ)神父(韓国、仁川教区)による宣教についての講話が行われた。

まず、韓国における各宗教の宣教活動の歴史が説明された。宣教は巨視的(マクロ)宣教と微視的(ミクロ)宣教に分けられ、プロテストスタントは個々の人々や、個々の問題と直接向き合っていくミクロ宣教を得意とし、仏教もその影響を受け積極的な宣教に乗り出し、韓国の宗教界全体に競争意識が生まれてきた。

「カトリックは伝統的には『静かに模範を示す』マクロ宣教を選ぶ傾向があるが、韓国ではカトリックもより積極的な宣教に乗り出してきています。日本では長い迫害の歴史から、忍耐と謙遜の信仰、殉教者の信仰が強いのではないのでしょうか」と語った。

また、「韓国のカトリック教会は韓国の民主化運動において中心的役割を果たしてきたが、日本の教会も弱い人

のためにはデモを行ったり、ボランティアを行ったりして、良い意味で事件を起こし、TVや新聞に毎日取り上げられるような教会にならないか」と指摘した。

そして具体的な宣教方法として、種が飛び散って繁栄することから「たんぼば宣教」と名付けられた方法を説明、

①韓国で人々が求めている、②問題解決、③平和、④幸福に対して、『教会にはあなたの求めているものがある!』と力強く言えるようになるなければならない。そのために言葉だけでなく、まず自分の心を信仰に燃え立たせなければいけない」と熱心に語った。

車神父の熱のこもった講話は、福岡教区の司祭たちの中にも宣教へと燃える火が灯ったのではないだろうか。

3日目は、宮原司教から東日本大震災被災者への日本の教会としての取り組みなどが報告され、また、新しい司祭評議員を選出する選挙が行われた。



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区三  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

8月の意向  
教皇様の意向のために祈りましょう  
【一般】ワールドユースデイ  
【宣教】信仰の再発見  
【日本の教会】平和旬間にあたり、平和を祈る

6月29日(木) 聖ペトロ・聖パウロの祝日の午後8時50分、入院中の産業医科大学若松病院で帰天。享年78歳。

1932年12月1日に三井郡北野町生れ。1949年6月5日、久留米教会で故棚町正刀神父から受洗。1951年にサン・スルピス大神学院に入学。1960年3月20日に故深堀仙右衛門司教から久留米教会で司祭に叙階された。1964年代には福岡教区報の編集助手も勤められていた。ご像製作についても、祈りを込めた作品作りは有名である。2005年3月20日の福岡県西方沖地震の折、破損したカテドラル大聖堂入口の100年を越える聖母像を数日中に復元し、翌週にミサに来た信徒を驚かせたことは記憶にまだ新しい。



### ラファエル鶴野泰年神父帰天(若松教会主任)

告別式では、司祭団を代表して堤敏男神父(飯塚教会)が、弔辞を述べた。堤神父は「人はこの世を去る時、何かを残していきたい。司祭にとつて残したいと願うもの、それは人のために生涯を捧げるという司祭のこころである。鶴野神父はまさにそれを残してくれた」と語った。続いて、信徒を代表して末永憲江氏(若松教会)は「神父様は、多くの病気を抱えておられたにもかかわらず、いつも前向きに明るく振舞っておられた。ある日、『いつも人のためにマリア様に祈っていたが、今度始めて自分のためにマリア様に祈ったよ』、『今まではマリア様ばかりでイエスさまに祈ったことがなかったけれど、今回はイエスさまにも祈ったよ』と言われました」とエピソードを紹介し、イエスさまは神父様の苦しみを和らげ、ご自分のもとに引き寄せて下さったのだと語った。

6月30日の通夜、7月1日の葬儀ミサと告別式に教区内外の司祭、信徒など1000人あまりの人が鶴野神父の安息を祈った。

故ラファエル鶴野泰年神父の教区葬に際しまして、皆さんの皆様のご会葬を賜り、心温まる思いの葬儀が出来ましたことを心より深く御礼申し上げます。葬儀に際しましては心のこもったご芳志、お花、御弔電をいただきましたことを心より感謝致します。

勝手ながら香典返しといたしまして、故人が入居を希望しておりました、建設中の「老人司祭の家」の建設基金と東日本大震災の被災地支援のために寄贈させていただきますのでご了承ください。紙上を早速拝眉の上親しくお礼申し上げます。紙上をもつて代えさせていただきます。

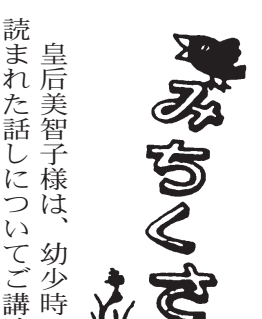
2011年7月 カトリック福岡教区  
司教 ドミニコ 宮原良治

大震災の翌日、世力連(世界カトリック女性団体連盟)の会員達から激励の声が送られてきた。全く予想もしない事だった。昨年イשראלでの100周年大会で出合った世界の姉妹達からである。「日本の教会は無事ですか」「私たちも祈りであなた方と共にいます」「義援金募金活動をして送金したい」「ポリネシア諸国連合として日本への支援を予定」等の内容。

私は、世界に広がる女性のネットワークに大きな励ましと癒しを感じ、被災地の日力連(日本カトリック女性団体連盟)の仲間早速メッセージを伝えた。被災地在住の会員達に電話で状況を伺い、「教会や女性たちは、被災しながらも、家を失った方、食料・水の蓄えの無い方達を自宅に招き、相互援助で励まし合っていること、教会で炊出しをしていること、行方不明の神父様がある避難所で見つかった喜び、また、他県の仲間からの問い合わせに、必要な支援をその都度知らせていること」

と「等を短い報告書にし、日力連の会長のお礼を添えて返信した。その翌日、世力連事務局長が、「この惨事の中で日本の姉妹達は感動的な働きをし、神の愛を証している。多くの人が読んで下さいます」という文を添え、私の報告書を各国団体に発信された。それを讀んだ世界の会員からまたメールが。昨年の世界大会で、「女性はいつも人びとと共にいるからこそ、福音をもたらす神の愛の証人となるのである」と言われた世力連顧問司祭の言葉のまさに体現である。 手取教会信徒

皇后美智子様は、幼少時に読まれた話について講演されたことがあります。それは「でんでん虫のかなしみ」というお話です。ある日突然でんでん虫は、自分の背中の殻に悲しみが一杯詰まっていることに気づき、友達を訪ね、もう生きていけないのではないかと、自分の背負っている不幸を話します。しかし、仲間のでんでん虫は、みな一緒に自分も同じだと答えます。そして、悲しみは誰でも持つており、それをこらえて生きていかなければならないということに気づき、嘆くのをやめます。皇后様は、成長しても何となくこの話しが、気になっていたと言われます。「橋をかける」より) ▼悲しみや苦しみが誰でも背負いたくないものでしょう。しかし、生きていく限り、背負わざるを得ないことがあります。自ら望んだことでもないがゆえに、それは与えられたものであり、従って、そこに何か意味を問うことが出来るでしょう。人は、しばしば、悲しみや苦難の原因を探し、追求しようとしますが、たとえそれが分かったからといって必ずしも、悲しみが取り除かれるとは言えないでしょう。であれば、それを受け入れる力を願うべきかもしれません。▼皇后様はこうも言われました。「悲しみの多いこの世を子どもが生き続けるためには、悲しみに耐える心が養われると共に、喜びを敏感に感じ取り、喜びに向かっているようにする心が養われることが大切でしょう」と。悲しみをばねにして、それが喜びに変わっていくために信仰は大きな力ではないでしょうか。(M)





# 自由席



## 「共にいさせて下さい」その時

東日本震災の直後、テレビをつけた。津波に全て流され、行方不明の家族を探す被災者の姿に僕は凍りついた。僕の大切な人もその瞬間、福島にいた。その時、その人と一緒にいなくなったことをひどく後悔した。電話が通じない。何もできない。…数時間後「無事です」とのメールに涙が溢れた。

# みことばの広場!

## 自分の目に丸太があるではないか (マタイ7・4-5)

他人の欠点や改善点を見つける方が得意です。鏡を使っただけで自分を見る事ができない、マイクやレコーダーを

思えばあの時ほど「共にいさせて下さい」と祈ったことはなかった。「これまで、『共にいること』を軽く考えていたことを謝ります。これから『共にいられること』に感謝します。そして、この困った時だけ真剣に祈ろうとする僕の身勝手さも謝ります。だから、だから、お願いです。もう一度、大切な人と『共にいさせて下さい』」。

「大切な人と共にいられないことになることへの恐怖」そのことを真つ先に感じたのだろうか。世界中から被災地へ祈りが届く中、イタリアのサッカーチーム所属の長友佑都選手は「君はひとりじゃない (You will never walk alone)」とメッセージを届けた。

現代人は多忙を極める。仕事や家事、育児、勉強…全て生きていく上で重要なことだが、これらに覆い尽くされ、最も根本的な「共にいること」が失われるとき、人は深い闇と恐れに包まれるということを心底思い知らされた。

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にい使つて自分の声を聞くことができないのだから仕方のないことかもしれない。」

先日、「まず、自分の目から丸太を取り除け」との福音の言葉を聞いた時、とつさに神学生時代、神学校で言われてきたことを思い出しました。それは「一緒に共同生活を送っているからお互いだが、他人の欠点、改善したらいいと思う点は容赦なく目に入る。だから、逆にどれだけ自分のそんな点を周囲の人から見られているのかを客観的に意識できるか、ここが大切だ」というものでした。

今、この言葉を繰り返しながら、一人の人間、そして一人の司祭としての欠点、改善

「大切な師であるイエスを失い、絶望の淵に立つ弟子たちへ与えられた復活のイエスの言葉を思い起こす。そして2000年に亘り、信仰と現実の狭間に揺れ動く私たちに「あなたはひとりじゃない」と励まし続ける神様の愛のメッセージの意味を考えてみる。

復興へ向けた懸命な取組が続く中、世界中がこの地震の意味を問い続けている。僕のちっぽけな頭と情けない心では何をどうしたらよいか分からないけれど、一つだけ。「神様、お願いです。どうか被災された方々と共にいて下さい」。

川原順平 (笹丘教会信徒)

## かつて信仰は地上にあった 萩原朔太郎

「人は麦餅だけでは生きないのじゃ」

泥薄如来の言われた言葉

これだけで皆様ひととはたましひが大事でござろう。

たましひの罪を洗い浄めてよくよく昇天の支度をなされよ。

この世の説教も今日かぎりぢや

明日はくるすでお目にかかろう。

南無童貞麻利聖天 保重羅 大師

さんたまりや さんたまりや

信仰のあついなんはいるまんの眼に浮かぶ涙をかんじた。喜びの、また悲しみの、ふしぎな情感のかけをかんじた。ひとびとは天を仰いだ。天の高いところに、かれらの真神の像を眺めた。

さんたまりや さんたまりや

奇異なるひとつのいめえちは私の思ひをわびしくする。かつて信仰は地上にあった。宇宙の 無限の 悠々とした空の下で はるかに永生の奇跡をのぞむ 熱したひとびとの群れがあった。

ああいま群衆はどこへ行ったか

かれらの幻想はどこへ散ったか

した成果なのだと思えることもできません。あとは、その「おが屑」を綺麗に取り除けたいのです。

他人の目の中にある「おが屑」に日頃から気付いているわたしたちだからこそ、自分の目の中の「丸太」を取り除くために、今度は他人の「おが屑」ではなく、自分の「おが屑」をどれだけ出しているのかに意識を向けてみてはいかがでしょう。

客観的に自分を見つめることの難しさから逃げ出さずに「おが屑」をたくさん出す努力を続けたいものです。

新田原教会協働司祭 谷口尚志神父

## 司祭人事

◇若松教会主任 中村彰 (戸)

わびしい追憶の心像は、蒼空にうかぶ雲のやうだ。

(注)でうす(神)、天狗(悪魔)、麦餅(パン)、くるす(十字架)、南無(完全な委託)、さんた(聖、いるまん(修道士)萩原朔太郎は若い頃、一時信仰に熱心なときがあった。現在は、キリシタン時代のように盛んではないが、信仰は脈々受け継がれている。「かつて」ではなく「いまも、いつも、世々に至るまで、としなえに」。

朔太郎のキリスト教的な詩は皆無に等しく、その点これは貴重である。

森山敬三(大名町教会信徒)

◇教区名誉司祭・新「司祭の家」山田成章(茶山教会主任を解任) 9月12日付

◇佐賀市大和町・施設チャブレンIIA・テンペリーニ(多)久教会を解任) 9月5日付

◇多久教会主任IIスタニスワヴ(唐津教会兼任・松島巡回教会を解任) 10月10日付

◇松島巡回教会II堤好治(呼子教会兼任) 10月10日付

◇森山信三(西新教会主任)IIサバティカル(8月からロームで研修) 8月1日付

◇西新教会主任代行II松井忠之(教区事務局局長兼任) 8月1日付

◇V・ヤングキャンパII教区外(聖マリア病院チャブレンを解任) 6月27日付

◇仙台教区久慈教会へ派遣II伊東成晃(教区災害支援室付)

## 神学講座 熊本「食と救いの祈り」

イエスは最後の晩餐を通して、自分の思い、教え、存在のすべてを伝え、遺していかれた」と「食の神学」の根拠を示した。そして、カトリックは神を食物としていた、だく「食の宗教」だと言いつつ、日々の食卓を軽んじていて、ミサの食卓の意味が分かるのだろうか」と受講者に問いかけた。

世はグルムブーム、だがその陰で、若者を中心にただ空腹を満たすためだけの食事、子どもの孤食など、食の崩壊とも言える状況がある。それは人の体だけでなく心にも影を落とし、ことに子どもたちの心の闇を引き起こす要因になっている」と伊藤師は指摘する。子どもは無条件に愛され、世話を受けて、自己肯定感を育む。手作りの料理に込められた「あなたは大切」という親のメッセージを子どもは敏感に感じ取り、それも糧にするのだ。

2012年3月迄

### 訃報

アンジェロ・シアニ神父様 (オブレイト会司祭)

2011年7月9日(土) 8時30分、療養先のニューヨークバッファローにて帰天。享年75歳。2003年から古賀教会の暁の星幼稚園園長等を勤め、ここ数年は本國で病氣療養中だった。

R・リシャル神父様 (ドミニコ会士)

2011年7月12日(火)、カナダのケベック市の聖ドミニコ修道院で老衰のため帰天。享年92歳。1977年から22年間、箱崎教会で主任司祭として勤められた。

## 神の前で生と死を考える集い

③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導: 来住英俊神父 (御受難会)

内容: 自死の問題、教会の秘跡(特に、病者の塗油)

全日程(宿泊)1万円。全日程(通い)6千円。  
1日のみ参加(食事付)4千円。

### カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

## ミサ用ワイン

ヴァノ デ ミサ VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは 有限会社 **大楠酒店** ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

# 草苑

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。

## 木下株式会社

TEL 092-526-5656  
〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5





被災地ボランティアに参加して IV

福岡教区より2人の司祭と2人の男性、3人の女性で参加。仙台サポーターセンターを...

教会学校担当者の集い開催 福岡地区

昨年結成の福岡地区信徒協会の「召命・信仰育成部」(担当...

光丘レジオ・マリエ 25000回記念集会

5月28日(土)、1956年11月13日に創立した光丘教会の「レジオマリエ聖籠の御母プレジデウム」が...

呑まれるようコーヒー、お茶、コンブ茶、紅茶、種々なお茶類など。右側では順番よく並んで持参された各々のポットにお湯を入れて、丁寧にお湯を注いでお湯出し...

初聖体、堅信までは何とか繋がっていても、教会学校の卒業と同時に、教会に来なくなるといふ現実も出されたが、どれも具体的な方策が見つけ出せないことが課題ではないだろうか。

毎週の集まりで、レジオマリエを通して、マリア様に祈りを捧げつつ、皆さまのメッセージを生徒伝える活動が出来ますように、皆様のお祈りをこれからもお願い申し上げます。

島崎教会50周年の今年も聖体行列



6月26日(日)、聖体の祭日、熊本市のカトリック島崎教会(主任司祭マルケット神父)にて、恒例の聖体行列が午前10時より、主日のミサに引続き行われた。

梅雨の最中、雨も上がり、時折射す日差しの中で、今年も市内各地より、修道女・信徒約200人がここに集い、挙行された。

6月26日(日)の早朝「召命のための徹夜祈禱会」に初参加しました。

この日に行われる大分教区の浜口司教様の叙階式に参加するため、前日、東京から福岡に到着、26日の朝はゆっくりして大分に行こうと思っていました。

召命を祈る徹夜祈禱会に初参加

永富神父は「たぶん参加者は5・6人程度かな」と言っていたのに、20人近くの参加者が、召命のために信徒の方々が深く祈っているのを実感しました。

旗「聖体の組」は典礼担当者グループの旗。この三つの旗の外に、アシジの聖フランシスコが描かれた旗も掲げられた。これは、島崎教会誕生の古里である、フランシスケンの修道院をイメージしたものである。

召命黙想会 日時: 9月3日(土) 15時 ~ 4日(日) 15時

召命学校2011 日時: 8月16日(火) 15時 ~ 18日(木) 15時

☆天使たちの交響曲 ラファエル 鶴野泰年 著

不動産全般/売買・賃貸・管理 何でもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方...

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 R.C工事 森山工務店

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

福岡黙想の家ご案内 8・9月

8日(月)～9日(火) 福岡教区カトリック学校教職員研修会
10日(水)～17日(水) 幼きイエズス修道会 黙想会
20日(土) 福岡チエナクルム
24日(水)～30日(火) サレジオ修道会 黙想会
9月の予定
3日(土)～4日(日) 聖マリア在俗会 黙想会
5日(月)～10日(土) コンベンツァル会 黙想会
10日(土)～11日(日) 生と死を考える集い (指導:来住神父)
17日(土) 福岡チエナクルム
20日(火)～27日(火) 奉獻生活者のための黙想会(指導:来住神父)
☆祈りの日は8月はお休みです。9月から毎週火曜日11:00(ミサ)～15:00です。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ: 典礼暦年間で教会とともに祈る
・日 時: 9月8日(木) 10時～14時半
・内 容: 聖人の記念日-3
指 導 者: フランコ・ソットコロラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先: 真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次 回: 10月13日(木) / 8月は休会です。
☎0968・85・3100 0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

2011年福岡地区聖書講座

テーマ: 福音 ～イエスとの出会い
『マタイによる福音書』
⑤9月18日マタイ福音書と私 Sr.泉キリ江(聖心小)
場 所: カトリック大名町教会1階講堂
主 催: 福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2011年度北九州地区聖書講座

年間スローガン: ともに学び、生活の場で伝えよう
第三回: 9月11日(日) 14:00～16:30
講 師: 中村彰神父(戸畑・若松教会主任司祭)
場 所: カトリック小倉教会
主 催: 北九州信徒協

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう
～希望 喜びをもたらすミサ～
第4回: 9月18日 死と永遠のいのち
岩島忠彦(イエズス会 上智大学教授)
会 場: カトリック手取教会 13時半～16時半
主 催: 熊本地区神学講座実行委員会

福岡地区エキュメニカル推進の集い スタート!

キリスト者一致のために、何ができるでしょうか?
日 時: 9月25日(日) 16時～18時
場 所: 大名町教会、1階信徒会館
対 象: 福岡地区の信徒の方(興味のある方)
内 容: \*2012年キリスト教一致祈禱週間の概要
\*福岡地区のエキュメニカル活動の紹介(市民クリスマス、朝拝会、テゼの祈りなど)
\*カトリック教会のエキュメニカル運動の方針
準備担当者: 信徒・修道者の有志チーム
問 合 先: ミシェル神父(箱崎教会) ☎092-651-3867

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

8月号の最終校正を終え、印刷に入ろうとした時に「なでしこジャパン世界一!」のニュースが飛び込んで来ました。震災後、苦悩の中にあった日本にとって大きな光と希望を与えてくれました。教区報を9月号は、休刊です。年に一度この月だけは、編集作業から解放されます。私事ですが、8月から4ヶ月の研修に行つてまいります。その間、前編集長の下町神父様が、務めて下さいます。感謝!また12月号でお会いしましょう。

編集後記

8月のこよみ

5日(金) †ペトロ平田三郎司教〔2007年第4代福岡教区長〕
6日(土) 主のご変容/日本カトリック平和旬間(～15日)
7日(日) 年間第19主日/WYDマドリッド大会(～24日)
北九州地区・福岡地区「平和を祈る集い」
†J.P. ラベル〔2004年サンシルピス大神学院〕
8日(月) 宮原司教霊名のお祝い(カテドラル11時)
9日(火) 福岡教区カトリック学校教職員研修
10日(水) 佐賀県カトリック幼稚園学校法人化会合
11日(木) 震災のための祈りのリレー(浄水通教会7時～19時)
14日(日) 年間第20主日/北九州墓地ミサ聖祭(12時)
15日(月) 教区墓地ミサ聖祭と納骨式(和田墓地14時)
16日(火) (宗法)カトリック幼稚園主任研修(湯布院～17日)
18日(木) †堤要吉〔2002年浄水通教会〕
20日(土) †L. デシャンブ〔2001年八王寺教会〕
†D. グリフィン〔2001年玉名教会〕
21日(日) 年間第21主日/直方教会聖信式
22日(月) 天の元后聖マリア/(宗法)カトリック幼稚園新任教職員研修(湯布院～24日)
27日(土) 聖モニカ/福岡地区婦人会感謝ミサ
カトリック医療関連学生全国大会(～28日)
28日(日) 年間第22主日
29日(月) 洗礼者聖ヨハネの誕生
30日(火) †J. ガイヤール〔2007年水巻教会〕
■ゴチックは司教日程

長崎大司教区平和祈願祭のご案内
<<平和への祈り、もっと強く、もっとやさしく。>>
日 時: 8月9日(火)
松明行列: 18時30分 平和公園に集合
平和祈願ミサ: 20時 浦上天主堂
尚、雨天時は、浦上天主堂にて平和祈願ミサを行います。

案内板

会合と催し

9月のこよみ

1日(木) 常任司教委員会
2日(金) 初金曜日ミサ聖祭(浄水通教会)
3日(土) 笹丘教会献堂ミサ(10時半)
カトリック看護協会黙想会(湯布院～4日)
年間第23主日/ 聖体授与の臨時的奉仕者更新研修会(カテドラルと手取教会)
4日(日)
6日(火) 新「司祭の家」落成祝福式
7日(水) †牧山重光〔2005年門司港教会〕
8日(木) 聖マリアの誕生
10日(土) 日本205福者殉教者/†J. パーク〔2000年〕
年間第24主日/大牟田教会聖信式
12日(月) †A. セトアイン〔2003年イエズス会〕
13日(火) 司祭評議会/司教顧問会
14日(水) 十字架祝賀
15日(木) 悲しみの聖母
18日(日) 年間第25主日
19日(月) 敬老の日
聖心のウルスラ宣教女修道会・誓願50周年ミサ聖祭
シノドス提題回答作成会合(東京)
21日(水) 聖マタイ使徒福音記者
23日(金) 北九州スポーツ大会/広島教区司教叙階式
†J. バイヨ〔2004年光丘教会〕
年間第26主日/唐津教会聖信式
世界難民移住移動者の日(献金)
聖体授与の臨時的奉仕者養成講座
28日(水) 聖トマス西と15殉教者
29日(木) 聖ミカエル・聖ラファエル・聖ガブリエル大天使
■ゴチックは司教日程

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 8月20日、9月3日、17日、10月1日 10時～12時
場所: カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆ザビエル合唱団練習日
(日時) 8月20日(土) 13時半
(場所) 西新教会(問合せ先)
080・5246・8395
橋本/次回9月17日
■福岡結婚準備講座
(日時) 9月3日(土) から毎週土曜日の全5回19時～21時半
(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎092・741・3687
■心の健康セミナー
(日時) 9月11日(日) 14時から(場所) 宗像黙想の家ログハウス(テーマ) 心身の病と救い(指導者) 小宮豊氏(精神科医師)(対象) 関心のある方(参加費) 自由献金(問合せ先) セミナーを支える会 ☎0940・32・1173 矢田
■虹の会
(日時) 9月17日(土) 13時半から(場所) カトリック大名町教会3階(対象) 子どもを亡くした親の会です。(会費) 600円(連絡先) ☎090・1162・6395(柴田)
■在世フランススコ会集會
(日時) 9月18日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・541・3730
■美野島司牧センター
●夏祭り(日時) 8月21日(日)
92・843・5831 岩崎
■グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時) 9月20日(火) 11時場所 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 聖霊賛歌(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
■教区信徒協研修会
(日時) 9月23日(祝) 10時20分から(場所) カテドラル大名町教会(テーマ) 教会の明日に向けて(ナイス理解と実践)(基調講演) 森一弘司教(参加費) 自由献金(対象) どなたでも(問合せ先) 各教会信徒協担当者
■女子青年黙想会
(日時) 9月24日(土) 20時から25日(日) 16時(場所) カノッサ修道女会太牟田修道院(テーマ) 神のよこごび(対象) 青年キリスト者、求道者(同伴) Sr.大田(参加費) 1500円(申込先) ☎0944・58・5793 / Mail: sisak@hoimai.co.jp
■第54回福岡典礼聖歌研修会
(日時) 10月2日(日) 14時から(場所) カトリック笹丘教会新聖堂(テーマ) 待降節の詩編を歌う⑨(講師) 深堀純氏(参加費) 感謝献金(事務局) ☎092・541・3730
■熊本結婚準備講座
(日時) 9月3日(土) から10月1日(土) 19時～21時半
毎週土曜日の全5回(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030
■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 9月15日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

北九州

16時(場所) 須崎公園(主催) 福岡おにぎりの会・協働1スーアの会(問合せ先) ☎092・431・1419 コース神父
◆北九州
■北九州召命を共に祈る会
(日時) 9月8日(木) 14時から(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサとミーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) 0949・24・9905 藤井
◆佐賀
■佐賀祈りの集い
(日時) 9月3日(土) 10時半毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

カトリック看護協会福岡支部の集まり

福岡地区平和を祈る集い
日時: 8月7日(日) 14時～16時半
場所: カトリック大名町教会
第1部=子ども参加型の平和授業
テーマ: 大震災について私たちにできることは何? 神さまの願いは?
\*教会学校からの研究発表
第2部=被災地ボランティアの報告・体験
主催: 福岡地区信徒使徒職協議会
担当: 召命・信仰教育・宣教社会部

第11回北九州地区平和の集い
日時: 8月7日(日)
午前の部: 各13教会で平和祈願ミサ
午後の部: 小倉教会で平和の集い
テーマ: 希望に向かって
\*グループ発表(看護協会・精神障害者家族の会・九条の会・外国籍信徒会など)
\*お話し=林尚志神父(イエズス会)
◆子どもの広場 あります。
主催: 平和の集い実行委員会(093-622-1289)

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
TEL 0942-35-3322(代表)
FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日: 9:30～12:00
14:30～20:00
土曜: 9:30～15:00
休診: 日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 公吉

聖書
原文校訂による口語訳
サンパウロ福岡宣教センター
8月の休業日 7・14・16・21・28
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930



### 東日本大震災「福岡教区・被災者支援室」

東日本大震災支援ボランティアへ参加を希望、または予定されている方へ

長崎教会管区(九州全教区)では、岩手県の大槌にサポートセンターの開設を急いでいます。但し、仙台駅から大槌まで4時間近くかかりますから、数日のボランティア希望の方には仙台サポートセンターなどに紹介しています。下記の支援室にFAXかメールで申し込んでいただければ、後日、仙台サポートセンターから必要に応じた派遣場所の連絡が直接あります。

#### ■ボランティア募集の条件

- \*男女を問いませんが、20歳以上。
- \*心身ともに健康であり、健康管理が出来る方。
- \*基本的マナーを守り、集団生活を行える方。

#### ■支援室連絡用

電話:092-522-5139 FAX:092-523-2152  
Mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com

⇒聖堂を中心に信徒会館、修道院が一体、左奥は幼稚園



新聖堂を祝別する宮原司教

笹丘教会(遠山満主任司教)は、1961年7月30日に福岡教区長故深堀仙右衛門司教による献堂式をもって茶山教会より分割、東田島教会として歩みを始めた。聖アウグスチノを保護の聖人とし、信徒数わずか30人不足での出発であった。後の区画整理に伴い笹丘教会と改名した。

カトリック  
笹丘教会

## 創立50周年・新聖堂献堂

2011年9月3日

1600年を祝った1986年、教会創立25周年の年には信者数は620人になっていた。そして本年、信徒数852人で創立50周年を盛大に祝う喜びを得た。

この50年間に16人のアウグスチノ会士がこの小教区で奉仕した。またこれまで、5つの修道女会のシスター方が幼稚園での使徒職に携わってき

ている。新教会は聖堂を中心に左手に納骨堂、多目的ホールなど、右手が修道院で、総床面積997平方メートル。

### 「司祭の家」が完成 静かに始動

9月6日(火)、念願の「司祭の家」が完成し、落成・祝福式が行われた。

従来の「司祭の家」では、部屋数、居住空間、訪問者や奉仕者の対応などの面で課題が多く、辞任司祭のこれまでの功績に対し、感謝と尊敬に値する新しい施設が必要と判

断され、それらを検討するために司祭団から「司祭の生活部会」小委員会が設置された。小委員会は、先ず司祭団の要望を尋ねることから始まり、候補地の選定、設計会社

### 宮原司教、教区民と霊名の祝日を祝う



8月8日(月)、大名町教会にて聖ドミニコ・ミサの霊名を頂く宮原良治司教を囲んで、祝いの始まり。司教はミサの開始に、ミサの司祭と茶話会が行われた。司教はミサの開始に、ミサの司祭と茶話会が行われた。司教はミサの開始に、ミサの司祭と茶話会が行われた。

カトリック  
福岡教区報

宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区三  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

10月の意向

【一般】 終末の床にある人々への支え  
【宣教】 世界宣教の日  
【日本の教会】 諸宗教対話の推進

教皇様の意向のために祈りましょう

2011年9月3日

一日であった。360人の教会関係者が集い、新教会が神に捧げられた。聖堂内には280人分の席しかなく、80人の参列者は隣接する幼稚園のホールに設けられたモニターを通して、ミサに与った。

### 時の話題

東日本大震災から半年が過ぎた。去る9月11日は大名町教会のみならず東京はじめ各地でキリスト者が集まって合同礼拝が捧げられた。「災いを転じて福となす」ということわざがあるが、この大震災はわたしたちの信仰の基本である

「祈り」の大切さを感じさせてくれた。キリスト教を信じる者同士「一緒に祈る」ことができ、本当に良かったと思う。

Br. 阿部光一

50年以上も続いているキリスト者の集会で、祈り、朝食を共に分かち合う。しかし残念ながら青年の参加は少ない。そこで感じることは、エキュメニズムのこれからの歩みのために、将来に向けて青年たちを中心とした教派をこえた交わり、例えば練成会や黙想会、聖書勉強会などを開催してみたらどうだろうか? 違いを感じ取りながら、共通の話題や問題に出会って、共に深めていく場はきっと社会や家庭で自分の信仰を新たにすきつかけとなると思うのである。聖パウロ会修道士



宮原良治司教は式に、司祭の老後の生計と住居を配慮する

宮原良治司教は、先ず司祭団の要望を尋ねることから始まり、候補地の選定、設計会社との選定、設計図面の検討など多岐に渡って審議を重ね、昨年9月から着工し、約一年か

け完成に至った。尚、3階建ての司祭の家は延べ床面積は930㎡、総工費約2億円。部屋数は最後の司祭のために6つ、ゲストルーム2つ、司祭が休憩できる部屋2つが備えられている。

「祈り」の大切さを感じさせてくれた。キリスト教を信じる者同士「一緒に祈る」ことができ、本当に良かったと思う。

の司祭の老後の生計と住居を配慮する。司教は式に、司祭の老後の生計と住居を配慮する。司教は式に、司祭の老後の生計と住居を配慮する。

「祈り」の大切さを感じさせてくれた。キリスト教を信じる者同士「一緒に祈る」ことができ、本当に良かったと思う。

「祈り」の大切さを感じさせてくれた。キリスト教を信じる者同士「一緒に祈る」ことができ、本当に良かったと思う。

「祈り」の大切さを感じさせてくれた。キリスト教を信じる者同士「一緒に祈る」ことができ、本当に良かったと思う。

### フランシスコ・ザビエル 堤敏雄神父帰天



8月25日(木)にフランシスコ・ザビエル堤敏雄神父は肝臓癌のため聖マリア病院(久留米市)で逝去。享年79歳。

翌日26日(金)に大名町教会で通夜が営まれ、27日(土)11時より同教会で葬儀ミサ。告別式が執り行われた。

「彼は、司祭としての使命と責任を十分に果たした。これからは天国からの祈りと支えをお願いしたい」と話し、遺族と大勢の参列者にお礼を述べた。なお堤敏雄神父の遺骨は司教館に安置され、11月13日教区の和田墓地に納骨される予定である。



交通安全講習会

交通安全講習会に。この時、ある大学の名誉教授の講演があった。教授曰く、「車のお祓いに神社によく来る。そして、『これで安心だ。これからは事故はない』と自分に言い聞かせる。しかし、いつか、不慮の事故を起したり、事故にあつたりすることが多い。続けて、『車のお祓いをしてもらう時は、実は神さまと、『決して事故は起こしません。安全運転に努めますので、私と車を守ってください』と約束をするのだ。その約束をしっかりと守ることを忘れてはいけない」と▲教会にも「車の祝別をお願いします」と言ってくる。確かに司祭は、「この車と御者を不慮の事故から守り、安全運転が出来ますように」と祈り、聖水を注ぐ。悪の仕事を断つように祈るのである。しかし、持ち主が運転に注意しなければどうなるだろうか。神を信じるのはよいことである。けれど、自分でも努力しないと願いは叶わないのである▲普段でも「教会のミサにも来ます。祈りもします」だけでは、ひよつとした足りないのかも。神の掟の一部は守るが、全体的に見て、実行していない所が多ければ、神の方も致し方ないのではあるまいか。それでも神は善人にも、悪人にも恵みをくださる。しかし、その恵みは「神の思いをもつと理解し、神の喜びに至るためのもの」であることを忘れてはなるまい。それにしても、この間「洗礼の秘跡」に与った人たちは、「神との約束」を保っているだろうか。毎週「約束の更新」をしている人たちは、日常生活でそれを果たしているのだろうか。(S)







# 教区内カトリック学校・幼稚園が大会や研修会

この7月には、日本カトリック幼稚園連盟第56回教職員研修大会福岡大会初開催をはじめ、8月中には、福岡教区内の9つのカトリック学校中堅教職員、続いて福岡教区立宗教法人カトリック幼稚園の主任、さらに新任教職員研修が行われた。どれも福岡教区では新しい取り組みであった。

## 教職員研修大会福岡大会に1400人が参加



開会の挨拶に立つ宮原司教と笑顔のスタッフ

7月26日と27日に、福岡市内のホテルを会場に、「第56回日本カトリック幼稚園連盟教職員研修大会・テーマ子どもたちの幸せは私たちの幸せ〜輝かせよう！神様がくれた生命」が開催された。本大会の担当が福岡教区であったため、1年前より実行委員会を設けて本大会への取り組みが行われていた。福岡教区での開催は初めて。実行委員長の森山信三神父が中心となり、何度も準備会が開かれていた中、未曾有の東日本震災が起り、開催は

## 教区カトリック学校教職員研修会



8月9日・10日、福岡教区にある9つのカトリック学校が合同で今年度2回目の「カトリック

学校中堅教職員研修会」(カトリック学校校長会主催)を責任者外川直見神父)を想の家で開催した。カトリック学校に勤務する中堅教職員(大部分が非信徒)が「自信をもってカトリック学校における教育を語ることが出来る」ようになることが、研修会の目的である。

近年、カトリック学校の設立母体である修道会の修道者が高齢となり学校から引退してゆく中で、そのアイデンティティを保ち、今後も特徴あるカトリック学校の教育を実践して行くため、この

無理なのではとの意見も出たが、「こんな時こそ被災地のカトリック幼稚園を応援するために頑張ろう」と開催を決定。心配された参加者の数も今までにない1400余人の教職員が全国より集まり、被災地からの参加者から、現状報告が行われた。

「宿ったことは、宿すことばしあわせの記憶と生きる力を求めて」と題して古巣馨神父が基調講演。「カトリック幼稚園の使命とは何かという問いかけが心に沁み入りしました」と、多くの参加者の声があつた。

大会2日目は7つの分科会と、佐藤初女(森のイスキア代表)さんの特別講演。会場は常に満員の状況と感動の声や分かち合う参加者の輪がそこそこに充ちていた。

実行委員で司会を担当した聖心ウルスラ幼稚園のシスターは、「大変な中にも貴重な体験と共に、カトリック幼稚園間の絆が深まった良い機会だったと思います。またカトリック幼稚園の使命、それはイエス様の存在を子ども達の身近にいる私たち教職

ような研修の必要性がかねてより語られていた。各校から数人の教職員が派遣され、学校長の参加を含めると参加者は30人になった。宮原良治司教は、初回(6月24日)と今回も研修会に出席し、「教会と教育」について講話を行った。

また、日本カトリック学校連合会会長の河合恒男神父は、日本全体のカトリック学校をとりまく状況を語った。さらに、現役の学校長や学校で働くシスターがイエス・キリストの姿をテーマとした講話を担当した。

各講話の後には、参加者同

員が生き方を通し、愛の心をもつて伝えていくこと。今、

## 初の教区カトリック幼稚園主任教諭研修会



8月16日・17日、由布院のサレジオンシスター経営の研修の家で、福岡教区立カトリック幼稚園の主任教諭14人が参加する研修会が行われた。日頃の労苦を互いに労うと共に、親睦と学びである。

講師を務めた宮原良治司教(教区立幼稚園理事長)は「カトリック幼稚園の主任の役割」というテーマで「教育と宗教」について話した。「教育基本法で挙げられている人格の完成を目指すために宗教教育は必要なのではないか。また、今の保育者がどの

士グループに分かれて分かち合いを通し、理解を深めた。尚、3回目は11月25日に予定されている。

上智福岡中学高等学校の浦善孝神父は、「カトリック学校は教会の一部であり、青少年に必要な一般教育とキリスト教的価値観に基づく教育を行なう施設である」という意識を学校が持つ必要があると述べた。また学校は教会との結びつきをもっと深めてゆくことが大切だと語った。

教区立幼稚園の主任の役割について話した。また、今の保育者がどの

その責任の大きさをかみしめております」と語った。

目標に向かってカトリック幼稚園教育を推進して行くかが問われる」と語った。

参加者は「カトリック幼稚園の教育の在り方を原点から見直す必要があるようだ」と口を揃えて語っていた。

続いて北九州の若松天使園で園長を務める末永憲江氏が、自身の主任時代の経験に基づいて主任教諭の在り方について分かりやすく話した。その後、2グループに分かれ、分かち合いを行った。各園の異なる状況や夫々の

## 新任教諭は「自分との出会い」にチャレンジ



雑誌の切抜きや小物で表現した『自画像』に向合う

福岡教区立カトリック幼稚園の新任教職員の研修会が、主任研修から1週間後の8月22日から24日まで、同じ由布院の研修の家で開催された。

「新任の先生たちにカトリック教会の精神や姿勢を知ってほしい」との宮原良治司教(教区立幼稚園理事長)の要望にこたえる形で初めて開催されたもので、プログラムは、キリスト教入門講座として知られる「キリスト教講座」(グリフィン講座)の第1部「自分との出会い」を開催趣旨に沿ってアレンジし、日頃

から本講座を小教区等で担当

持つ悩みが語られ、共感と共有のひとときを持った。宮原司教も加わり、一人ひとりの話しに耳を傾け、励ましと勇気を与えた。最後のまとめでは、今後のビジョンが司教から示された。

教区で初めて行われた幼稚園主任教諭の研修会であったが、参加者の顔には満足感一杯の笑みがこぼれていた。「参加させてもらって、心が洗われたようでした」「定期的にこのような集いを設けてほしい」「主任としての立場が理解でき、有意義な学びの時間を頂きました」「共に歩むことに希望と勇気をもらいました」と口ぐちに話していた。

している福岡と熊本の信徒がオカロール神父(小郡教会主任・聖コロンバン会)とともに準備した。テーマは「わたしたちはユニーク」。

参加者は、福岡と熊本の本幼稚園からの5人で、全員が非信徒の先生たち。全15の課題に一つひとつ熱心に取り組み、自己と向き合い、また周囲と交わって支え合う中で自分を知ら

という体験を経て、新たな自分に出会っていった。

宮原司教も一参加者として全日程を共にした。終わりに参加者から、「園長先生に言われて、何があるのか見当もつかず、修道院という場所も初めてで不安な気持ちで参加しましたが、受付での優しい対応に安心し、スムーズにプログラムに入っていくことができました。」「いつも自分の足りない点をばかりに目を向けがちだったことを知り、自分にもいいところがあることに気づいた。貴重な体験でした」との声があつた。

声があつた。

## 福岡教区の中にある幼児教育の現場

■入園願書配布中。 随時、入園説明会が行われています。

### 【幼稚園】

#### ◇福岡地区

- (宗法) 高宮カトリック幼稚園
- (宗法) 茶山カトリック幼稚園
- (宗法) 西新カトリック幼稚園
- (宗法) 二日市カトリック幼稚園
- (宗法) 天使幼稚園
- (宗法) 吉野天使幼稚園
- (宗法) カトリック聖クラ幼稚園
- (学法) 小郡カトリック幼稚園
- (学法) 久留米聖母幼稚園
- (学法) 笹丘カトリック幼稚園
- (学法) 福岡雙葉小学校附属幼稚園
- (学法) 久留米信愛女学院幼稚園
- (学法) 大濠聖母幼稚園
- (学法) カトリック光丘幼稚園
- (学法) 福岡海星女子学院マリア幼稚園
- (学法) 聖心ウルスラ幼稚園
- (学法) 久留米信愛女学院幼稚園
- (学法) 暁の星幼稚園

#### ◇北九州地区

- (宗法) 飯塚聖母幼稚園
- (宗法) 小倉カトリック幼稚園
- (宗法) 戸畑天使園
- (宗法) 水巻聖母幼稚園
- (宗法) 湯川カトリック幼稚園
- (宗法) 若松天使園
- (学法) 田川カトリック幼稚園
- (学法) 門司聖母幼稚園
- (学法) 行橋カトリック幼稚園
- (学法) 八幡カトリック幼稚園

### ◇佐賀地区

- (学法) 聖ヨゼフ幼稚園
- (宗法) 佐賀カトリック幼稚園
- (宗法) 唐津カトリック幼稚園
- (宗法) 武雄カトリック幼稚園
- (宗法) 鳥栖カトリック幼稚園
- (学法) 伊万里カトリック幼稚園
- (学法) 鹿島カトリック幼稚園
- (学法) 多久カトリック幼稚園
- (学法) ロザリオ幼稚園

### ◇熊本地区

- (宗法) カトリックさゆり園
- (学法) 菊池聖母幼稚園
- (学法) 熊本信愛女学院幼稚園
- (学法) 熊本聖母愛児幼稚園
- (学法) 人吉幼稚園
- (学法) 本渡カトリック聖心幼稚園
- (学法) 明光幼稚園
- (学法) 八代百合学園幼稚園

### 【保育園】

#### ◎福岡地区

- (社福) 海の星保育園
- (社福) 光の園保育園
- (社福) 吉塚カトリック保育園

#### ◎北九州地区

- (社福) 湯川聖母園
- (社福) 小百合保育園
- (社福) マリア保育園

#### ◎佐賀地区

- (社福) 殿の浦愛児園
- (社福) 聖母保育園

#### ◎熊本地区

- (社福) 天使の園保育園

\*2011年10月1日現在



### あの大震災から半年 現地での体験と報告祈り

震災から半年が過ぎた。6月の司教総会において、岩手県の久慈教会を長崎教会管区で司牧することになり、伊東成晃神父が派遣されて3ヶ月。また、大槌地区にボランティアペー

#### 仙台教区岩手県の久慈教会地区から



のボランティア活動の継続した参加も大きく期待される。現地

大槌町に近づくにつれ、私の目に飛び込んで来たのは、まさに目を疑いたくなるような光景だった。ここは日本か？まるで中近東の紛争地帯のよう。私は昭和39年、東京オリンピックの年の生まれ。いわゆる戦争を知らない世代だが、震災を知る世代になってしまった。戦争を語り継ぐ

### 福岡市内キリスト教各派が合同祈禱会



東日本大震災から半年目を迎えた9月11日(日)、午後2時30分から、カトリック

背筋が凍りつく思いだった。あれから3ヶ月こちら久慈市もまだまだ暑い。こちら

住宅近辺にクマが出没する。避難所はほとんど閉鎖になっている。仮設住宅も100%完成したようだが、場所が不便な所が多く、入居を望まない被災者も多いよう

だ。またこれから寒くなってくるが、灯油が例年に比べて14円程値上がりして10あたり89円くらいになってい

る。震災で精油の施設がやられていたから、灯油が

沢山あると助かるかも知れない。後はやはり、こちらに観光に来たり名産品を購入したりしてもらえると一番助かるようである。

久慈教会 伊東成晃神父

釜石ベースでのボランティアから

9月3日から4日間、勤務先の聖マリア学院大学(久留米市)の学生5人とともにボランティア活動に参加しました。震災発生からまもなく6ヶ月を迎えようとしていた

ク大名町教会で「東日本大震災に心をとめ、死者への追悼・被災者への慰め・被災地の再生を求める合同礼拝」が福岡市内キリスト教諸教会より250人が参加して行われた。

主司式者宮原良治司教の挨拶と招きのことばに続いて、復活のろうそくに灯がともされて集会が始まりました。

共同司式者の日本聖公会九州教区長五十嵐正司司教の先唱で詩編46編を唱えて、神の力強い救いの業をたたえ、ついで香の煙が立ち込める中、ヨハネ福音書よりラザロの復活の場面(11・17・27)が朗読された。

2時46分、大震災発生の時刻、鐘樓の鐘が鳴る中、全員で亡くなった方々のために黙祷がささげられた。ついで、日本基督教団、日本聖公会、カトリック教会の代表がそれぞれの被災地での被災状況と復旧活動状況を報告し、各教会とも被災地の教会と協力して救援ペースを設置し、ボランティア活動を行い、またミサや礼拝が滞りなく行われるよう司祭、牧師を派遣していることが発表された。

日本基督教団の入江清弘牧師は説教で、聖書朗読より、マリア、マルタの「主よ、あなたがここにいてくださいましたら」を取り上げ、この苦

難の中にあつて、主キリストが共にいてくださることに信頼し、苦しみを担い合い、祈り合つていこうと励ました。

取り成しの祈りで、死者への追悼、被災者への慰め、被災地の再生、支援者のため、キリスト教全共同体のために祈り、「主の祈り」を全員で唱え、最後に日本福音ルーテル教会も加わった全教派の司教、主教、牧師が祝福を祈り、主と隣人に仕えるためキリストの光をたずさえて世に出て行くことへの派遣のことばがあつて、キリストにおいて一つであることを強く実感する今回の合同礼拝を終えた。

私たちが滞在した期間、カクタスジャパン「釜石ベース」には約20、30人のボランティアが被災者のために何かをしたいという思いで日本各地から集まっていました。

私が参加した活動は、写真の洗浄作業と「ふいりあ」で

した。「ふいりあ」は、釜石ベース地域で被災された方々同士の交流や心のケアを目的として無料のカフェスペースと日用品等の物資提供を行うものです。写真洗浄の作業をして

いる場所は、同時に展示会場であり、日曜日には家族で来られてご自身の写真はもちろん、友人知人の姿を探しているらしやいました。息を詰めて

て写真を見つめていらつしやる眼差しや様子、友達の写真を

見つけて「あつたー！」と声をあげ家族に知らせる子どもたちの姿、震災を境に会えなくなっている人たちの探し

求めている心がどれほど痛み傷つき乾いているかを感じま

した。「ふいりあ」で出会った地域の方々から「遠い所から来てくれてありがとう」と声をかけていただくことがありました。このことが心に

残つたのでベースに戻つたとくに話す「震災直後に比べ、報道の量も減ってきている。被災者の一番の望みは「忘れ

ないでほしい」ということ。ボランティアの姿に『忘れていません』のメッセージ

を感じていらつしやるから」と聞きました。

学生も4日間の活動で新しい出会いや気づき、そしてこれからのことを考えています。「忘れていません」のメッセージを被災地の方に届けるために、彼女たちとともに柔軟なアイディアと行動力でできることに取り組みたい。

大名町教会 田上朝子

石島武一医師は「例年はない企画で若い学生や先生方の参加を非常に嬉しく思っています」と挨拶。

今回、企画の準備窓口もなったカトリック医師会福岡支部や、聖マリア病院(久留米市)の呼びかけで福岡地区の青年有志準備スタッフとして当初より参加、若者らしいリクレーションの要素も取り入れたプログラムが準備された。

初日、開催の挨拶に続いて仙台カトリック医師会員の木島三夫医師が「東日本大震災の大津波をまともにかぶつて生き延びた一人として」と題して、ご自身が胸まで津波をかぶりながらやっと脱出、歯科医師である三男の研さんを亡くされた体験や災害の現状などを生々しい映像と

勝手に抱いていた「復興が進んでいる」というイメージが砕かれました。



私たちが滞在した期間、カクタスジャパン「釜石ベース」には約20、30人のボランティアが被災者のために何かをしたいという思いで日本各地から集まっていました。

私が参加した活動は、写真の洗浄作業と「ふいりあ」で

した。「ふいりあ」は、釜石ベース地域で被災された方々同士の交流や心のケアを目的として無料のカフェスペースと日用品等の物資提供を行うものです。写真洗浄の作業をして

いる場所は、同時に展示会場であり、日曜日には家族で来られてご自身の写真はもちろん、友人知人の姿を探しているらしやいました。息を詰めて

て写真を見つめていらつしやる眼差しや様子、友達の写真を

見つけて「あつたー！」と声をあげ家族に知らせる子どもたちの姿、震災を境に会えなくなっている人たちの探し

求めている心がどれほど痛み傷つき乾いているかを感じま

した。「ふいりあ」で出会った地域の方々から「遠い所から来てくれてありがとう」と声をかけていただくことがありました。このことが心に

残つたのでベースに戻つたとくに話す「震災直後に比べ、報道の量も減ってきている。被災者の一番の望みは「忘れ

ないでほしい」ということ。ボランティアの姿に『忘れていません』のメッセージ

を感じていらつしやるから」と聞きました。

学生も4日間の活動で新しい出会いや気づき、そしてこれからのことを考えています。「忘れていません」のメッセージを被災地の方に届けるために、彼女たちとともに柔軟なアイディアと行動力でできることに取り組みたい。

大名町教会 田上朝子

石島武一医師は「例年はない企画で若い学生や先生方の参加を非常に嬉しく思っています」と挨拶。

今回、企画の準備窓口もなったカトリック医師会福岡支部や、聖マリア病院(久留米市)の呼びかけで福岡地区の青年有志準備スタッフとして当初より参加、若者らしいリクレーションの要素も取り入れたプログラムが準備された。

初日、開催の挨拶に続いて仙台カトリック医師会員の木島三夫医師が「東日本大震災の大津波をまともにかぶつて生き延びた一人として」と題して、ご自身が胸まで津波をかぶりながらやっと脱出、歯科医師である三男の研さんを亡くされた体験や災害の現状などを生々しい映像と

津波をかぶりながらやっと脱出、歯科医師である三男の研さんを亡くされた体験や災害の現状などを生々しい映像と

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

日本カトリック信徒宣教会  
2012年度 派遣候補者募集  
ともに、生きる。

日本カトリック信徒宣教会は、現在カンボジア、東チモールの2カ国へ8人の信徒宣教師を派遣しています。派遣者は4月から7ヶ月間日本で研修を受けた後、現地での語学研修を含め2年半は派遣され、子どもたちへの衛生教育や識字教育、生活向上支援、プライマリ・ヘルスケアの展開など様々な活動を行なっています。あなたも信徒宣教師となって、アジアの人々とともに生活し、喜びや悲しみを分かち合いませんか。

応募資格：●年齢 21歳以上 ●受洗後3年以上 ●基礎的な英語力 ●心身ともに健康であること

募集締切：2011年10月31日  
問合せ先：JLMM日本カトリック信徒宣教会事務局  
☎ 03.5414.5222 / E-mail:jlmm@jade.dti.ne.jp

### 医療関連学生セミナー福岡で開催

8月27日(土)28日(日)の両日、日本カトリック医師会福岡支部(支部長II宗信夫医師)は「まんなかにいのちのちのちへのまなざし」をテーマに、日本カトリック神学院福岡キャンパスで「カトリック医療関連学生セミナー」を開催した。医学生・

石島武一医師は「例年はない企画で若い学生や先生方の参加を非常に嬉しく思っています」と挨拶。

今回、企画の準備窓口もなったカトリック医師会福岡支部や、聖マリア病院(久留米市)の呼びかけで福岡地区の青年有志準備スタッフとして当初より参加、若者らしいリクレーションの要素も取り入れたプログラムが準備された。

初日、開催の挨拶に続いて仙台カトリック医師会員の木島三夫医師が「東日本大震災の大津波をまともにかぶつて生き延びた一人として」と題して、ご自身が胸まで津波をかぶりながらやっと脱出、歯科医師である三男の研さんを亡くされた体験や災害の現状などを生々しい映像と

津波をかぶりながらやっと脱出、歯科医師である三男の研さんを亡くされた体験や災害の現状などを生々しい映像と

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

新人看護師II現場での現実に大きな壁を感じ、辞めたいと思っていたらクリスマスチャン

の先輩から参加を勧められ参加してよかったです。いのちに向き合う意味が見えてきたような感じがします。

## 2011年11月23日(水・祝) 福岡教区の日

11月23日(水)、カテドラル大名町教会で開催されます。

2011年の年間テーマ「ともに学び、祝い、生きる、伝える家庭共同体」について、各小教区から今取り組んでいること、今後取り組もうとしていることなどを発表し合い、各小教区の情報交換などもできたらと企画されました。

今後、準備委員会・教区事務局の方から具体的な情報が出されることとなります。



福岡カルメル会司祭養成を祈り60年



7月16日、福岡カルメル会修道院(院長 Sr.正野寛子)では創立60周年を迎える記念ミサが、宮原司教主司式、大神学院院長牧山神父・嘉松神父・中嶋神父の共同司式により執り行われた。

カルメル山の聖母の祭日、60年の歳月に思いを致し、聖堂は静かな祈りに包まれた。カルメル会福岡招致計画は74年前に遡る。『1937年10月、来日していた聖スルピス会カナダ管区長ヌーブ師はある会議の席上「私は神学校設立の暁には、神学校のすぐ

第25回筑後地区親善スポーツ大会



ここ数年、老若男女が参加できる運動会形式となっていたが、本来はソフトボールで

大会当日は前日から大雨の中、体育館でミサが始まった。途中からカミナリまで鳴り響き、一時はどうなるかと思いきや、雨もあがりグラ

神さまといつも一緒



8月16日から18日、新田原教会での召命学校に参加しました。テーマは「神様といつも一緒」で、東日本大震災を通して考えてみようというものでした。

ぼくは東日本大震災の被害がとて大きいということが知っていました。詳しいことは知りませんが、詳しいことは、召命学校で実際に現地に行ってきた2人の神父様と1人のシスターの話を聞くことができました。神父様方は、側溝のヘドロを取り除く作業をした時は、とても臭

始められた大会である。この2つを同時に行うという、全く新しい試みで8月21日スポーツ大会が開催された。どの教会も若い世代の減少で競技種目に工夫が必要となり、準備委員会の悩みのタネである。問題は参加人数と熱中症対策。近年の猛暑で社会問題にもなっている熱中症だけに、防止策に対処法まで検討し準備した。

被災者の人と繋がる

く、ガラスに刺さったりもしたそうです。休み無しで何時間もこの作業をしたそうです。これで、震災の大きさについて知る事ができました。シスターたちは「シスターズ・リレー・ボランティア」という団体をつくって、炊き出しや汚れた家の清掃などをしてきたそうです。これを聞

き「被災者の方々はいまもまだどうゆう生活をしているのだなあ」と被災者の方々の思いを知る事ができました。「その後、まとめの中で「ぼくたちは祈りの力で被災者の方々と繋がる事ができる」ということを学びました。「神様といつも一緒」ということは、遠くにいる僕たちにも何かができることがあり、それを実行すれば被災地

と少しずつ繋がっていきたく、祈ることのほかに省エネとエコです。電気はこまめに消し、なるべくエアコンに頼らない、食べ物は残さない等、資源や物を大切にすることは、直接、被災者には影響はありませんがこういう生活は大切だと思いました。久留米教会 中学1 吉良優輝

人生は巡礼の旅 WYD in マドリード ワールドユースデーでスペインに行き、サンティアゴ・コンポステーラへの巡礼と、本大会に参加しました。日常から離れ、同じ信

仰を持った仲間達と充実した時間を過ごすことができました。心身共に過酷な旅でもありましたが助けてくれました。手を引いてくれ、荷物を支えてくれ、励ましてくれました。いつも神様が一緒にいてくださる事を初めて実感しました。素晴らしい出会いもたくさんありました。自身も苦しいのに困っている人に、笑顔で手を差し伸べている人がたくさんいました。キリストの信仰の内に生きていく人は強く、やさしく、私もそのようになりたいと思いました。帰国後、日常生活が始まり、今までのように小さな事にすぐよくよしたり、腹を立て

大被害。コンサートは「東日本とアフリカチャドへのチャリティ」となり、出演者もUENENIROS(デメーテル)40数人の男性合唱団、専修大学玉名高校吹奏楽部、友人の音楽教師とボランティアの輪が広がっていった。多くの人たちの協力によって、コンサートは大入りとなり、前半が終わるとSr.松山によるチャドの現状説明。踊りの披露に会場は和んだ。全員合唱指揮者はチャドの民族衣装で奮闘、チャドの写真・布・装飾品などの展示・即売も行われ賑わった。「支援は細く長く」をモットーに、コンサートは福音宣教の一つのきっかけとなったようだ。

千円あれば1年間学べる

玉名教会の信徒と市民がチャドと被災地支援

7月31日(日)真夏の太陽が照りつける玉名市民会館。午後2時、コンサートは始まった。このコンサートを企画したのは玉名教会の尾池和

子さん。アフリカチャドの子ども達が貧しく学校に行けないことを、チャドで宣教活動中のSr.松山浩子(シヨファイユ)の幼きイエズス修道会)から聞いた尾池さんは音楽を通して協力出来るのではないかと、チャリティコンサートを考えました。

☆目からうろこロザリオの祈り

☆目からうろこロザリオの祈り 1再入門 来住英俊 著

☆侍とキリスト …ザビエル日本航海記 ラモン・ピラロ 著 宇野和美 訳

副題「ザビエル日本航海記」が示すように実在のキリスト教伝道師が滞在していた日本を舞台にした、スペイン人ジャーナリストによる異色の時代小説。ザビエルの多数の書簡などを基に創作した。元禄期の将軍側用人柳沢吉保の家に伝わる「ザビエルという勇猛果敢な南蛮人の記録」をひもとく形で、ザビエルの2年3カ月に及ぶ日本布教の物語が、鹿児島、京都、山口などをめぐりながら展開する。 平凡社発行 税込定価2310円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092)811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心道具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大宮2丁目大名町カトリック教会1F
平日/AM10時~PM5時40分
日・祝E/AM11時~PM4時(祝日定休日)
TEL 092-741-3688 FAX 092-741-3661
URL http://www.pax-inc.jp



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い

『マタイによる福音書』

日時：11月20日(日) マタイによる「降誕物語」
講師：杉原寛信神父(新田原教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書週間特別講演会

日時：11月20日(日) 14:00～16:30
講師：和田幹男神父(大阪教区司祭)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州信徒協

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう
～希望 喜びをもたらすミサ～

第5回：10月16日(日)
イエスを知り、イエスを生き、イエスを伝えよう
大山 悟(日本カトリック神学院養成所)
会場：カトリック手取教会 13時半～16時半

「日常生活の中での諸宗教対話」

日時：10月11日(火) 10時～12時半
会場：カトリック大名町教会(託児あり)
講師：園田善昭神父(真命山 コンベンツアル 聖フランシスコ修道会司祭)
参加費：無料/主催：福岡地区婦人会
◆家族の中で1人カトリック信者です。
・夫に理解してもらうには、親戚との関わりは
・子どもの宗教教育は、お墓は？
\*一緒に考えてみませんか。

カトリック通信講座ご案内

どなたでも、いつからでも、どの講座でも、ご自分のペースでご受講いただけます。

<全7講座>
T001 キリスト教とは T002 聖書入門〔I〕
T003 キリスト教入門 T004 神・発見の手引
T005 聖書入門〔II〕 T006 幸せな結婚
T007 生きること・死ぬこと

受講料：T001～T004 4500円(教材費・税込)
T005～T007 5000円(教材費・税込)

<お申込み方法>
郵便局に備え付けの振替用紙にご希望の講座名・講座番号(T001～T007)をご記入のうえ、受講料を下記にお振込みください。
振替口座番号：00170-2-84745
加入者名：オリエンズ宗教研究所
●詳細はホームページ(http://www.oriens.or.jp/)
○e-mail:jimu@oriens.or.jp

募集

今、ここで、福音に生かされて・・・
在俗奉獻という生き方

日時 11月23日(水・祝) 10時～15時
場所 カトリック大阪梅田教会(サクラ ファミリア)
講 師 フィリッパ マッテウ神父[神言修道会]
対 象 女性信徒 / 会 費 1000円(昼食代含む)
申込み 11月10日までに 高崎恵子
TEL・fax 06-4398-2236
主 催 聖マリア在俗会
本 部 名古屋市昭和区南山町6番1
聖マリア在俗会(九州地区 地区長) 大山きよ子

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

ロザリオの月

案内板

会合と催し

10月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 10月

2日(日) 水巻教会「黙想の家に集い共に祈る会」
5日(水)～7日(金) 長崎純心聖母会
10日(月)～14日(金) 福岡教区邦人司祭黙想会
15日(土) 福岡チエナクルム
16日(日)～22日(土) サレジオ会黙想会
24日(月)～29日(土) 御受難修道会黙想会
29日(土)～30日(日) APジャパン研修
11月
1日(火)～3日(木) 防府教会婦人部黙想会
4日(金)～9日(水) 心のいおりキリスト者のための内観黙想会
5日(土)～6日(日) ゆふの会
11日(金)～12日(土) 北九州レジオマリエ黙想会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会と ともに祈る
・日 時：10月13日(木) 10時～14時半
・内 容：日曜日：主の日
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次 回：11月10日(木) 待降節 -1
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

バザー開催

▲10月23日(日) 高宮教会
▲10月23日(日) 南粕屋教会
▲10月16日(日) 大楠教会
▲10月16日(日) 茶山教会と幼稚園合同

■在世フランシスコ会集會
(日時) 10月16日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集會所

北九州

■北九州召命を共に祈る会
(日時) 10月6日(木) 14時から(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサとミレーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任) (問合せ先) 0949・24・9905 藤井
■水巻教会コンサート
(日時) 10月16日(日) 11時から12時(会場) カトリック水

熊本

■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 10月21日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) 新司祭の家訪問(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
■カトリック看護協会福岡支部の集まり
(日時) 10月9日(日) 14時30分(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr.竹内

2日(日) 年間第27主日/松島教会堅信式
4日(火) アシジの聖フランシスコ
6日(木) 常任司教委員会
7日(金) ロザリオの聖母/特別臨時司教総会
†J. ノーリス [2007年八代教会]
8日(土) マリスト学園創立50周年記念式典
9日(日) 年間第28主日/鹿島教会堅信式
†K. オマホニ [2003年荒尾教会]
10日(月) 教区司祭黙想会(黙想の家~14日) 体育の日
†E. ハトリック [2007年笹丘教会]
15日(土) FYCC9 (カテドラル大名町教会~16日)
16日(日) 年間第29主日/老司教会堅信式
†徳山登 [2000年門司港教会]
17日(月) 日力連理事會(沖縄~19日)
18日(火) 聖ルカ福音記者
19日(水) 十字架の聖パウロ
21日(金) コンフォルティ司教列聖式・巡礼(~29日)
23日(日) 年間第30主日/世界宣教の日(献金)
27日(木) †H. キニユ [2004年天神町教会]
28日(金) 聖シモン・聖ユダ使徒
30日(日) 年間第31主日/大楠教会堅信式
カルメル修道会荘厳誓願式
11月
1日(土) 教会行政・法制委員会(東京)
2日(日) 常任司教委員会
3日(月) 大分教区創立50周年記念
4日(火) 福岡教区カトリック学校理事長・校長会(久留米)
■ゴチックは司教日程

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：10月15日、11月5日、19日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾
■第54回福岡典礼聖歌研修会(日時) 10月2日(日) 14時から(場所) カトリック笹丘教会新聖堂(テーマ) 待降節の詩編を歌う⑨(講師) 深堀純氏(参加費) 感謝献金(事務局) ☎092・541・3730 松山

■美野島司牧センター
ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎週火曜日10時30分
●ホームレス支援夜回り
第一金曜日20時●路上からアパートに入居した方を訪問第三土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 コーシ神父
■カルメル会荘厳誓願式(荘厳誓願者) 日當瀬由紀さん(日時) 10月30日(日) 14時から(場所) 福岡女子カルメル会修道院聖堂(主司式) 宮原良治司教

佐賀

■佐賀祈りの集い
(日時) 11月5日(土) 10時半毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武
■小倉祈りの集い
(日時) 10月28日(金) 13時30分から(場所) カトリック小倉教会(指導) ガブリエル神父(御受難念) (内容) 『みことばを味わう』 賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209 松田

編集後記

震災のための祈りのリレー

(日時) 10月11日(火)
6時20分 ミサ聖祭～
19時 夕の祈り
(場所) カトリック笹丘教会聖堂
(問合せ先)
fr05abe19ko@yahoo.co.jp
Br. 阿部光一(パウロ会)
\*どの時間帯でも参加できます。

八代殉教祭

日時：11月6日(日) 14時から
場所：殉教地跡(八代市古城町)
主催：殉教祭実行委員会事務局
カトリック手取教会
実行委員長：牧山勝美神父
\*八代にはヨハネ南五郎左衛門、シモン竹田五兵衛など11人の殉教者がいます。殉教者の心を継承する主旨で準備しています。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

聖書
サンパウロ福岡宣教センター
TEL 092-884-0134
FAX 092-884-0134





宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区三  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

11月の意向  
教皇様の意向のために祈りましょう  
【一般】 東方カトリック教会と伝統  
【宣教】 アフリカ特別シノドス  
【日本の教会】 日本の新しい共同訳事業の推進

### 司祭生活の「ふりかえり」を勧める

黙想の家

10月10日(月)から、14日(金)にかけて、教区司祭黙想会が福岡黙想の家で行われた。指導司祭はイエズス会の英隆一朗神父。英神父は、キリスト時代のユダヤ人の生活環境とその背景にあるものから生きるキリストを語った。また、教区顧問弁護士の三浦啓作氏から「遺言の書き方」を学んだ。

想会に司祭33人が参加した。

指導司祭はイエズス会の英隆一朗神父。英神父は、キリスト時代のユダヤ人の生活環境とその背景にあるものに着目し、そこで生きてきたキリストを聖書から追ひ、キリストの思いと行いに近づくと、司祭生活の「ふりかえり」を勧めた。

指導する英隆一朗神父は、司祭はキリストを模倣すべきであり、生活を全てをキリストに預けるべきである。そのためにも、

10月10日の午後より、14日にかけて行われた教区司祭黙想会



### 東日本大震災「福岡教区・被災者支援室」

#### 東日本大震災支援ボランティアへ参加募集中

長崎教会管区(九州全教区)からの支援として、岩手県の久慈市に司牧支援に行っている伊東成晃神父様もお元気に信徒司牧や仮設住宅住民、病人などの訪問をなさっています。ボランティアとしてばかりでなく、この秋・冬にどこか旅行など計画なさる方は、東北などいかがでしょうか。現地の経済活性のお手伝いも復興につながります。

#### ボランティア募集の条件

- \*老若男女を問いませんが、20歳以上。
- \*心身ともに健康であり、健康管理が出来る方。
- \*基本的マナーを守り、集団生活を行える方。

#### 支援室連絡用

電話：092-522-5139 FAX：092-523-2152  
Mail：cdf-curia01@mbe.nifty.com

聖書の中のキリストとキリストの弟子たちの動きを追いながら、自分の生活に生かしていかねばならない。そこで、まず、現実の自分の「生活をふりかえり」ながら、キリストの生活に合致できるようにしよう、と幾つかの黙想の仕方を紹介しながら、聖書を用いて話した。

例えば、キリストの例え話の中で有名な「100匹の羊」では、見失った羊1匹のために全力投球して救おうとする羊飼いはキリストを指しているが、同時にそれは司祭の姿である。それについて、例えば、教会に来れない信者のために何らかの方法を考えて自らが近寄っていく必要がある。任された羊たちを大切に、心を砕く者でなければならぬ。

また、キリストは当時の宗教家である祭司や法律学者たちを批判したが、それは現在の司祭にも向けられていることを自覚する必要がある。司祭の「心構え」を論じた。終わりの方では、自身も影響を受けた東日本大震災に触れ、「何時、何処で災害があるか分からないので司祭も教会や地域のために役立てるような準備をしておく必要があるのではないか」と話した。

多くの機知に富んだ話に参加者は、「思いもしない所に着眼し、大変興味深い話だった」とか、「現実が即した話で生活の見直しが出来た」とか、「霊的生活にも多くの示唆を頂いた。今後の生

### 『教会の明日に向かって』教区信徒協が一日研修

サプテマは「福音宣教師と実践」。教区信徒使徒職協議会は3年連続となる研修会を9月23日(金)大名町教会で森一弘司教を招き開催。当日は予想を大幅に超える280人が各地から参加。



基調講演をした森司教は、ナイス1(第1回福音宣教師進全国会議)後に日本カト

また、3日目は、教区組織で設けられた「教区本部会議」が行われ、いよいよ新しい歩みが始まった様相を見せていた。

今回の黙想会には、他教区

### 時の話題

#### 杉原寛信神父

2〜3ヶ月に1度、蜂蜜を買いに行った養蜂店。ある日、店のシャッターが閉じられていた。何度行っても閉まっている。店先でいつも対応してくれていたおばあちゃん。印象に残っている最初の言葉。『どこかで見たことのある人だ』だった。私の方は全く面識なし。いつも15分、時には30分の世間話。毎回おばあちゃんの方から、自分の生年月日を教え、子供

時代のことを話し聞かせてくださった。繰り返し聞かされたので、生年月日も、子供時代のこともはっきりと記憶に留めることになった。それからは店を訪れる度に、私の方から『おばあちゃんの生年月日は、』

たようだ。今、思う。私に、生年月日と子供の頃の思い出を託されたのではないかと。蜂蜜を食べる空になったビンの中に、別の蜂蜜を詰め直した。おばあちゃんの話と生年月日と子供の頃の話をフタを開け、おばあちゃんの話と子供時代の話を思い出し味わい、永遠の安息を祈らせていた。昭和12年11月30日、おばあちゃんの誕生日。頼まれているが、この11月30日に、永遠の安息を願ってミサを捧げたい。

交通安全管理講習会での名誉教授のお話。『紳士』というのには、勇気のある人であり、教養のある人であり、社会奉仕をしている人であり、そのどれが欠けてもならない。勇気のある人とは、不正なことと戦う人であり、弱い人を支える人である。教養のある人とは、単に知的に豊かな人と違うのではなく、相手の立場に立って物事を考えられる人であり、相手の思っていることを汲み取ってあげられる人である。社会奉仕をしている人とは、人の為に役だっている人のことである。更に、『婦人』とは、やさしく、慈しみ深い人のことである。あんなに身分の高い人が、トイレに行こうとした。ドアには「婦人」と記してあった。その人はなぜかトイレに入らなかった。おそらく、『婦人』ではないと自分が思ったからだろう。最近では本物の紳士、婦人がいるのだろうか。格好だけはいいのものの、内側は安っぽく、薄っぺらの様な気がする。利己的、排他的であって、考えがなく、自分よがりな人が多い。こんな所でそんな話をなせるのだろうかと思っただけ、よく考えてみると、規則を守り、自分中心ではなく、周りのことも考えてあげ、やさしい運転をすることは安全につながるのだということに理解できる。この紳士と婦人というのは、見方によっては、イエス様とマリア様を表しているようにも思える。ご両人のその姿は聖書が語ってくれている。私たち信者も本物の紳士、婦人となるべく、イエス様、マリア様に倣っていききたい。そして安全、安心の霊的旅程を導いていただきたいと思う。(S)

### 大分・広島両教区に新司教誕生

#### 前田万葉新司教

広島教区にも9月23日、新司教が誕生した。

トマス・アクイナス前田万葉新司教も長崎出身。

1949年3月3日上五島生れ。1975年3月19日司教叙階。2006年4月、カトリック中央協議会事務局長であった。

司教叙階式で「仕えられたためではなく、仕えるために」をモットーとして宣教に励みたい、と語った。

#### 浜口末男新司教

6月26日(日)、パウロ浜口末男新司教の叙階式が大分県別府ビーコンプラザで行われた。

新司教は1948年8月1日生れの長崎教区出身。

1975年3月19日司教叙階。2005年4月から高松教区に派遣され事務局長職にあった。

「福音を述べ伝えること」をモットーにする大分教区民に親しく語りかけた。



### ワールドユースデー in マドリード



**WYDを振り返る**  
私にとってWYD in Madridは「自分と向き合い、人を介してキリストと出会う旅」でした。マドリード、そして宿舎について、緊張とワクワクが同時にありました。私にとっても深く心に残ったのは、赦しの秘跡と十字架の道行でした。

十字架は内戦で苦しむアフリカの青年や、体の不自由な人など、苦境にある参加者の代表が交代で担ぎながら進みました。最後の14日は、大震災で深刻な打撃を受けた日本とハイチの若者たちによって担がれました。14の場面を表した彫刻群(パソ)とその場面に合わせたテゼなどの音楽がよりいっそうキリストの愛を強く感じることができました。

赦しの秘跡があった日は特に聖堂でしっかりと自分を見つめる時間を取ることで、また自分が願う神父様のもとで秘跡を受けることができました。このとき、私は本当に心から赦していただいたことを感じ、救われて新たな気持ちになることができました。とても感動したのを覚えています。

期間中、街を歩いたときも、野宿の時も、これだけ多くの人がキリストを信じて集まっているのだという心強さと喜びを感じました。この感動をいつまでも終わらせないように、参加者か否かの枠を超え、教区も、さらには国も超え、さまざまな場所でもさまざまな出会いがありました。

私には、スペインで『巡礼』という形を通して、その出会いの形もたまたま喜びに気づかされたのですが、日本に帰ってきて報告会の準備に奔走したり、それを通して色々な方とお話をしたり、また世界的規模で「今は今なにをしているよ」という報告を聞くにつけ、「ああ、あの出会いというものは一時的なものではなく、もったんだ」と強いつながりを感じます。

そして、自分たちの軌跡を一生懸命に振り返る作業の中にも、一歩一歩確実に前に進んでいる感覚、これはまさに『巡礼』に他ならない、と思います。

スペインで、「あなたたちの歩く姿がなにより福音宣教です」という言葉がある地方の市長から頂いたことがあり、自分たちの信仰の灯をもっと明るくしつつ、この体験を通して得たことを還元していきたいです。

黒崎教会青年信徒 有吉 優里

**これから続く「巡礼」**  
今、私たちはそれぞれの心に

**ちょっと一息**

**\*効能より項目多い副作用**  
**\*再就職弁当を持つクスリ持つ**

坂牧春妙 深堀正平

### 2010年(平成22年)度 福岡教区本部 資金収支計算書

《収入の部》	決算	摘要
科目		
(宗教活動収入)	108,432,913	
【援助金収入】	24,206,441	
神学校援助金	24,206,441	神学校後援会費(月、1口300円)
【寄付金収入】	31,784,570	
一般寄付金収入	22,382,000	ザベリオ宣教会、コロバン会
指定寄付金収入	3,935,800	
司祭寄付金収入	5,466,770	
【特別献金】	62,700	
広報活動献金	62,700	
【分担金収入】	52,379,202	
小教区分担金収入	42,449,579	教会維持費、ミサ献金の総額15%
幼稚園分担金収入	4,066,470	
建設分担金収入	90,000	
租税分担金収入	2,894,653	
その他分担金収入(資産運用収入)	2,878,500	
受取利息収入	42,092,663	預金利息、投資運用分配金など
雑収入	32,367,753	
電柱敷地料	9,521,910	
資産利用料収入	132,000	
(繰入金収入)	71,000	
小教区会計繰入金収入	5,239,000	
教区内貸付金回収収入	1,539,000	
【小計】	3,700,000	
【前期繰越収支差額】	155,764,576	21年度教区報参照
【収入合計】	11,858,842	
	167,623,418	
【指定献金】	17,245,993	
児童福祉献金	3,057,534	1月最後の日曜日
四旬節愛の献金	3,246,898	四旬節中
聖地エルサレム献金	877,936	聖金曜日
広報の日献金	1,373,598	復活節第6の日曜日
聖ペトロ使徒座献金	1,315,007	聖ペトロ使徒パウロ使徒の祭日の直前の日曜日
世界難民移動献金	1,528,863	9月の第4日曜日
世界宣教の日献金	1,450,770	10月の最後から2番目の日曜日
宣教地司祭育成献金	1,525,093	12月の第1日曜日
カテドラル献金	552,142	4月13日に近い日曜日
臨時指定献金	2,318,152	

《支出の部》	決算	摘要
(宗教活動支出)	156,168,841	
【教区宗教活動費】	52,816,255	
祭儀行事費	2,050,917	黙想会謝礼・葬儀・叙階式
司祭研修会費	5,017,769	黙想会等
委員会活動費	412,031	
宣教広報費	4,001,287	教区報・写真代他
布教教化費	123,890	
布教活動費	381,740	
教育育成費	13,624,058	信仰教育・聖書委員会等
図書資料費	527,603	
会議費	10,200	
諸会費	510,835	教誨師会他 教誨
寄付金支出	7,400,000	
諸団体納付金支出	6,100,000	
神学生養成費	12,655,925	大神学院分担金
【助成金支出】	6,273,260	
小教区助成金支出	6,273,260	
【管理運営費】	31,285,975	
消耗品費	1,430,098	
通信費	1,465,031	
旅費交通費	2,782,365	職員交通費、高速代、JR・航空運賃等
自動車諸費	1,279,171	
水道光熱費	3,548,036	
交際接待費	341,962	
営繕修理費	497,190	
賃借料	2,939,002	
報酬委託手数料	10,283,873	会計事務所、弁護士、労務士、日本語教師等
租税公課	4,682,700	消費税、法人税、市民税、固定資産税等
損害保険料	1,997,945	
雑費	38,602	
【人件費】	65,793,351	
司祭給与	27,104,000	14名分
職員給与	32,361,700	職員・パート(助祭、プザ、シスター含む)
法定福利費	6,045,926	
福利厚生費	281,725	
(資産運用支出)	1,690,689	
支払手数料	1,690,689	
次年度繰越金	9,763,888	
【支出合計】	167,623,418	

**来住英俊神父による待降節の黙想**

①12月10日(土) 17:00~11日(日) 15:00  
テーマ: ディケンズ『クリスマス・キャロル』を読む  
費用: 全日程9,000円 通い(1日2,000円+食費)

②12月14日(水) 10:30~14:30(ミサ15:00~希望者のみ)  
テーマ: マタイによる降誕物語を読む  
費用: 2,000円(昼食1,000円別)

**カトリック福岡黙想の家**  
カトリック御受難修道会・宗像修道院  
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385  
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

**ミサ用ワイン**

PRAYER GROVE MUNAKATA

ワイン デ ミサ  
**VINO DE MISA**  
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

**草苑** (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。  
**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5



### 熊本マリスト学園創立 50 周年を祝う

10月8日(土)、熊本マリスト学園は創立50周年を迎え、宮原司教をはじめ多くの来賓



フランス人シヤンパニヤ神父が青年のキリスト教的教育を目的として創立したもので、全世界で各種の学校を営んでいる。熊本マリスト学園は、

の列席のものと、祝福のうち記念式典が執り行われた。熊本マリスト学園は1961年、ニューヨーク管区マリスト教育修道士会によって創立された。マリスト教育修道士会は、1818年

9月25日(日)、今村教会にて、司祭叙階金祝・銀祝を祝う集いが催された。今村教会出身の平田敬神父(佐賀教会主任)が金祝を、青木悟神父(健康教会主任)と平田三好神父(二日市教会主任)が銀祝を迎えたのである。



### 今村教会で司祭叙階金祝・銀祝の祝い

「私たちは皆、主のぶどう園に遣わされている。しかし、そのぶどう園を豊かに整えてくださったのは神様ご自身であることを思い出すことが大切。神様は私たち一人ひとりに、『息子よ、今日、ぶどう園に行つて働きなさい』とお召しになっている」と熱く語った。

今日の典礼は、今村教会から一人でも多くの召し出しが与えられるようにとの思いから、聖書朗読や奉納は勿論、すべて子どもたちが担当した。答唱詩編は子どもの独唱で、聖堂に響くその美しい声は埋め尽くす会衆を魅了した。

ミサの後、信徒会館で祝賀会が行われた。叙階記念の3人の司祭に今村教会主任司祭岩崎康彦神父と地区長の下町豊重神父も加わり、喜びを共にした(写真)。

今村教会には現在、福岡教区の列席のものと、祝福のうち記念式典が執り行われた。熊本マリスト学園は1961年、ニューヨーク管区マリスト教育修道士会によって創立された。マリスト教育修道士会は、1818年

### 4人のシスターが誓願50周年

区小神学生の萩原直人君(中学3年)がいるが、来年も中学校への入学希望者がいるとのこと。当日は3人の司祭の



9月19日、聖心のウルスラ宣教女修道会(福岡市南区塩原)では、シスター藤光八重子、シスター入江富美子、シスター伊東幸子、シスター井川ソヨ子の4人のシスターが誓願50周年を迎えた。

宮原良治司教主司式、松井忠之神父共同司式による誓願のシスターは、50年前の初誓願は、「創立期はまだ体育館もなく、グラウンドも整備されていず、当時の先生方や生徒達の並々ならぬ努力と苦労の上にマリストの地盤は固まってきました。50年の歴史は決して順風満帆であったわけではありませんが、苦難を乗り越えてこれたのは、神様のお恵みと導き、そして福岡教区民の支えだと思ひ、今日を恵みの節目と感じています。現在、日本は東日本大震災・台風被害・長引く不況と、長い闇の中にあります。この闇を照らす世の光りとなる人物をどのよう

に育て、世に送り出していくか。新たに、創立の時のブラザー方の精神を引き継がれ、熊本マリスト学園のミッションスクールとしての真価が問われていると思ひます」と語った。



50周年記念ミサが修道会聖堂にて参加者60人の中で荘厳に捧げられた。ミサ中の説教で宮原司教は「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いです(ルカ1章45)。この聖書の言葉は4人のシスターに一番ふさわしい言葉ではないでしょうか。慈しみ深い全能の方に出会い、わたしについてきなさい。と言う招きに主を信じて素直に従い、生涯を主に委ね続けてこられた4人のシスターは幸いです。修道生活は24時間あますところなく、一部分でなく全面的に捧げつくす、神について行く、それが奉獻です。50年そこに崇高さと尊さがあります。」と語りかけた。

### 福岡教区地区婦人会の諸宗教対話

「キリストに学び、家庭の現実を目を向けよう」を年間テーマとするカトリック福岡地区婦人会が10月11日(火)、大名町教会で研修会を開催した。講師は、真命山の諸宗教対話霊性交流センターの園田善昭神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)である。

福岡教区のテーマでもあるこの内容について研修する動機は、変動する現代社会の中に揺らいでいるという委員の思いからである。テーマ検討委員会で、自分の家族の中、また身近な人の中で困っている事などを出し合った中から、「仏教徒の家庭に育ち、実家で仏教や神道で宣立した「聖霊の恵み」とおとめマリアの助けに支えられ、教会の中で完全な愛のうちに神に奉仕して生きるため、より一層キリストに従い、

### 召命を共に祈る会

1997年に有志の司祭の呼びかけで始まったこの集いは、大神学校で行われる木折区「召命を共に祈る会」として続けている。今回福岡地区の祈る会では、下記の場所で行うことになった。参加希望者は連絡が必要です。日程：11月14日(月) トラピスチン安心院の聖母修道院巡礼問合せ先：0942・32・8011(浦川神父)

「創立期はまだ体育館もなく、グラウンドも整備されていず、当時の先生方や生徒達の並々ならぬ努力と苦労の上にマリストの地盤は固まってきました。50年の歴史は決して順風満帆であったわけではありませんが、苦難を乗り越えてこれたのは、神様のお恵みと導き、そして福岡教区民の支えだと思ひ、今日を恵みの節目と感じています。現在、日本は東日本大震災・台風被害・長引く不況と、長い闇の中にあります。この闇を照らす世の光りとなる人物をどのよう

に育て、世に送り出していくか。新たに、創立の時のブラザー方の精神を引き継がれ、熊本マリスト学園のミッションスクールとしての真価が問われていると思ひます」と語った。

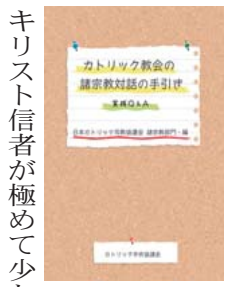
園田神父はまず、「日常生活の中でどのように諸宗教対話を続けていくかということ。隣人愛がキリスト教の根本精神ですから思想信条に関係なく、隣人である人々に、特に悩めるひと、弱い人、社会的・経済的に苦しい人々に仕えること、そしてそうした自分自身も神様の前に身も心も清く保つ事」として「諸宗教対話の『心』、それは聖母マリアが聖エリザベト訪問で喜びを伝えたように、『心を尽くして神を愛する心』を伝える事」と話した。

家族の中で宗教が異なる信徒の疑問、冠婚葬祭・初詣・地域の祭り・神輿・新築の時、神社仏閣に参列する時など、具体的な事例をあげ解説。また、カトリック教会は、他の宗教の中にある「真実で尊いもの」について積極的に認めている事。滞日外国人の方々が信じる諸宗教も、そこで生きておられる人々としてその宗教を理解していかねければならない、と語った。

さらにキリストに深く一致することを約束いたします。」と、燃える灯であるローソクを手に新たな心で感慨深く誓願更新をおこなった。



☆カトリック教会の諸宗教対話の手引き Q&A 日本カトリック司教協議会 諸宗教部門 編



キリスト信者が極めて少ない日本では、カトリック信者がさまざまな宗教の人とかかわり、他宗教の行事に参加する機会も多々あります。その際に感じる疑問や戸惑い、それら種々の問題に答えるべくまとめられたのがこの手引き書です。

カトリック中央協議会発行 税込定価 903円 ☆心のシルクロード―神父と僧侶の往復書簡 A・アレグリーノ 井手恵 共著

不動産全般/売買・賃貸・管理 何でもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリアケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 R.C工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

木との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA









宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区三  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

12月の意向  
【一般】相互の理解と尊敬  
【宣教】福音の使者である子どもと若者  
【日本の教会】日本の観想修道会への援助

### 「熊本地域諸宗教対話研究会で成功を祈る」

諸宗教部

10月23日(日)、島崎教会において第66回熊本地域諸宗教対話研究会例会が開催された。顧問のS・フランコ神父(真命山院長)は例会の始めに、10月27日(木)教皇と世界の諸宗教者がアッシジに集い開催する「世界平和祈禱集会」についてその主旨や意義を紹介し、参加者でその成功を祈った。その後、9月に諸宗教対話担当に任命された司祭の紹介等が行われた。

シジの聖フランシスコの平和の祈りで始まった。講話の中で、フランコ神父は、「教皇ベネディクト16世は、本年10月27日、アッシジで『世界平和のための省察・対話・祈りの日』をテーマに、平和祈禱会を催されま

す。その祈りに与る意図で、今ここにわたしたちも集まっています」と、今回の研究会の意義を強調した。また神父は、「宗教は決して暴力の動機であってはならず、信仰と諸宗教間対話は平和の基礎でなくてはならない」と語っていることも紹介した。続いて、「世界平和のための祈禱会」の歴史的推移とそ



10月23日(日)、午後2時より島崎教会(熊本市)において開催された第66回熊本地域諸宗教対話研究会は、アッ

シジの聖フランシスコの平和の祈りで始まった。講話の中で、フランコ神父は、「教皇ベネディクト16世は、本年10月27日、アッシジで『世界平和のための省察・対話・祈りの日』をテーマに、平和祈禱会を催されま

第2の講話では、1986年以来毎年行われている「世界平和のための祈禱会」へ毎年出席しているsrマリア(真命山)が、本年9月にミュンヘン(ドイツ)で「共存する

### 小郡カトリック幼稚園創立50周年を祝う



11月13日(日)午後、学校法人福岡カトリック学園・小郡カトリック幼稚園は創立50周年を祝って、小郡文化会館にてシスター渡辺和子氏(ノートルダム清心学園理事)による講演会を催した。

上惣一神父(光丘教会主任)が挨拶した。川上神父は、「地

域の行政と皆様の要請を受け、小郡の地に開設させてもらった小郡カトリック幼稚園が50周年を迎えることができました。温かく見守り、支えてくださった皆様への感謝とその恩に報いたい、そして子ども達の幸せや情勢不安の中で過ごしておられる方々の幸せの助けとなればという気持ちからこの講演会を企画しました」と語った。

続いて、小郡市長から丁寧な祝辞が述べられた。講演会ではシスター渡辺和子氏が「幸せのありか」と題して、「誰しも、今よりよい生活が出来るならと思いい、自分の幸せのために懸命になるが、自己を離れて、他者のため

の幸せを祈り、他者の役に立つように自己奉仕する者が

学園のクリスマスは生徒職員総出で準備しお祝いする。神の「いのち」の誕生の受け皿として選ばれたマリア様の「はい」と言う受諾のお陰でわたし達はキリストの愛

を知り、神のあふれるほどの恵みに満たされて生きていく。マリア様の「はい」は主のはためです。お言葉どおり、この身になりまますように(ルカ1:38)は世界中に幸せ、希望、喜び、愛をまき散らした。それは世界中がお祝いするこ

降誕に繋がっている。エリザベトはマリア様の訪問を受けた時、「あなたは女の中で祝福された方、胎内のお子さまも祝福されています。主がおっしゃったことは必ず成就すると信じた方はなんと幸いです。どうぞお祈りください。」(ルカ1:43)と語っています。ク

の君「イエスのご誕生、クリスマスのご喜びにも与れなかつたでしょう。わたくしは、いつも神の呼びかけに心の耳を傾け、マリア様のよう、誰からか何か頼まれたら、いつでも、どこでも「はい、わたしでよろしければさせていただきます。」と応えるよう努力している。難しいことに出会ってもその言葉を口にした途端平和と喜びに満たされる。それはきつと、イエス様とマリア様の「大丈夫よ。あなたと共にいます」と言う囁きの証。その囁きでわたしの心に毎日イエス様がお生まれになる。毎日がクリスマスである。カノッサ修道女会

長い間待ちこがれていたキリストの誕生。世界中でお祝いするその日。でも一般の人はその意味内容を知ろうとはしない。ただパーティができればそれでいい。ただその日はみんなやさしい気分になる。戦争さえも停まってしまう。さて、生まれて来たのは神の子である。神の子は人として成長し、人の在り方を教え、自らの言葉のままに生きていった。そして人の為に死に、人の為に復活の偉業を果した。彼は、かつて神から離れてしまった人を再び神の元に呼び戻した。神と人との和解を命がけて成し遂げたのである。彼は平和の使者であり、「平和の君」と謳われるようになった。彼は人々の間に平和をもたらしたのである。ある教皇はその著書の中で、「平和は真理と正義と愛と自由を必要とする」と語っている。真理の裏返しは嘘、偽りの世界、正義の反対は不正、不義の世界、愛の反対は無関心、無理解、無視の世界、そして自由の裏返しは放縱、無責任の世界と云うことが出来る。それらの世界には平和は存在しないことになる。神の子イエスは「私は真理であり、(正しい)道であり、命である」と話した。その人そのものであり、愛を訴え、愛に生き、(悪に捕われずに)自由に、責任ある行動をされた方である。彼がもたらした真の平和を社会が受け入れてくれるように願う。クリスマスは時だけ戦いを止めるのではなく、普通に争い事がないように願う。家庭の平和、共同体の平和、世界の平和はすぐ近くに来ているのだが...

ザベリオ宣教会創立者  
ガイド・マリア・コンフォルティ司教列聖



去る10月23日、聖ザベリオ宣教会の創設者ガイド・マリア・コンフォルティ司教、他2人の列聖式が聖ピエトロ大聖堂広場で行われ、式典のために世界中の国々から約3万人の人々が集った。

日本からは、九州44人と関西から総勢104人が参加。一行は列聖式に続き、翌日サン・パウロ・フォーリー・レ・ムーラ大聖堂で記念式典・終生誓願式、アッシジなどを巡礼、出身地のパルマ大聖堂で列聖感謝ミサに与った。

その後、各国から集まった約700人と会食、それぞれの出し物の披露、会場が盛り上がる中、日本からは、マン二管区長のメッセージ性の高い震災支援へのお礼から始ま

「お年を感じさせないしつかりとした口調で話され、希望を与えてくれるお話で、本当に心洗われる思いでした」などと話していた。

庄迫骨折と風邪を押して壇に立ったシスターの姿には威厳と美しさがあり、魅力的であった。講演の後で、園長の御礼の言葉と園児からの花束贈呈があった。

尚、1962年(昭和37年)に開設(初代園長青木保

司祭人事  
▼養成教化委員会家庭養成部  
大塚了平(9月1日付)  
▼若松教会主任 中村彰(戸畑教会兼任)  
▼飯塚教会主任代行 杉原寛信(新田原教会兼任)  
▼茶山教会主任代行 S・リチャード(浄水通教会兼任)

ほんとうのクリスマスは教会で!!  
一人ひとりの心の中にお生まれになる  
イエスさまありがとう!  
クリスマスには、ご家族でお近くのカトリック教会にお出かけくださいませんか!  
カトリック福岡教区

11月13日(日)午後、学校法人福岡カトリック学園・小郡カトリック幼稚園は創立50周年を祝って、小郡文化会館にてシスター渡辺和子氏(ノートルダム清心学園理事)による講演会を催した。講演会に先立ち、園長の川上惣一神父(光丘教会主任)が挨拶した。川上神父は、「地

域の行政と皆様の要請を受け、小郡の地に開設させてもらった小郡カトリック幼稚園が50周年を迎えることができました。温かく見守り、支えてくださった皆様への感謝とその恩に報いたい、そして子ども達の幸せや情勢不安の中で過ごしておられる方々の幸せの助けとなればという気持ちからこの講演会を企画しました」と語った。

続いて、小郡市長から丁寧な祝辞が述べられた。講演会ではシスター渡辺和子氏が「幸せのありか」と題して、「誰しも、今よりよい生活が出来るならと思いい、自分の幸せのために懸命になるが、自己を離れて、他者のため

の幸せを祈り、他者の役に立つように自己奉仕する者が

長い間待ちこがれていたキリストの誕生。世界中でお祝いするその日。でも一般の人はその意味内容を知ろうとはしない。ただパーティができればそれでいい。ただその日はみんなやさしい気分になる。戦争さえも停まってしまう。さて、生まれて来たのは神の子である。神の子は人として成長し、人の在り方を教え、自らの言葉のままに生きていった。そして人の為に死に、人の為に復活の偉業を果した。彼は、かつて神から離れてしまった人を再び神の元に呼び戻した。神と人との和解を命がけて成し遂げたのである。彼は平和の使者であり、「平和の君」と謳われるようになった。彼は人々の間に平和をもたらしたのである。ある教皇はその著書の中で、「平和は真理と正義と愛と自由を必要とする」と語っている。真理の裏返しは嘘、偽りの世界、正義の反対は不正、不義の世界、愛の反対は無関心、無理解、無視の世界、そして自由の裏返しは放縱、無責任の世界と云うことが出来る。それらの世界には平和は存在しないことになる。神の子イエスは「私は真理であり、(正しい)道であり、命である」と話した。その人そのものであり、愛を訴え、愛に生き、(悪に捕われずに)自由に、責任ある行動をされた方である。彼がもたらした真の平和を社会が受け入れてくれるように願う。クリスマスは時だけ戦いを止めるのではなく、普通に争い事がないように願う。家庭の平和、共同体の平和、世界の平和はすぐ近くに来ているのだが...



司教団  
メッセージ

### いまずぐ原発の廃止を 福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして

原発については、国民一人ひとり、また、様々な立場からその是非について議論されています。採算がとれるかどうかといった経済的な立場、子どもたちの健康や市民生活の安全を守る立場、国際競争力を保持しようとする立場など…。しかし、カトリック教会は原発の是非に関する問題は倫理的な問題、人間の命の問題でもあると考えます。また、私たちはすべての人と連帯して、神の被造物である自然や環境、すべての生命を保護していく責任を持っています。以上の二つの立場から、宗教者として原発の是非について発言する責任を果たしたいと考えています。このメッセージは、日本のカトリック信徒だけでなく、日本に住むすべての人々に向けた呼びかけとしました。

### 日本に住むすべての皆様へ

東日本大震災によって引き起こされた福島第一原発の事故により、海や大地が放射能に汚染され、多くの人々の生活が奪われてしまいました。現在でも、福島第一原発近隣の地域から10万人近くの住民が避難し、多くの人が不安におびえた生活を余儀なくされています。

原子力発電の是非について、わたしたち日本カトリック司教団は『いのちへのまなざし—21世紀への司教団メッセージ—』のなかで次のように述べました。「核エネルギーの開発は」人類にこれまでにないエネルギーを提供することになりましたが、一瞬のうちに多くの人々のいのちを奪った広島や長崎に投下された原子爆弾やチェルノブイリの事故、さら

に多くの人々のいのちを危険にさらし生活を著しく脅かした東海村の臨界事故にみられるように、後世の人々にも重い被害を与えてしまうことになるのです。その有効利用については、人間の限界をわきまえた英知と、細心の心に心の注意を重ねる努力が必要でしょう。しかし、悲劇的な結果を招かないために、安全な代替エネルギーを開発していくよう希望します。(1)

わたしたちカトリック司教団は『いのちへのまなざし』で、いまずぐに原発を廃止することまでは呼びかけることができませんでした。しかし福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして、そのことを反省し、日本にあるすべての原発をいまずぐに廃止することを呼びかけたいと思います。

もありません。しかし、なによりまず、わたしたち人間には神の被造物であるすべてのいのち、自然を守り、子孫により安全で安心できる環境をわたす責任があります。利益や効率を優先する経済至上主義ではなく、尊いいのち、美しい自然を守るために原発の廃止をいまずぐ決断しなければなりません。

新たな地震や津波による災害が予測されるなか、日本国内に54基あるすべての原発が今回のような甚大な事故を起こす危険をはらんでいます。自然災害に伴う人災を出来る限り最小限に抑え止めるためには原発の廃止は必至です。

このメッセージにある「悲劇的な結果」はまさに福島第1原発事故によってもたらされてしまいました。この原発事故で「安全神話」はもろくも崩れ去りました。この「安全神話」は科学技術を通じ、「人間の限界をわきまえる英知」を持たなかったゆえに作りだされたものでした。

原発はこれまで「平和利用」の名のもとにエネルギーを社会に供給してきましたが、その一方でプルトニウムをはじめめとする放射性廃棄物を多量に排出してきました。わたしたちはこれらの危険な廃棄物の保管責任を後の世代に半永久的に負わせることになりま

す。これは倫理的な問題として考えなければなりません。これまで、国策によって原発が推し進められてきました。その結果、自然エネルギーの開発、普及が遅れてしまいました。CO2削減のために、自然エネルギーの開発と推進を最優先する国策に変えていくようにわたしたちは訴えます。また、原発は廃炉にするまで長い年月と多くの労働が必要になります。廃炉と放射性廃棄物の処理には細心には細心の注意を払っていかなければなりません。

た文化と知恵と伝統があり、神道や仏教などの諸宗教にもその精神があります。キリスト教にも清貧という精神があります。そして、わたしたちから求められる生き方、つまり「単純質素な生活、祈りの精神、すべての人々に対する愛、とくに小さく貧しい人々への愛、従順、謙遜、離脱、自己犠牲」(2)などによって、福音の真実なあかしを立てる務めがあります。わたしたちは、たとえ節電に努める場合も、この福音的精神に基づき単純質素な生活様式を選び直すべきです。(3)またその精神を基にした科学技術の発展、進歩を望みます。それが原発のない安心で安全な生活につながるでしょう。

### 風化させてはいけない 東日本大震災



### 聖マリア学院大学 ボランティア報告会

11月12日・13日の両日、久留米市の聖マリア学院大学では学院祭が開催され、その中で被災地ボランティア報告会が行われた。両日で約130人が来場。報告会は9月2日〜9月7日まで仙台教区サポートセンター釜石ペースで

のボランティア活動に参加した学生5人が中心となって企画。学生達は被災地で見えた光景や出会った人々のことを振り返り、報告会では被災地のことを忘れないでいるためにできることの実践を目指した。

### 教区災害支援室

準備は12月12日(土)に大槌町に開設されました。今月中には宿泊可能になります。参加者が減少しているため、ボランティアの募集も厳しくなっています。被災地でのボランティア参加者には、往復の交通費に加え、2週間以上のボランティア参加者には、全額負担の交通費を支援します。詳しいことは、支援室の松井忠之神父にお尋ねください。ボランティアは老若男女問わず募集しています。

◆支援室連絡用  
電話：092-522-5139  
F：092-523-2152  
Mail：cdf-curia01@mbe.nifty.com

震災発生時に撮影されたDVD鑑賞を行い、小グループに分かれて各人の思いを語り合った。写真洗浄を体験した家族は、「被災地のために何かをしたい」と思っている。実際に取り組めることがなかなか見つからなかった。今回はいい機会をいただいた」と語った。

小グループでの分かち合いでは、被災地へボランティアや仮設住宅建設のために赴いたことのある人や、震災による被害や被災地を思い、心を痛めている人がその心情を分かち合うことができ、終了時間が来て話も尽きない様子であった。

### 八代殉教祭に450人



11月6日、八代殉教祭が殉教の地・麦島を会場に行われ、激しく降る雨の中、地域の人を含むおよそ450人が集い、記念ミサを通して11人の福者に祈りを捧げた。今回は「熊本地区殉教祭実

行委員会」が組織され、3人の司祭と小教区の代表たちが1年以上かけて練った計画が実行に移された。県下のほぼ全ての小教区が応援に駆けつけて、準備が進められた。会場は小西行長が築いた城跡にほど近い。散り残った桜葉が雨に打たれ、晩秋のたたずまいの中にテントが張られ、祭壇が置かれた。ミサに先立ち、八代市立博物館の学芸員鳥津亮二氏が、麦島の地、八代の殉教の歴史の意味を市民の目から解き明かした。

宮原司教は説教の中で、周りの音、風、香りに注意を向けるよう促し、殉教祭を行う意味はこの現実の世で証することと述べ、「証とは地域の

この日、川添猛師作詞、岩下周二氏作曲の「八代殉教者賛歌」が披露され、当時の状況を想起させながら、静かに流れた。

人に喜ばれ、誇りに思ってもらえる存在になること。この麦島の地は希望の地、最高の幸せを約束する地です」と説いた。そして、4年前に上演されたオペラ「アグネス」に触れ、「八代市民は、麦島が世界に誇れる地、ここでの出来事は世界に自慢できると敏感に感じ取り、反応した。こうした人々が新しい風を起してくれたい」と、出席した市民に温かい言葉を贈った。その上で全出席者に「麦島を世界に誇れる巡礼地、聖地にしてほしい」と呼びかけ、そのための協力を依頼した。

**来住英俊神父による待降節の講話**

一泊黙想会 費用：全日程 9,000円 通い(1日2,000円+食費)

①12月10日(土) 17:00~11日(日) 15:00  
テーマ：ディケンズ『クリスマス・キャロル』を読む

②12月17日(土) 17:00~18日(日) 15:00  
テーマ 「神は人となられた」

**カトリック福岡黙想の家**

カトリック御受難修道会・宗像修道院  
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385  
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

**ミサ用ワイン**

ヴィノ デ ミサ  
**VINO DE MISA**  
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

**草苑** (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。

**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5

一息  
最後まで母に教わることがあり  
詩ごころわたしにくれたちひろの絵 深堀正平  
坂牧春妙



子ども聖体行列と信徒発見返礼巡礼 今村教会

稲刈りも終わり、秋も深まった10月最後の日曜日、今村教会では今年も聖体行列が行われた。来年2月26日の今村教会信徒発見145周年を控えて、今年度の聖体行列は信仰の継承を願い、信仰教育の一環として、小・中学生の手による聖体行列が雨天のため、聖堂内で行われた。

まず、子ども達は夏の子ども黙想会で「今村信徒発見」について学んだ。1865年3月17日の長崎信徒発見から二年後の1867年、大浦天主堂のローケイ神父の調査

10月30日、福岡カルメル修道会は、今年2回目の喜びの日を迎えた。宮原司教主司式、男子跳足カルメル修道会九里神父(管区長)・糸島教会竹内英次神父・明石健次神父(東京大神学校)・名古屋日比野教会山口神父(カルメル会)の共同司式により、ルルドの聖母マリア・ベアトス・ノエルSr.日當瀬由記さんの荘厳誓願宣立ミサがカルメル会聖堂において執り行われた。



「祈り」で結ばれたカルメル会荘厳誓願宣立式

式の一時間前からロザリオの祈りが捧げられた。荘厳誓願宣立の後、Sr.日當瀬の「これからは皆様のお祈りのお支えを」という初々しい挨拶には、温かい大きな拍手が沸き起こった。



東京・福岡両キャンパスの神学生が勢ぞろい

その姿に、両親は日比野教会で受洗。「祈りによって世の中を変えたい」とカルメル会に入会して6年、修練期を経て今日の日を迎えた。「一番安心な方に付き添われて旅立つのだから(トビト記)という中川神父様(カルメル会)の言葉に励まされてきました」という母親の言葉には、Sr.日當瀬への深い思いが込められており、印象的であった。晩秋のカルメル山の静けさの中、祈り、捧げるカルメリットの新たな旅立の日であった。(友の会記)

中、例年のごとく福岡教区はもちろん、その他の教区からも1300人以上の参加者が集まった。本年は、聖堂で行われた諏訪司教の講演会や各小教区の作品展示、売店や喫茶室の他、神学生の有志企画として、普段立ち入り禁止の院内を特別に巡ることのできる「院内巡り」、神学院の秘蔵の本を販売する「古本屋」、変わらぬ高い人気を誇る「劇」などが企画された。

最後に整列した全神学生の姿に「これが神学校だね」という信徒たちの声があった。実行委員長で東京教区神学科3年の古郡忠夫神学生は次のように語った。「今わたしたちにできること」というテーマの中にあつて、召命の

集いを精一杯準備して参りました。神学院を訪れた皆さんが何かを感じ取っていただけたいなれば幸いです。ご来院いただきました皆さんに心から感謝を申し上げます。

師の下町神父がマジックも交えて場を盛り上げ、集まった子どもたちを喜ばせた。福音宣教のことも念頭に置き、来客には洩れなく「御絵」が配られた。両カトリック幼稚園と教会関係者の苦勞が報われたすばらしい一日であった。関係者の一人は、「共に準備していく中で、大きな温かい和が出来ました。これからの大事にしていきたいです」と話していた。参加者は「今回も来た甲斐があった。人の温かさに触れて良かった」と語っていた。

尚、今回のバザーの収益金は東日本大震災の被害に遭った方々へ寄付される。

依頼を受けた4人の浦上信徒は2月23日、天主堂に行き、聖体を拝領した後、今村に向け出発している。彼らが今村に到着した25日は、おりしも四旬節の金曜日。一夜の宿を求め旅人を装い、夕食の菜に「鳥はどうか?」と尋ねられ、「今は鳥獣の肉は食べない(四旬節の犠牲)」ということ、共にキリシタンであることが判明したという摂理であった。しかし、いまだに禁教令が続いていた時代で、その年の7月には、あの「浦上四番崩れ」が起り、浦上の全信徒は全国各地の藩に流罪の刑を受けたことも子ども達は学んだ。

子ども達はその日のミサ及び聖体行列の典礼全てを担当することで、先祖達から伝えられてきた信仰を改めて考える一日となった。

私は巡礼に参加して、この時代に生まれてよかったと思えました。もし、もつと昔に生まれていたらどうなっていたのかなと考えるととてもわかつたです。それに、昔に生まれてほしいことをされていても、まだ神様を信じられるという自信はあまりないなと思えました。

そして、血のついた着物や、十字架にはりつけにされておきばらをさされた人たちの絵や、神父様のお話を聞いてみると、とても寒気がしてこわいなと思えました。

11月3日に信徒発見返礼巡礼に参加しました。26聖人の地から大浦天主堂まで約4キロ歩きました。長崎は坂が多く歩くのが大変でした。でも、長崎から今村まで歩いた人にな

11月3日、日本カトリック神学院福岡キャンパスで恒例の召命の集いが行われた。福岡と東京の神学院が合同になって3年目を迎えた今年、東京キャンパスからも神学生がかけつけ、「今わたしたちができること」をテーマに日本全国すべての神学生が集合して行われた。

9時30分の開会式に続き、10時から高松教区の教区長で、神学院常任司教でもある諏訪榮治司教主司式の野外ミサで始まった。今年の召命の集いも、穏やかな日差しの中

10月22日(土)、吉野天使幼稚園のふれあいバザー、次いで23日(日)には大牟田教会と大牟田天使幼稚園合同ふれあいバザーが行われた。

こつこつと準備された手作り品あり、取り寄せた物品あり、焼きそばにおでん、たこ焼き、綿菓子など食べ物や飲み物あり、それにたくさんゲームあり。間には、腹話術

☆クリスマスってどんなひ? ベサン・ジェイムズ 文  
ヘザー・スチュアート 絵

天使ガブリエルのお告げからはじまり、イエスの誕生、羊飼いや三人の博士たち、ヘロデ王のたくらみなど、2000年以上むかしの、さしいよのクリスマスに起こった数々の出来事を、独特のタッチの絵、わかりやすい文章で忠実に描き出した正統派クリスマス絵本です。クリスマスとはどんな日なのか、子どもたちとともにこの絵本を通して確かめてみましょう。



10月24日(月)、カリチエス(福岡教区司祭団)対九州ダルク(美野島司祭団)の試合が神学院福岡キャンパスで行われた。抜きつ抜かれつの攻防戦を2試合繰り広げ、熱戦を博した。この試合では新監督の下町豊重師に初勝利がもたらされた。カリチエスチームも今後とも予断なく練習し、西日本教区司祭団やダルクチーム、大神学生との試合に臨んで行くことを話し合った。笑顔の絶えない交流試合になった。

☆マザーテレサの秘められた炎 J・ラングフォード著 里見 貞代 訳

マザーテレサの秘められた炎 生涯にわたって倦むことなく続けられた、貧しい人々への驚異的な献身。マザーテレサを動かした原動力は何だったのか? マザーテレサと身近に接し、神の愛の宣教師、男子部の創立を希望し、マザーとともに創設した著者が、マザーテレサを駆り立てた根源を紹介する。

不動産全般/売買・賃貸・管理 何でもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA



ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

福岡地区婦人会
公開学習会
福岡地区婦人会

ボランテニア研修
会のお誘い
ボランテニア研修

青年黙想会
美野島司牧センター
福岡結婚準備講座

小倉祈りの集い
カトリック小倉教会
カトリック看護協会

熊本
熊本結婚準備講座
熊本の集い

第50回クルシヨ開催のご案内
日程：2012年5月4・5・6日
場所：福岡黙想の家

編集後記
◆今月は紙面の都合上、定期的例会や集会などのお知らせを掲載できません。

待降節

案内板

会合と催し

12月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 12月

10日(土)～11日(日) 待降節1泊黙想会
14日(水) 待降節1日講話
17日(土) 福岡チエナクルム

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とともに祈る
・日 時：12月8日(木) 10時～14時半

4日(日) 待降節第2主日/宣教地司祭育成の日(献金)
5日(月) 聖コンフォルティオス教列聖祝い(島崎教会)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

カテドラルでのゆるしの秘跡
日時：12月17日、1月7日、21日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

Table with columns for church names (e.g., 教会, 降誕前夜, 降誕祭, 大晦日, 元日) and times for various parishes across the region.

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
三井郡大刀洗町鶴木67-3

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00

聖書
原文校訂による口語訳
サンパウロ福岡宣教センター
12の休業日 4・11・18・25